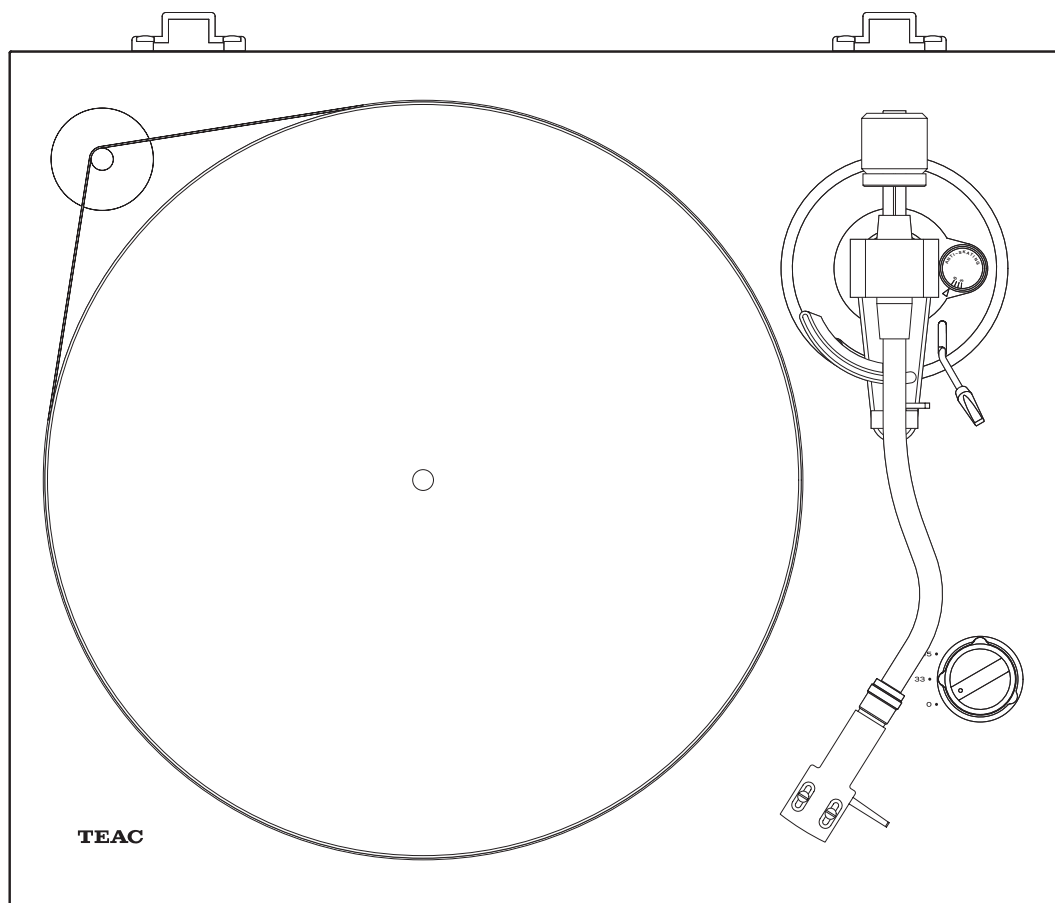


TEAC**TN-3B****アナログターンテーブル
ANALOG TURNTABLE**

**取扱説明書
OWNER'S MANUAL
MODE D'EMPLOI
MANUAL DEL USUARIO
BEDIENUNGSANLEITUNG
MANUALE DI ISTRUZIONI
GEBRUIKSAANWIJZING
BRUKSANVISNING**

日本語

ENGLISH

FRANÇAIS

ESPAÑOL

DEUTSCH

ITALIANO

NEDERLANDS

SVENSKA

目次

ティアック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。
末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

安全にお使いいただくために.....	2
お使いになる前に.....	3
レコードの取り扱い.....	3
設置.....	4
接続.....	5
ダストカバー.....	6
各部の名称.....	6
基本操作.....	6
レコード針について.....	8
カートリッジ交換.....	8
パソコンで録音するには.....	8
困ったときは.....	9
仕様.....	10
保証とアフターサービス(よくお読みください).....	71

音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。
適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。



Apple, Mac, OS X and macOS are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

Microsoft and Windows are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.


その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

	警告 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	電源プラグをコンセントから抜く 万一、異常が起きたとき <ul style="list-style-type: none"> ● 煙が出たり、変なにおいや音がするとき ● 機器の内部に異物や水などが入ったときは ● この機器を落としたり、カバーを破損したときは すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)に修理をご依頼ください。
	AC アダプターのコードを傷つけない AC アダプターのコードの上に重いものをのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きしない AC アダプターのコードを無理に曲げる、ねじる、引っ張る等の行為や加工、熱器具に近づけて加熱したりしない コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、AC アダプターのコードが破損したら(芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)をご依頼ください。
	禁止 付属の AC アダプターを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。 交流 100 ~ 240 ボルト以外の電圧で使用しない 表示された電源電圧(交流 100 ~ 240 ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。 この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は 20cm 以上離して置く ラックなどに入れるときは、機器の天面から 35cm 以上、背面から 10cm 以上のすきまをあけてください。すきまをあげないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。 この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない 火災・感電の原因となります。 この機器の通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	指示 AC アダプターの電源プラグにほこりをためない AC アダプターの電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。定期的(年 1 回くらい)に AC アダプターの電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。
	禁止 機器の上に花瓶や水などが入った容器を置かない 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。
	分解禁止 この機器のカバーは絶対に外さない カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)にご依頼ください。 この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。

<p>注意 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。</p>	
<p>電源プラグをコンセントから抜く</p>	<p>移動させる場合は、電源をスタンバイにし、必ず AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外す コードが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。</p> <p>旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。</p>
<p>指示</p>	<p>オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する また、接続は指定のケーブルを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。</p> <p>電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。</p> <p>この機器はコンセントの近くに設置し、AC アダプターの電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。</p> <p>この機器には、付属の AC アダプターを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。</p>
<p>禁止</p>	<p>ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない 湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない 火災・感電やけがの原因となることがあります。</p> <p>AC アダプターの電源プラグを抜くときは、AC アダプターの電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ずプラグを持って抜いてください。</p>
<p>禁止</p>	<p>濡れた手で AC アダプターの電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となることがあります。</p>

 愛情点検

電源ケーブルや本体に異常がないか、定期的に点検してください。
内部にほこりがたまったら、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。
5年に1度は、販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）に内部の点検をご依頼ください。
費用についてはお問い合わせください。

お使いになる前に

付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店、または弊社 AV お客様相談室（裏表紙に記載）にご連絡ください。

- フェルトマット x 1
- ドーナツ盤用アダプター x 1
- カウンターウエイト x 1
- ヘッドシェル x 1
 - オーディオテクニカ製 VM 型 (デュアルマグネット) ステレオカートリッジ (AT-VM95E for TEAC) を装着済み
- ターンテーブル (プラッター) x 1
- ダストカバー x 1
- ダストカバー取付用ヒンジ x 2
- GND 端子付き RCA オーディオケーブル x 1
- AC アダプター (GPE053A-V120050) x 1
- 取扱説明書 (保証書付き) (本書) x 1

使用上の注意

- ダストカバーの上には物を置かないでください。特に再生中は、振動でノイズが発生したり、物が落下する恐れがあります。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなる場所に置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。変色や変形、故障の原因となります。

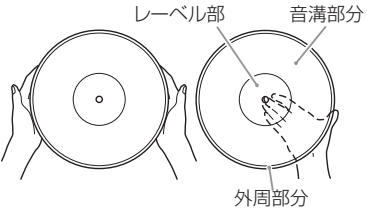
ユーザー登録について

TEAC のウェブサイトにて、オンラインでのユーザー登録をお願いいたします。
<https://teac.jp/jp/signup>

レコードの取り扱い

レコードの持ち方

レコードを持つとき、レコードジャケットから取り出すときは、音溝部分に手を触れないようにレーベル部と外周部分を支えて持つか、両手でレコードの外周部分をはさむようにしてください。



お手入れ

- 指紋やほこりがつく、雑音や音飛びの原因となり、レコードや針を傷めます。市販のレコードクリーナーなどでクリーニングしてください。レコードクリーナー以外のベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。
- レコードクリーナーを使用する場合は、音溝に沿って円を描くように拭き取ってください。

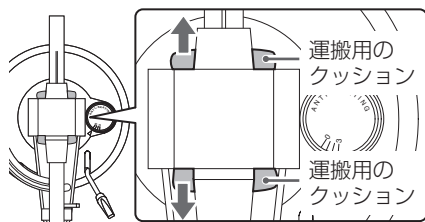


使用上の注意

- 直射日光が当たる場所や、高温多湿な場所には置かないでください。長時間放置すると、そりやカビが生えるなどの原因となります。
- レコードは、何枚も積み重ねたり、重いものをのせたりしないでください。また、斜めにして長時間放置しないでください。そりや破損の原因となります。
- 音溝部は、硬いものに直接触れないようにしてください。傷の原因となります。
- 再生が終わったレコードは、必ずレコードジャケットに入れて保管してください。そのまま放置すると、そりやキズの原因となります。
- ヒビが入ったレコードは使用しないでください。

電源はスタンバイの状態で行ってください。
(5 ページ **F**)

1 トーンアームに取り付けられている
運搬用のクッションを矢印の方向に
取り外す。



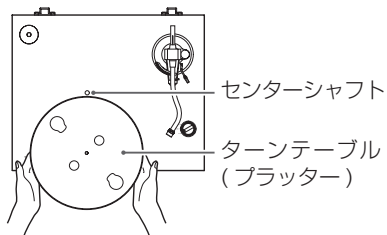
2 水平な場所に置く。

レコードを正しくトレースするため、水平な
場所に設置してください。

3 ターンテーブル (プラッター) を取
り付ける。

ターンテーブル (プラッター) をセンター
シャフトに合わせて取り付けます。

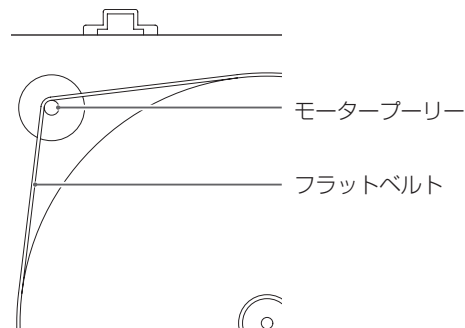
- 穴の大きい方を下にしてください。



4 ベルトをモータープーリーにかける。

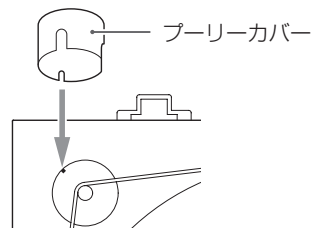
ターンテーブル (プラッター) の外周に付属
のフラットベルトをかけ、モータープーリー
にベルトをかけます。

- ゴムがねじれないように注意してください。
- ターンテーブル (プラッター) を数回転し
て、フラットベルトをなじませてください。



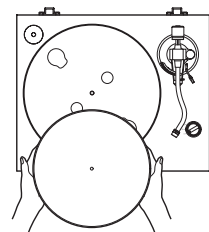
5 プーリーカバーを取り付ける。

下図のようにプーリーカバーの小さい切り欠
きを本体の小さい突起に合わせてください。
位置が合わないと、プーリーカバーが傾きます。



6 フェルトマットをターンテーブル
(プラッター) に載せる。

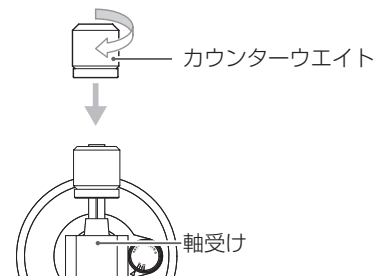
付属のフェルトマットをターンテーブル (プ
ラッター) に載せて使用してください。



7 カウンターウェイトを取り付ける。

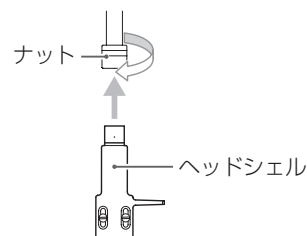
トーンアームの後部にカウンターウェイトを
差込み、右に回しながらゆっくり押し装着
してください。

- カウンターウェイトが軸受け側に移動す
るようになれば、装着完了です。

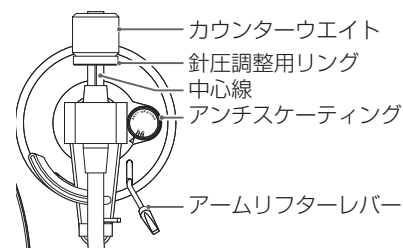


8 ヘッドシェルを取り付ける。

トーンアームの先端にヘッドシェルを差込み、
ナットを回して固定してください。

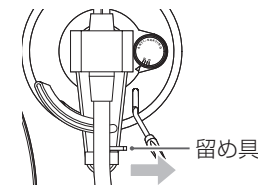


トーンアームのバランス、針圧の調整



1 アンチスケーティングの目盛を 0
にセットする。

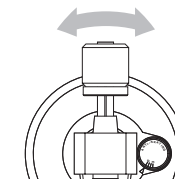
2 トーンアームの留め具を右にずらし
て外す。



3 アームリフターレバーを上げ、トーン
アームを左に少しずらす。

4 アームリフターレバーを下げる。

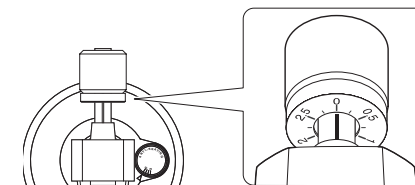
5 カウンターウェイトを回して、トーン
アームが水平になるように調節する。



- カートリッジ針の保護キャップをはずした
状態で調節してください。
- カートリッジの針が本機に当たらないよ
うに注意してください。

6 トーンアームを元の位置に戻し、留
め具を使ってトーンアームをロック
する。

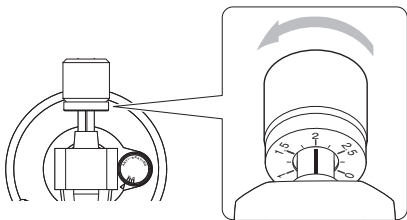
7 針圧調整用リングを回して目盛の 0
を中心線に合わせる。



- リング部のみを回します。カウンターウェ
イトが回らないように注意してください。

8 針圧調整用リングの目盛をカートリッジ指定の針圧になるようにカウンターウェイトを回す。

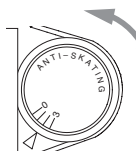
- 付属のカートリッジの針圧は 2.0g です。カウンターウェイトの目盛を 2.0 に合わせるように回転させます。



- 0→0.5→1.0のように右方向に回します。

9 アンチスキューティングの目盛を調節する。

目安として目盛を 2.0 にセットし、レコードを再生 (6 ページ) して、左右の音量のバランスがとれた位置に調節してください。



ご注意

レコードの状態により、左右の音量バランスが崩れたり、音飛びが発生する場合があります。その場合は、下記のように調整してください。

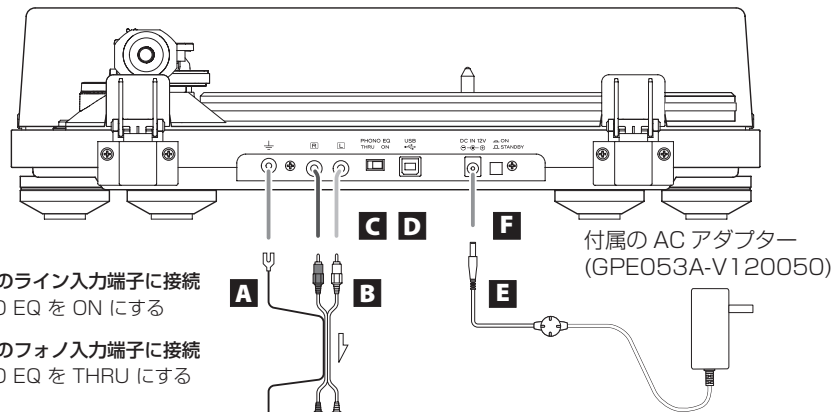
音がバックする (針が戻る) 場合

アンチスキューティングの目盛数値を若干小さくしてください。

音が先に進む (針が先飛びする) 場合

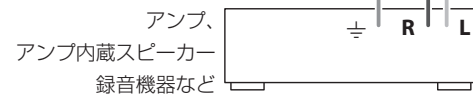
アンチスキューティングの目盛数値を若干大きくしてください。

接続



アンプなどのライン入力端子に接続
PHONO EQ を ON にする

アンプなどのフォノ入力端子に接続
PHONO EQ を THRU にする



⚠ 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。

A アース端子 (⊖)

付属の RCA オーディオケーブルのアース線を使用して、本機のアース端子とアンプなどのアース端子を接続します。

- 安全アースではありません。

スピーカーからのノイズ音が気になるときはオーディオケーブルのアース線を本機のアース端子に接続している場合は、アース線を外すことでノイズ音が少なくなることがあります。また、逆の場合もありますので、ノイズ音が少なくなる接続方法をお選びください。

B アナログ音声出力端子 (L/R)

アナログの音声が出力されます。

PHONO EQ スイッチの設定で出力信号が切り換わります。

付属または市販のオーディオケーブルを使って、各機器と本機の出力端子を接続してください。

C 音声出力設定スイッチ (PHONO EQ)

ON

内蔵されたイコライザーアンプで増幅された信号がアナログ音声出力端子 (L/R) から出力されます。

THRU

MC カートリッジまたは、MM カートリッジの信号を直接アナログ音声出力端子 (L/R) から出力します。

フォノイコライザーアンプや、フォノ入力端子付きアンプなど、フォノ入力がある機器に接続してお使いください。

- 出荷時は「ON」に設定されています。
- USB 端子に機器を接続して使用する場合は、「ON」に設定してください。

注意

「ON」の状態、アンプなどの PHONO 入力に接続すると、スピーカーやヘッドホンから大音量が出力され、機器が破損したり聴覚障害の原因となります。

D USB 出力端子 (USB B タイプ)

レコードの音がデジタル (最大 48kHz/16 ビット) に変換されて出力されます。USB ケーブルでパソコンの USB 端子と接続することにより、パソコンで録音することができます。(8 ページ)

E DC 入力端子

他の全ての接続が終わったら、付属の AC アダプター (GPE053A-V120050) をこのジャックに接続してください。

次に、AC アダプターのプラグを交流 100V ~ 240V の電源コンセントに差し込んでください。

- 付属の AC アダプター (GPE053A-V120050) 以外は使わないでください。

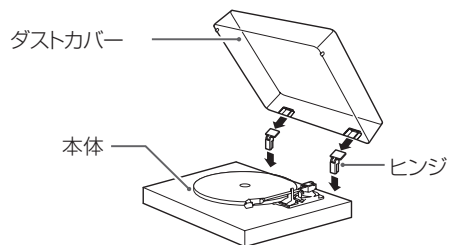
⚠ 交流 100 ~ 240 ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因になります。電源の抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

F 電源ボタン (STANDBY/ON)

電源スタンバイと電源オンを切り換えます。

ダストカバー

ダストカバーの取り付け



1 本体背面の左右両端にあるヒンジ差し込み部にヒンジを合わせて、奥まではめ込みます。

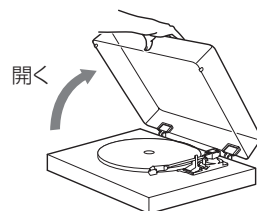
2 ヒンジの上部にダストカバーのヒンジ差し込み部を合わせ、はめ込みます。

- 再生中はダストカバーを閉めてください。不用意な接触による針飛びや、外来音圧から針先を守ります。
- レコードの再生中に開閉しないでください。針飛びなどの原因となります。
- ホコリがかぶらないように、通常は閉めてください。

ダストカバーの外し方

ダストカバーの両端を持ち、ゆっくり上へ引き、ヒンジごと本体から外します。さらにダストカバーからヒンジを外します。

ダストカバーの開閉



開くとき

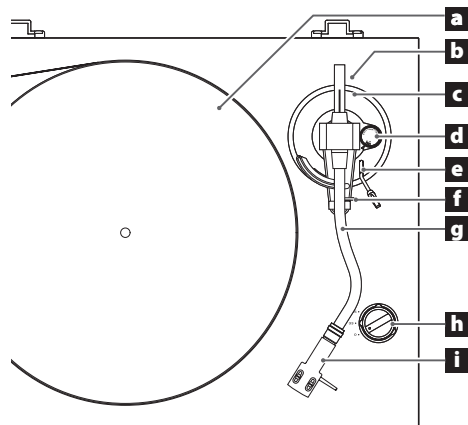
ダストカバーの前端を持って、カバーが止まるまで軽く持ち上げて開きます。ダストカバーは開いたままの状態になります。

閉めるとき

ダストカバーをゆっくりと下ろします。

⚠ **ダストカバーを開閉するときは、指などを挟まないようにご注意ください。**

各部の名称



a ターンテーブル (プラッター)

レコードをターンテーブル (プラッター) の中心にはめてください。

b カウンターウエイト

c 針圧調整用リング

d アンチスケーティングつまみ

e アームリフターレバー

トーンアームを上げ下げするときに使用します。指よりも安全かつ確実に操作できますので、レコード盤や針先を傷めないためにもアームリフターレバーのご使用をお勧めします。

f トーンアームホルダー

トーンアームの支持台です。レコードを再生する前に、留め具を右にずらすようにしてはずしてください。

g トーンアーム

h 回転数切換つまみ

再生するレコード盤に指定されている回転数を選んでください。0に設定すると回転が止まります。

i ヘッドシェル

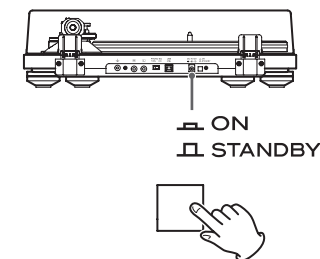
カートリッジ交換が容易なユニバーサルタイプです。

基本操作

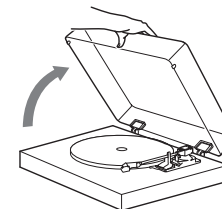
レコードを再生する

- カートリッジ針の保護キャップをはずした状態でお使いください。

1 リアパネルの電源ボタン (STANDBY/ON) を押して、電源をオンにします。



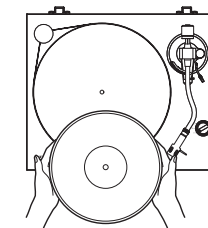
2 ゆっくりとダストカバーを開ける。



⚠ **ダストカバーを開閉するときは、手などをはさまないようにご注意ください。**

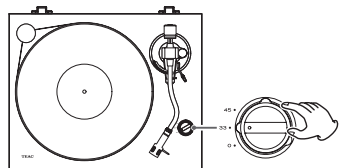
3 ターンテーブル (プラッター) にレコードをのせる。

ドーナツ (EP) 盤を再生する場合には、付属の EP アダプターをご使用ください。

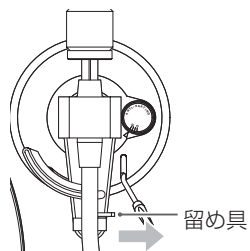


4 レコード盤に指定されている回転数を選んでください。

回転数は 33 1/3、45 回転の 2 種類あります。

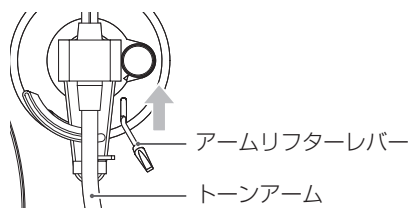


5 トーンアームの留め具を右にずらして外す。



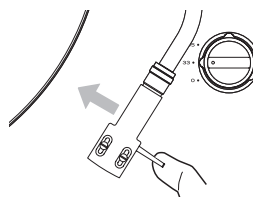
6 アームリフターレバーを上げる。

アームリフターが上がると、トーンアームをレコード盤上に移動させても、トーンアームが上がったままで、針先がレコード盤に接触しない状態になります。



- アームリフターレバーを下げたまま、手で、トーンアームを浮かせた状態でレコードの上に移動してから、トーンアームをゆっくりと下げて再生を始めることもできます。

7 再生したいところまでトーンアームを移動する。



8 アームリフターレバーをさげる。

トーンアームがゆっくり下がり、針先がレコード盤におりて再生がはじまります。

- 再生中はダストカバーを閉めてください。不用意な接触による針飛びや、外部からの音圧を遮断するため、ノイズが起きにくくなります。

⚠️ ダストカバーの上には物を置かないでください。

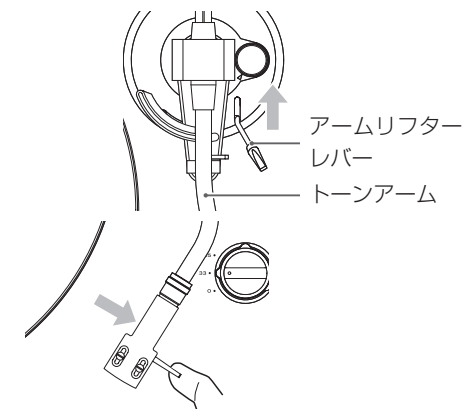
注意

- 再生中はトーンアームやレコード盤に触れないでください。針先の破損やレコード盤の損傷の原因となります。
- 再生中は無理にターンテーブル（プラッター）の回転を止めないでください。本製品は DJ タイプのターンテーブル（ダイレクトドライブ方式）ではありませんので、このような動作をすると故障の原因となります。

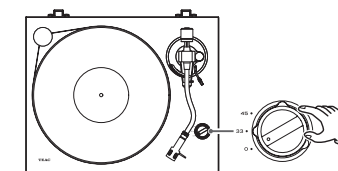
レコードの再生時に音を大きくしすぎると、ハウリングが起こることがあります。その場合は、アンプの音量を下げてください。

再生が終わったら

1 アームリフターレバーを上げて針をレコード盤から離し、トーンアームを元の位置に戻してください。



2 回転つまみを「0」の位置に回して、ターンテーブル（プラッター）の回転を止める。



レコード針について

- レコード針が曲がる（破損する）と、音溝を正確にトレースできなくなります。レコード盤を傷めたり、故障の原因にもなりますので、レコード針は丁寧に取扱ってください。
- レコード針のお手入れは、市販のレコード針専用クリーナーを必ずお使いください。レコード針専用クリーナー以外を使った場合、レコード針が破損する恐れがあります。

レコード針の交換

レコード針の針先が摩耗すると、音質が劣化するだけでなくレコード盤を傷める原因となります。再生時間 300 時間を目安に当社指定の交換針にお取替えください。

オーディオテクニカ製交換針（AT-VMN95E for TEAC）をお求めください。

- 本機に装着されているカートリッジは、オーディオテクニカ製「AT-VM95E for TEAC」（VM 型）です。（装着しているカートリッジの交換針本体色は緑色になります。）
※ VM 型は MM 型と同じ特性です。
- 交換方法は、交換針の取扱説明書に従って交換してください。

交換針（別売）：

オーディオテクニカ製 AT-VMN95E for TEAC

交換用のレコード針は、弊社オンラインショップ「ティアックストア」でお求めいただけます。
ティアックストア <https://store.teac.co.jp/>

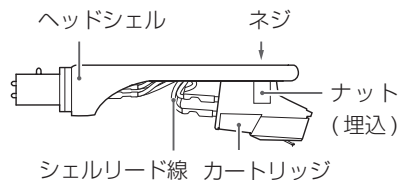
注意

- 突然大きな音が出ることがありますので、機器の電源を切ってから交換してください。
- 手や機器を傷付けないよう、ご注意ください。
- 小さなお子様があやまってレコード針を飲み込まないよう、ご注意ください。
- お客様の不注意や外部要因による針折れなどは、保証の対象外となりますのでご注意ください。

カートリッジ交換

カートリッジの交換は、ヘッドシェルをトーンアームから取り外して作業を行ってください。

- 本機に装着されているカートリッジは、オーディオテクニカ製「AT-VM95E for TEAC」（VM 型）です。
※ VM 型は MM 型と同じ特性です。
- カートリッジ針の保護キャップを付けて作業することをお勧めします。

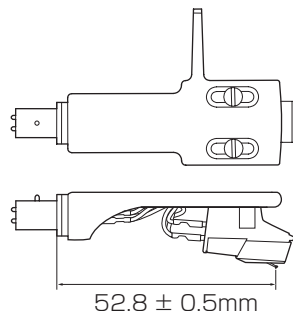


1 シェルリード線の端子をカートリッジから取り外す。

2 ネジを緩めてカートリッジを取り外す。

3 新しいカートリッジをネジを締めて取り付ける。

取り付け位置は、下図を参照してください。



4 シェルリード線の端子をカートリッジへ取り付け。

- シェルリード線の信号名と色は下図を参照してください。

信号名	色
左チャンネル +	白
左チャンネル -	青
右チャンネル +	赤
右チャンネル -	緑

5 トーンアームのバランス、針圧の調整を行う。

4 ページの「トーンアームのバランス、針圧の調整」の手順に従ってください。

カートリッジ交換時の注意

本機に使用できるカートリッジの質量には制限があります。10 ページの「トーンアーム部」を参照してください。

また、ヘッドシェルを交換するときは、適用カートリッジ質量（付属ヘッドシェルを含む）を参照してください。

MC カートリッジについて

本機に内蔵されているイコライザーアンプは、MM カートリッジ用です。MC カートリッジには対応していません。

MC カートリッジをご使用の場合は、MC カートリッジ対応のフォノイコライザーアンプや、MC フォノ入力端子付きアンプなどに接続し、本機の音声出力設定スイッチ (PHONO EQ) を THRU に設定してお使いください。

パソコンで録音するには

市販の USB ケーブルでパソコンの USB 端子と接続することにより、レコードの音をパソコンにデジタル録音することができます。

- 本機の USB 端子は、パソコンとの接続用です。

サポート OS

USB 接続できるパソコンの OS は以下のいずれかです。（2019 年 4 月現在）

Windows の場合

- Windows 7 (32bit 版、64bit 版)
- Windows 8 (32bit 版、64bit 版)
- Windows 8.1 (32bit 版、64bit 版)
- Windows 10 (32bit 版、64bit 版)

Mac の場合

- OS X Lion (10.7)
- OS X Mountain Lion (10.8)
- OS X Mavericks (10.9)
- OS X Yosemite (10.10)
- OS X El Capitan (10.11)
- macOS Sierra (10.12)
- macOS High Sierra (10.13)
- macOS Mojave (10.14)

これ以外の OS での動作保証はいたしません。

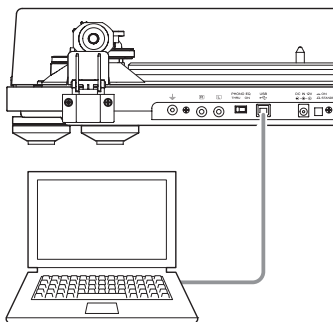
- Windows 及び Mac の標準ドライバーで動作します。専用ドライバーをインストールする必要はありません。

パソコンと接続する

1 パソコンの電源を入れる。

OS が正常に起動したことを確認してください。

2 USB ケーブルでパソコンと本機を接続する。



- USB ケーブルは、市販のフェライトコア付きの USB ケーブルを使用してください。

3 本機の電源ボタン (STANDBY/ON) を押して電源をスタンバイからオンにする。

パソコン側では本機の USB ポートを自動検出し、本機を「USB Audio CODEC」として認識します。

- 本機の音声をパソコンで録音するには、音声録音ソフトをパソコンにインストールする必要があります。別途、お好みの音楽録音ソフトウェアをお買い求めになるか、Web 上のフリーソフト (Audacity、<http://www.audacityteam.org/>等) をダウンロードしてご使用下さい。Audacity 等のフリーソフトウェアは、弊社サポート対象外となりますので予めご了承ください。
- パソコンでの録音中は、下記の操作を行わないでください。パソコンが誤動作する原因となります。これらの操作は必ずパソコンの録音ソフトを終了してから行ってください。
 - USB ケーブルを抜く
 - 本機の電源をスタンバイにする

パソコンの設定

OS が Windows 10 の場合を例に説明します。

1 スタートメニューから「Windows システムツール」-「コントロールパネル」を選択する。

2 「サウンド」をクリックする。

コントロールパネルの表示方法が「カテゴリ」の場合は、「ハードウェアとサウンド」-「サウンド」を選択してください。

3 「録音」タブをクリックして、「USB Audio CODEC」が「既定のデバイス」になっていることを確認する。

4 「USB Audio CODEC」を選択して「プロパティ」をクリックする。

5 「詳細」タブをクリックする。

6 「既定の形式」プルダウンメニューのリストから録音したい音質 (フォーマット) を選択する。

ヒント

本製品から出力される最高音質で録音するには「2チャンネル、16ビット、48000Hz」に設定してください。サンプリング周波数の設定値が下がるほどファイル容量は少なくなり、音質が低下していきます。

7 「OK」をクリックする。

以上の設定をしてから、音楽録音ソフトウェアを使用して録音をしてください。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、修理を依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。また、本機以外の原因も考えられますので、接続した機器の使用方法も併せてご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載) にご連絡ください。

電源が入らない

- ➔ AC アダプターをコンセントに差し込んでください。電源ボタン (STANDBY/ON) を押して電源をオンにしてください。(5、6 ページ)

ターンテーブルが回らない

- ➔ 電源ボタン (STANDBY/ON) を押して電源をオンにしてください。(5、6 ページ)
- ➔ ベルトをモータープーリーにかけてください。(4 ページ)
- ➔ 回転数切換つまみをレコード盤に指定されている回転数に合わせてください。(6 ページ)

ターンテーブルの回転速度がおかしい

- ➔ 回転数切換つまみを 33 に設定して、3分間で約 100 回転するか確認してください。

アームリフターレバーをさげてもアームが下がらない

- ➔ トーンアームのバランスをとって、針圧を設定し直してください。(4 ページ)

音がおかしい、音が割れる

- ➔ アンプと接続している端子を確認して音声出力設定スイッチ (PHONO EQ) を設定してください。(5 ページ)

音程がおかしい

- ➔ レコード盤に指定されている回転数を選んでください。(6 ページ)

音がしない

- ➔ 本機のアナログ音声出力端子をアンプなどの音声入力端子に接続している場合、音声出力設定スイッチ (PHONO EQ) の設定を「ON」にして下さい。(5 ページ)

再生できない、雑音が入る

- ➔ カートリッジ針の保護キャップをはずした状態でお使いください。
- ➔ RCA オーディオケーブルを接続しなおしてください。
- ➔ レコードに指紋やほこりがつくと、雑音や音飛びの原因となります。市販のレコードクリーナーなどでクリーニングしてください。(3 ページ)
- ➔ レコード針をクリーニングしてください。(8 ページ)
- ➔ レコード針が摩耗していたら、交換してください。(8 ページ) 針の交換は、使用環境にもよりますが約 300 時間で交換をお勧めします。
- ➔ テレビや電子レンジなど、電磁波を出すものからはできるだけ離して設置してください。
- ➔ AC アダプターを別のコンセントにさしてください。

レコード再生中にノイズが出る

- ➔ カートリッジ指定の値よりも高い針圧の場合はノイズが出やすくなります。指定の値になるように針圧の調整をやりなおしてください。(4 ページ)

音飛びする

- ➔ 震動を与えると音飛びします。本機は安定した場所に設置してください。
- ➔ レコード盤の汚れをクリーニングしてください。
- ➔ 傷が付いたレコードは使わないでください。
- ➔ トーンアームのバランスをとって、針圧を設定し直してください。(4 ページ) カートリッジ指定の値よりも低い針圧の場合は音飛び (針飛び) しやすくなります。
- ➔ レコード針が曲がっていたらレコード針を交換してください。

パソコンと接続しても認識されない

- ➔ 対応するパソコンの OS は、8 ページをご覧ください。対応していない OS での動作保証はいたしかねます。
- ➔ 別の USB ポートに接続してください。

ターンテーブル (プラッター) 部

駆動方式..... ベルトドライブ
 モータ DC モータ
 回転数 33 1/3rpm, 45rpm
 ワウ・フラッター..... 0.1%以下
 SN比..... 67dB以上
 (A-weighted, 20kHz LPF)
 ターンテーブル (プラッター)

アルミダイカスト
 直径 30cm

トーンアーム部

アーム形式
 スタティックバランス S 字型トーンアーム
 実効アーム長 223mm
 針圧可変範囲 0 ~ 5g
 適用カートリッジ質量 3.0 ~ 12g
 14 ~ 23g
 (付属ヘッドシエルを含む)

カートリッジ部

形式 VM 型 (MM 型と同等)
 出力電圧 4.0mV (1kHz, 5cm/sec)
 針圧 1.8 ~ 2.2g (2.0g 推奨)
 カートリッジ質量 6.1g
 付属ヘッドシエル質量
 11g (ネジ、ナット、ワイヤー含む)

- 針の交換は、使用環境にもよりますが約 300 時間で交換をお勧めします。
- 本機に装着されているカートリッジは、オーディオテクニカ製「AT-VM95E for TEAC」(VM 型) です。(装着しているカートリッジの交換針本体色は緑色になります。)
 ※ VM 型は MM 型と同じ特性です。

交換針 (別売) :

オーディオテクニカ製 AT-VMN95E for TEAC

交換用のレコード針は、弊社オンラインショップ「ティアックストア」でお求めいただけます。
 ティアックストア <https://store.teac.co.jp/>

出力電圧

PHONO EQ THRU 4.0mV (1kHz, 5cm/sec)
 PHONO EQ ON 224mV (- 13dBV)
 出力端子..... RCA ジャック

USB 端子

プラグインパワー対応 USB 端子 (Full Speed)
 USB コネクタ タイプ B
 USB バスパワー対応 5V 500mA
 サンプリング周波数
 8/11.025/16/22.05/32/44.1/48kHz
 量子化ビット数..... 16 ビット

一般

AC アダプター電源
 入力... AC 100V ~ AC 240V 50/60Hz
 出力..... DC 12 V 500mA
 消費電力
 スタンバイ..... 0.5W 以下
 オン (33, 45) 2.0W 以下
 質量 約 5.0kg
 動作保証温度 5℃ ~ 35℃
 外形寸法 (幅、高さ、奥行) (突起部を含む)
 ダストカバーを閉めた場合
 420 x 117 x 356 mm
 ダストカバーを開けた場合
 420 x 381 x 402 mm
 ダストカバーを外した場合
 420 x 102 x 356 mm

- 性能データは、20℃で規定しています。

付属品

フェルトマット x 1
 ドーナツ盤用アダプター x 1
 カウンターウエイト x 1
 ヘッドシエル x 1
 オーディオテクニカ製 VM 型 (デュアルマグ
 ネット) ステレオカートリッジ (AT-VM95E
 for TEAC) を装着済み
 ターンテーブル (プラッター) x 1
 ダストカバー x 1
 ダストカバー取付用ヒンジ x 2
 GND 端子付き RCA オーディオケーブル x 1
 AC アダプター (GPE053A-V120050) x 1
 取扱説明書 (保証書付き) (本書) x 1

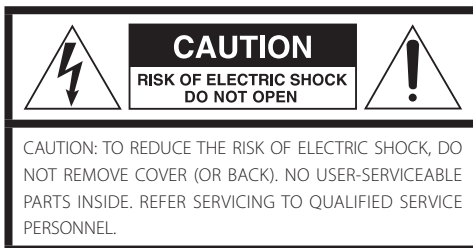
- 仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

Trademarks and copyrights

Apple, Mac, OS X and macOS are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

Microsoft and Windows are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

Other company names and product names in this document are the trademarks or registered trademarks of their respective owners.



The lightning flash with arrowhead in an equilateral triangle is intended to alert the user to the presence of uninsulated "dangerous voltage" within the product's enclosure that could be of sufficient magnitude to constitute a risk of electric shock to persons.




The exclamation point in an equilateral triangle is intended to alert the user to the presence of important operating and maintenance (servicing) instructions in the literature accompanying the appliance.

WARNING: TO PREVENT FIRE OR SHOCK HAZARD, DO NOT EXPOSE THIS APPLIANCE TO RAIN OR MOISTURE.

CAUTION

- DO NOT REMOVE THE EXTERNAL CASES OR CABINETS TO EXPOSE THE ELECTRONICS. NO USER SERVICEABLE PARTS ARE INSIDE.
- IF YOU ARE EXPERIENCING PROBLEMS WITH THIS PRODUCT, CONTACT THE STORE WHERE YOU PURCHASED THE UNIT FOR A SERVICE REFERRAL. DO NOT USE THE PRODUCT UNTIL IT HAS BEEN REPAIRED.
- USE OF CONTROLS OR ADJUSTMENTS OR PERFORMANCE OF PROCEDURES OTHER THAN THOSE SPECIFIED HEREIN MAY RESULT IN HAZARDOUS RADIATION EXPOSURE.

IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS

- 1) Read these instructions.
- 2) Keep these instructions.
- 3) Heed all warnings.
- 4) Follow all instructions.
- 5) Do not use this apparatus near water.
- 6) Clean only with dry cloth.
- 7) Do not block any ventilation openings. Install in accordance with the manufacturer's instructions.
- 8) Do not install near any heat sources such as radiators, heat registers, stoves, or other apparatus (including amplifiers) that produce heat.
- 9) Do not defeat the safety purpose of the polarized or grounding-type plug. A polarized plug has two blades with one wider than the other. A grounding type plug has two blades and a third grounding prong. The wide blade or the third prong are provided for your safety. If the provided plug does not fit into your outlet, consult an electrician for replacement of the obsolete outlet.
- 10) Protect the power cord from being walked on or pinched particularly at plugs, convenience receptacles, and the point where they exit from the apparatus.
- 11) Only use attachments/accessories specified by the manufacturer.
- 12) Use only with the cart, stand, tripod, bracket, or table specified by the manufacturer, or sold with the apparatus. When a cart is used, use caution when moving the cart/apparatus combination to avoid injury from tip-over. 
- 13) Unplug this apparatus during lightning storms or when unused for long periods of time.
- 14) Refer all servicing to qualified service personnel. Servicing is required when the apparatus has been damaged in any way, such as power-supply cord or plug is damaged, liquid has been spilled or objects have fallen into the apparatus, the apparatus has been exposed to rain or moisture, does not operate normally, or has been dropped.
 - The apparatus draws nominal non-operating power from the AC outlet with its POWER or STANDBY/ON switch not in the ON position.
 - The mains plug is used as the disconnect device, the disconnect device shall remain readily operable.
 - Caution should be taken when using earphones or headphones with the product because excessive sound pressure (volume) from earphones or headphones can cause hearing loss.

CAUTION

- Do not expose this apparatus to drips or splashes.
- Do not place any objects filled with liquids, such as vases, on the apparatus.
- Do not install this apparatus in a confined space such as a book case or similar unit.
- The apparatus should be located close enough to the AC outlet so that you can easily reach the power cord plug at any time.

IN USA/CANADA, USE ONLY ON 120V SUPPLY.

Model for USA

Supplier's Declaration of Conformity

Model number: TN-3B

Trade name: TEAC

Responsible party:

Pioneer & Onkyo U.S.A. Corporation

Address: 22828 Lockness Avenue, Torrance, CA 90501 U.S.A.

Telephone number: 1-201-785-2600

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Information

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the equipment and/or the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

CAUTION

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.



Model for Europe



This product complies with the European Directives request, and the other Commission Regulations.

For European Customers

Disposal of electrical and electronic equipment and batteries and/or accumulators

- All electrical/electronic equipment and waste batteries/accumulators should be disposed of separately from the municipal waste stream via collection facilities designated by the government or local authorities.
- By disposing of electrical/electronic equipment and waste batteries/accumulators correctly, you will help save valuable resources and prevent any potential negative effects on human health and the environment.
- Improper disposal of waste electrical/electronic equipment and batteries/accumulators can have serious effects on the environment and human health because of the presence of hazardous substances in the equipment.

- The Waste Electrical and Electronic Equipment (WEEE) symbols, which show wheeled bins that have been crossed out, indicate that electrical/electronic equipment and batteries/accumulators must be collected and disposed of separately from household waste.



- If a battery or accumulator contains more than the specified values of lead (Pb), mercury (Hg), and/or cadmium (Cd) as defined in the Battery Directive (2006/66/EC, 2013/56/EU), then the chemical symbols for those elements will be indicated beneath the WEEE symbol.



- Return and collection systems are available to end users. For more detailed information about the disposal of old electrical/electronic equipment and waste batteries/accumulators, please contact your city office, waste disposal service or the shop where you purchased the equipment.

Model for Canada

Industry Canada's Compliance Statement:

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Table of contents

Thank you for choosing TEAC.

Read this manual carefully to get the best performance from this unit.

After reading it, keep it in a safe place for future reference.

IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS	12
Before use	13
Preparing the record player	14
Notes about record styluses	15
Connections	16
Names and functions of parts	16
Dust cover	17
Changing the cartridge	17
Handling records	18
Basic operation	18
Recording with a computer	19
Troubleshooting	20
Specifications	20

Before use

Included items

Check to be sure the box includes all the supplied accessories shown below. Please contact the store where you purchased this unit if any of these accessories are missing or have been damaged during transportation.

- Felt mat × 1
- 45 RPM adapter × 1
- Counterweight × 1
- Headshell × 1
 - Audio-Technica VM type (dual magnet) stereo cartridge (AT-VM95E) preinstalled
- Turntable (platter) × 1
- Dust cover × 1
- Dust cover hinges × 2
- RCA audio cable with grounding terminal × 1
- AC adapter (GPE053A-V120050) × 1
- Owner's manual (this document, including warranty) × 1
 - The warranty for the United States and Canada is on the back cover. See page 70 for warranty provisions. See page 71 for information about the warranty in Europe and other countries or areas.

Before use (continued)

Precautions for use

- Do not place anything on the dust cover. Objects on the cover might cause noise due to vibrations or fall off, especially during playback.
- Avoid placing the unit in direct sunlight, close to a source of heat or in other similar conditions. Do not place the unit on top of an amplifier or other equipment that might generate heat that exceeds the operating temperature range of this unit. Doing so could cause discoloration, deformation or malfunction.
- As the unit could become warm during operation, always leave sufficient space around it for ventilation. When installing this unit, leave a little space (at least 20 cm (8")) between it and other devices and walls to allow good heat dissipation. When placing it in a rack, for example, leave at least 35 cm (13 3/4") open above it and 10 cm (4") open behind it. Failure to provide these gaps could cause heat to build up inside and result in fire.
- DO NOT MOVE THE UNIT DURING PLAYBACK. During playback, the record rotates. Do not lift or move the unit during playback. Doing so may damage the record, the stylus, the cartridge or the unit.
- Always remove the record before relocating or moving this unit. Moving the unit with a record on the turntable (platter) could damage the record, the stylus and the cartridge or could cause a malfunction.
- The voltage supplied to the unit should match the voltage as printed on the rear panel. If you are in any doubt regarding this matter, consult an electrician.

Maintenance

If the surface of the unit gets dirty, wipe it with a soft cloth or use diluted mild liquid soap. Allow the surface of the unit to dry completely before using.

- Do not use chemical cleaning cloths, thinner or similar substances as they could damage the surface of the unit.

⚠ CAUTION

For safety, disconnect the power cord from the socket before cleaning.

Using the TEAC Global Site

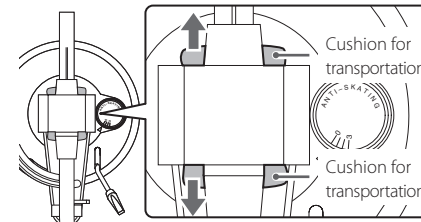
You can download updates for this unit from the TEAC Global Site: <http://teac-global.com/>

In the TEAC Downloads section, click the desired language to open the Downloads website page for that language.

Preparing the record player

Keep the unit in standby while setting it up (E on page 16).

1 Cushions are attached to the tone arm for use during transportation. Remove them in the directions of the arrows.



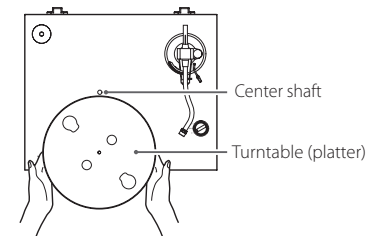
2 Place the unit on a flat surface.

Place it on a flat surface so that the record can be accurately traced.

3 Install the turntable (platter).

Align the turntable (platter) with the center shaft and install it.

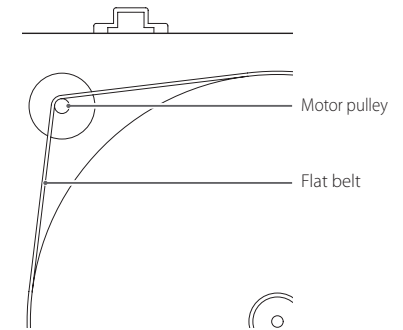
- Place the large side of the hole down.



4 Loop the belt around the motor pulley.

Loop the included flat belt around the outside of the turntable (platter), and then loop the belt around the motor pulley.

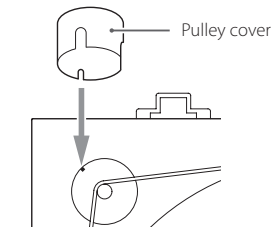
- Be careful not to let the rubber become twisted.
- Rotate the turntable (platter) several times to make sure that the flat belt is secure.



5 Install the pulley cover.

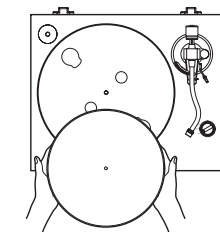
Align the small cutout in the pulley cover with the small protuberance on the pulley, as shown in the illustration below.

- If these are not aligned, the pulley cover will slant.



6 Place the felt mat on the turntable (platter).

Place the included felt mat on the turntable (platter) before using it.



- If the stylus becomes bent (damaged), it will no longer be able to accurately trace the groove. Since a bent stylus could also damage records and cause malfunction, handle styluses carefully.
- Always use a commercially-available stylus cleaner to clean a stylus. Use of anything other than a stylus cleaner could damage the stylus.

Replacing the stylus

If the tip of the stylus becomes worn, not only will it worsen the sound quality, it could also damage records. After about 300 hours of playback time, replace the stylus with one that we specify.

Please use an Audio-Technica AT-VMN95E replacement stylus.

- An Audio-Technica AT-VM95E VM Type cartridge is installed in this unit.
(The body of the replacement stylus for the installed cartridge is green.)

NOTE

VM type cartridges have the same characteristics as MM type cartridges.

- Follow the replacement instructions in the manual of the replacement stylus.

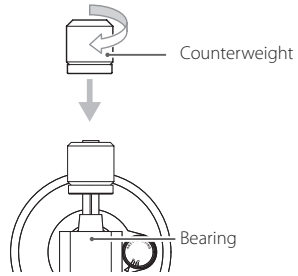
ATTENTION

- Since loud noises could suddenly occur, put the unit into standby before changing the stylus.
- Be careful not to hurt your hand or the equipment.
- Be careful not to allow small children to accidentally swallow styluses.
- Be aware that bent styluses, for example, that result from insufficient customer caution or an outside cause are not covered by the warranty.

7 Install the counterweight.

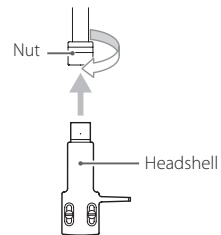
Place the counterweight over the end of the tone arm, and press it gently as you turn it right to attach it.

- When the counterweight can be moved toward the bearing, installation is complete.

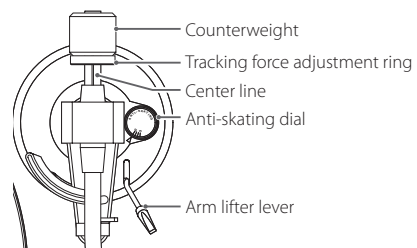


8 Install the headshell.

Insert the headshell on the end of the tone arm and turn the nut to secure it in place.

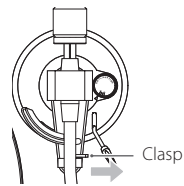


Balancing the tone arm and adjusting the tracking force



1 Set the anti-skating dial to zero.

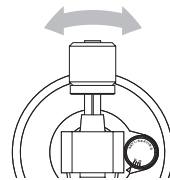
2 Move the tone arm clasp to the right to release the tone arm.



3 Raise the arm lifter lever and shift the tone arm to the left slightly.

4 Lower the arm lifter lever.

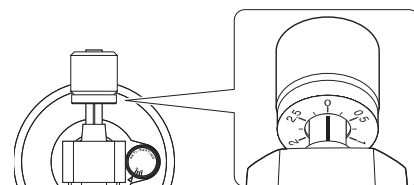
5 Turn the counterweight and adjust so that the tone arm is level.



- Remove the protective cap from the cartridge stylus before adjusting.
- Be careful not to let the cartridge stylus touch the unit.

6 Return the tone arm to its original position, and use the clasp to lock it.

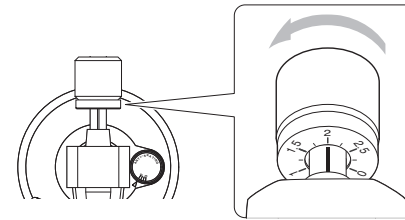
7 Turn the tracking force adjustment ring so that the center line aligns with 0 on the scale.



- Only turn the ring. Be careful not to let the counterweight turn.

8 Turn the counterweight so that the tracking force adjustment ring scale matches the tracking force specified for the cartridge.

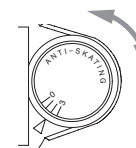
- The tracking force of the included cartridge is 2.0 g.
So, turn it to 2.0 on the counterweight scale when using the included cartridge.



- Turn it right from 0 in the direction of 0.5 and 1.0.

9 Adjust the anti-skating dial.

Start with it set at 2.0 and adjust it during record playback (page 18) to the position where the left and right volumes are balanced.



ATTENTION

Depending on the condition of a record, the left-right volume balance could become uneven and skipping could occur.

In such cases, try making the following adjustments.

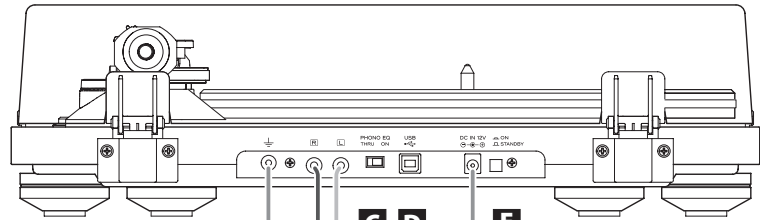
If the sound jumps backward (stylus skips backward)

Slightly lower the anti-skating dial setting.

If the sound jumps forward (stylus skips forward)

Slightly increase the anti-skating dial setting.

Connections



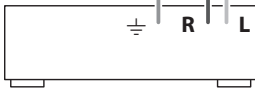
Connect to line input connectors of amplifier, etc.

Set the PHONO EQ switch to ON.

Connect to phono input connectors of amplifier, etc.

Set the PHONO EQ switch to THRU.

Amplifier, speaker system with built-in amp, recording device, etc.



⚠️ Precautions when making connections

- Do not plug the unit in until after making all connections.
- Carefully read the manuals of the devices that you are connecting and follow their instructions when making connections.

A Grounding terminal (⏏)

Use the grounding wire of the included RCA audio cable to connect this connector to the grounding terminal of the amplifier, for example.

- This is NOT an electrical safety ground.

If noise from speakers is conspicuous

If connecting the grounding wire of the audio cable to the grounding terminal of this unit does not reduce noise, disconnect the grounding wire and check the sound again. Use the method (connected/disconnected) that has the least noise.

B Analog audio output connectors (L/R)

These output analog audio signals.

The PHONO EQ switch setting changes the type of output signal.

Use the included audio cable (or commercially-available ones) to connect other equipment to the output connectors of this unit.

C PHONO EQ (audio output setting) switch

ON

Signals that have been amplified by the built-in equalizer amp are output from the analog audio output connectors (L/R).

THRU

The MC or MM cartridge signal is output directly through the analog audio output connectors (L/R).

Connect to a device with phono inputs, such as a phono equalization preamplifier or an amplifier with phono input connectors.

- When shipped new from the factory, this is set to ON.
- Set this to ON if a device is connected to the USB port.

CAUTION

When set to ON, if connected to the PHONO inputs of an amplifier, for example, the output from speakers and headphones will be very loud, which could damage equipment or harm hearing.

D USB port (USB B type)

The sound of the record is converted to digital (resolution up to 48 kHz/16-bit) and output. Recording on a computer is possible by connecting this to a USB port on the computer using a USB cable (page 19).

E DC input connector

After completing all other connections, connect the included AC adapter to this connector.

Confirm that the power plug of the AC adapter is plugged into a power outlet.

- Do not use any AC adapter other than the one included.

⚠️ **Be sure to connect the power cord to an AC outlet that supplies the correct voltage. Connection to an outlet that supplies incorrect voltage could cause fire or electric shock.**

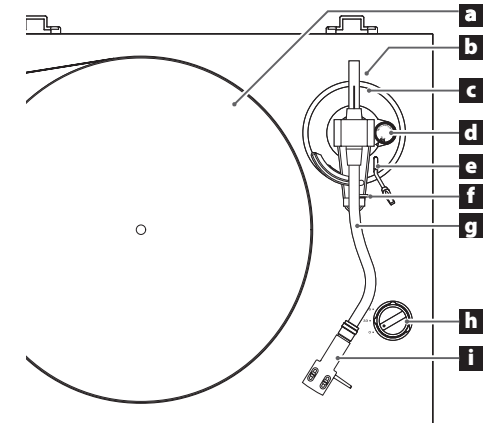
⚠️ **Hold the power plug when plugging it into an outlet or unplugging it. Never pull or yank on the power cord.**

⚠️ **Unplug the power cord from the outlet when you are not planning to use the unit for an extended period of time.**

F STANDBY/ON button

Press the STANDBY/ON button to turn the unit on or put it in standby.

Names and functions of parts



a Turntable (platter)

Place records centered on the turntable (platter).

b Counterweight

c Tracking force adjustment ring

d Anti-skating dial

e Arm lifter lever

Use to raise and lower the tone arm.

We recommend using the arm lifter lever to avoid damaging records and styluses, because it is safer and more certain than using a finger to do so.

f Tone arm holder

This is a rest for the tone arm. Move the clasp to the right to release the tone arm before playing a record.

g Tone arm

h Rotation speed setting knob

Select the rotation speed indicated on the record to be played.

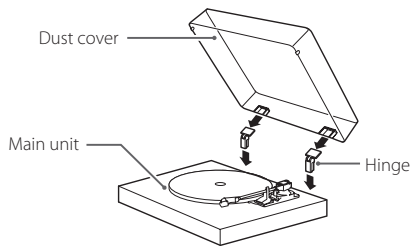
Rotation will stop when this is set to 0.

i Headshell

This is a universal type that allows the cartridge to be changed easily.

Dust cover

Attaching the dust cover



1 Insert the hinges completely into the hinge holders at the left and right ends of the back of the main unit.

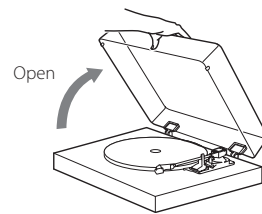
2 Align the tops of the hinges with the dust cover hinge holders and insert them.

- Close the dust cover during playback. Since doing this prevents skipping caused by unintended contact and blocks external sound pressure, it makes noise less likely to occur.
- Do not open or close it when a record is playing. Doing so could, for example, cause the stylus to skip.
- Keep it closed whenever possible to keep dust out.

Removing the dust cover

Hold both edges of the dust cover and lift it slowly to remove it along with the hinges from the unit. Then, remove the hinges from the dust cover.

Opening and closing the dust cover



Opening

Hold the front edge of the dust cover and gently lift it open completely until it stops. The dust cover will stay open in this position.

Closing

Gently lower the dust cover until it is closed.

⚠ Be careful not to pinch your fingers, for example, when opening and closing the dust cover.

Changing the cartridge

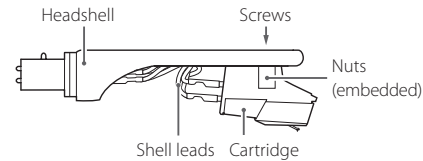
To change the cartridge, first remove the headshell from the tone arm.

- An Audio-Technica AT-VM95E VM Type cartridge is installed in this unit.

NOTE

VM type cartridges have the same characteristics as MM type cartridges.

- We recommend that you attach the protective cap to the cartridge stylus before doing this task.

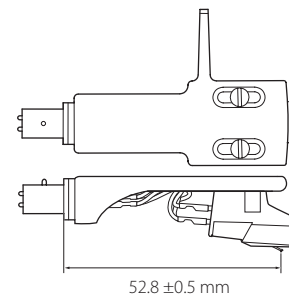


1 Disconnect the shell lead terminals from the cartridge.

2 Loosen the screws and remove the cartridge.

3 Attach the new cartridge and tighten the screws.

See the illustration below for the position of the screws when attached.



4 Connect the shell lead terminals to the cartridge.

- The signals and colors of the shell leads are shown below.

Signal	Color
Left channel +	White
Left channel -	Blue
Right channel +	Red
Right channel -	Green

5 Balance the tone arm and adjust the tracking force.

Follow the procedures in "Balancing the tone arm and adjusting the tracking force" on page 15.

Precautions when changing the cartridge

The weight of cartridges that can be used with this unit is limited. See "Tone arm" on page 20. Also check the acceptable cartridge weight (with the included head shell) shown on the same page when changing the head shell.

Using MC cartridges

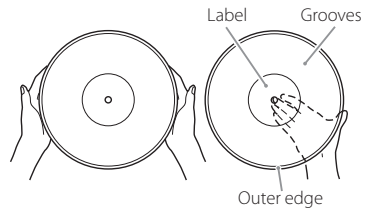
The equalizer amplifier built into this unit is for MM cartridges. It does not support MC cartridges.

To use an MC cartridge, connect this unit to a phono equalizer amplifier that supports MC cartridges or an amplifier with an MC phono input connector, for example. Then, set this unit's PHONO EQ (audio output) setting switch to THRU.

Handling records

Holding records

When holding a record or removing it from its sleeve, avoid touching the grooves by holding the record by its label and edge with one hand or by holding it by its edge with both hands.



Cleaning

- Fingerprints and dust on a record can cause noise and the sound to skip, as well as damage the record itself and the stylus. Use a commercially-available record cleaner to clean records. Do not use thinner or anything other than a record cleaner. Such chemicals could harm the surface of the record.
- When using a record cleaner, wipe the surface of the record in a circular motion, following the grooves.



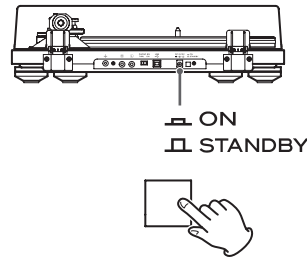
Precautions for use

- Do not leave records in places that are exposed to direct sunlight or are very hot or very humid. Leaving a record in such a condition for a long time could result in warping, mold growth or other damage.
- Do not stack multiple records or place heavy objects on top of them. Do not leave records at an angle for long amounts of time, either. Doing so could result in warping or other damage.
- Do not allow hard objects to directly touch the audio grooves. Doing so could cause scratches.
- After you finish playing a record, always put it back into its sleeve for storage. Leaving a record unprotected could result in warping or scratching.
- Do not use cracked records.

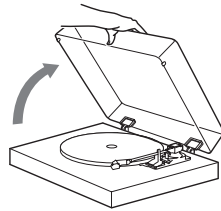
Playing records

- Remove the protective cap from the cartridge stylus before using the turntable.

- 1 Press the **STANDBY/ON** button on the back of the unit to turn it on.**



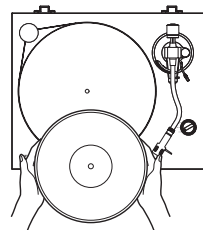
- 2 Open the dust cover slowly.**



- ⚠ Be careful not to pinch your hand, for example, when opening and closing the dust cover.**

- 3 Place a record on the turntable (platter).**

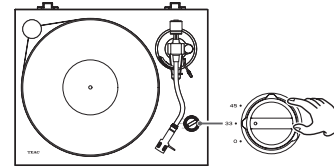
When playing a 45 RPM large-hole single record, use the included adapter.



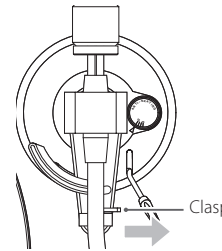
Basic operation

- 4 Select the rotation speed indicated on the record.**

The rotation speed can be set to 33 1/3 or 45 RPM.

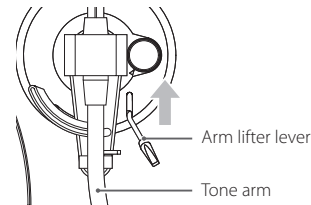


- 5 Move the tone arm clasp to the right to release the tone arm.**



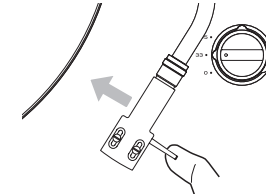
- 6 Raise the arm lifter lever.**

This raises the arm lifter, keeping the tone arm up, so the stylus will not contact the record even if the tone arm is moved over it.



- You can also manually move the tone arm to above the record without raising the arm lifter lever and then slowly lower the tone arm to start playback.

- 7 Move the tone arm to the track where you want to start playback.**



- 8 Lower the arm lifter lever.**

The tone arm lowers slowly until the stylus touches the record and playback begins.

- Close the dust cover during playback. Since doing this prevents skipping caused by unintended contact and blocks external sound pressure, it makes noise less likely to occur.

- ⚠ Do not place anything on the dust cover.**

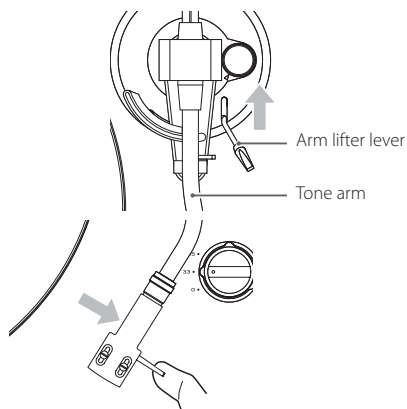
ATTENTION

- During playback, do not touch the tone arm or the record. Doing so could damage the stylus tip and cause scratches on the record.
- Do not forcibly stop turntable (platter) rotation during playback. Since this product is not a turntable designed for DJs (direct drive), doing something like this could cause malfunction.

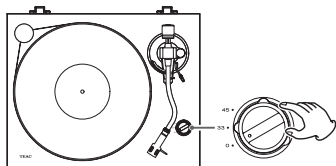
During record playback, feedback could occur if the volume is too loud. If this happens, lower the volume of the amplifier.

When playback finishes

- 1 **Raise the arm lifter lever to separate the stylus from the record, and return the tone arm to its original position.**



- 2 **Turn the rotation speed setting knob to 0 to stop the turntable (platter).**



The sound of a record can be digitally recorded on a computer by using a commercially-available USB cable to connect this unit to a USB port on the computer.

- The USB port on this unit is for connecting to a computer.

Supported operating systems

Computers running the following operating systems can be connected by USB to this unit (as of April 2019).

Windows

- Windows 7 (32-bit, 64-bit)
- Windows 8 (32-bit, 64-bit)
- Windows 8.1 (32-bit, 64-bit)
- Windows 10 (32-bit, 64-bit)

Mac

- OS X Lion (10.7)
- OS X Mountain Lion (10.8)
- OS X Mavericks (10.9)
- OS X Yosemite (10.10)
- OS X El Capitan (10.11)
- macOS Sierra (10.12)
- macOS High Sierra (10.13)
- macOS Mojave (10.14)

Use with operating systems other than these is not guaranteed.

- This unit will run with the standard Windows or Mac driver, so there is no need to install a special driver.

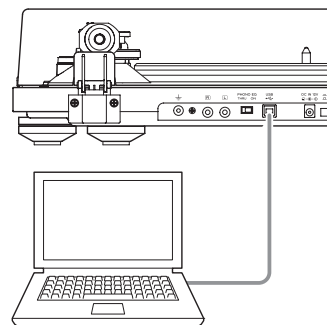
Recording with a computer

Connecting with a computer

- 1 **Turn the computer on.**

Confirm that the operating system is working correctly.

- 2 **Use the USB cable to connect the computer and this unit.**



- Use a commercially-available USB cable with a ferrite core.

- 3 **Press this unit's STANDBY/ON button to turn it on.**

The computer will automatically detect this unit's USB port and identify the unit as "USB Audio CODEC".

- To record audio from this record player using a computer, you must first install software that can be used for audio recording on the computer. You may purchase the audio recording software that you prefer separately or download free software, such as Audacity (<http://www.audacityteam.org/>), from the Internet. As free software, Audacity is not supported by TEAC.
- When recording with a computer, do not do any of the following. Doing so could cause the computer to malfunction. Always quit the computer recording software before doing the following.
 - Disconnect the USB cable
 - Put the unit into standby

Computer settings

The following example explains the settings to make using Windows 10.

- 1 **From the Start menu, select Windows System, then Control Panel.**

- 2 **Click "Sound".**

If the Control Panel "View by" is set to "Category", select "Hardware and Sound". Then select "Sound".

- 3 **Click the "Recording" tab, and confirm that "USB Audio CODEC" is set as the "Default Device".**

- 4 **Select "USB Audio CODEC", and click the Properties button.**

- 5 **Click the "Advanced" tab.**

- 6 **From the "Default Format" pull-down menu list, select the desired recording quality (format).**

TIP

To record at the highest audio quality that this unit can output, select "2 channel, 16 bit, 48000 Hz".

Lowering the sampling frequency setting value will relatively reduce the size of files but also decrease the audio quality.

- 7 **Click "OK".**

After making the above settings, use audio recording software to record.

Troubleshooting

If you experience a problem with this unit, please check the following items before requesting service. Something other than this unit could also be the cause of the problem. Please also check that the connected devices are also being used properly. If it still does not operate correctly, contact the retailer where you purchased the unit.

No power.

- ➔ Confirm that the AC adapter is plugged into an outlet. Then, press the STANDBY/ON button to turn the unit on (pages 16 and 18).

The turntable will not rotate.

- ➔ Press the STANDBY/ON button to turn the unit on (pages 16 and 18).
- ➔ Loop the belt around the motor pulley (page 14).
- ➔ Adjust the rotation speed setting knob to the rotation speed indicated on the record (page 18).

The turntable rotation speed is not right.

- ➔ Confirm that the rotation speed setting knob is set to 33 and that it rotates about 100 times in 3 minutes.

The arm does not go down even when the arm lifter lever is lowered.

- ➔ Balance the tone arm and readjust the tracking force (page 15).

Sound is odd or breaks up.

- ➔ Check the connectors connected to the amplifier, and set the PHONO EQ (audio output) setting switch (page 16).

The pitch is wrong.

- ➔ Select the rotation speed indicated on the record (page 18).

There is no sound.

- ➔ When connecting this unit's analog audio output connectors to the audio input connectors of an amplifier or other equipment, set the PHONO EQ (audio output setting) switch to ON (page 16).

Playback is not possible; there is noise.

- ➔ Remove the protective cap from the cartridge stylus before using the turntable.
- ➔ Reconnect RCA audio cables.
- ➔ Fingerprints and dust on a record can cause noise and the sound to skip. Use a commercially-available record cleaner to clean records (page 18).
- ➔ Clean the stylus (page 15).

- ➔ If the stylus is worn-out, replace it (page 15). The need for stylus replacement depends on use conditions, but we recommend replacement after about 300 hours of use.
- ➔ Place the unit as far away as possible from TVs, microwave ovens and other devices that emit electromagnetic waves.
- ➔ Plug the AC adapter into a different outlet.

Noise occurs when a record is playing.

- ➔ Noise could occur if the tracking force is higher than cartridge's specified value. Readjust the tracking force so that it is the specified value (page 15).

The sound is skipping.

- ➔ Vibrations will cause skipping. Place this unit in a stable location.
- ➔ Clean the record.
- ➔ Do not use scratched records.
- ➔ Balance the tone arm and readjust the tracking force (page 15). The stylus and sound might skip if the tracking force is lower than the cartridge's specified value.
- ➔ If the stylus is bent, replace it.

The unit is not recognized by the connected computer.

- ➔ Check the supported computer operating systems on page 19. Operation with unsupported operating systems is not guaranteed.
- ➔ Connect it to a different USB port.

Specifications

Turntable (platter)

Drive system	Belt drive
Motor	DC motor
Rotation speed	33 1/3 rpm, 45 rpm
Wow and flutter	0.1% or less
SN ratio	67 dB or higher (A-weighted, 20kHz LPF)
Turntable (platter)	Aluminum die-cast 30cm (12") diameter

Tone arm

Arm type	Static-balanced S-shaped tone arm
Effective arm length	223 mm
Tracking force variation range	0–5 g
Acceptable cartridge weight	3.0–12 g 14–23 g (with the included headshell)

Cartridge

Type	VM (equivalent to MM)
Output voltage	4.0 mV (1 kHz, 5 cm/s)
Tracking force	1.8–2.2 g (2.0 g recommended)
Cartridge weight	6.1 g
Included headshell weight	11 g (including screws, nuts and wires)

- The need for stylus replacement depends on use conditions, but we recommend replacement after about 300 hours of use.
- An Audio-Technica AT-VM95E VM Type cartridge is installed in this unit.
(The body of the replacement stylus for the installed cartridge is green.)
Note: VM type cartridges have the same characteristics as MM type cartridges.
- Replacement stylus model: Audio-Technica AT-VMN95E

Output voltage

PHONO EQ THRU	4.0 mV (1 kHz, 5 cm/s)
PHONO EQ ON	224 mV (–13 dBV)
Output connectors	RCA

USB port

USB port that can receive power from computer USB buses (Full Speed)	USB connector type B
USB bus power support	5 V, 500 mA
Sampling frequency	8 kHz, 11.025 kHz, 16 kHz, 22.05 kHz, 32 kHz, 44.1 kHz, 48 kHz
Quantization bit depth	16-bit

General

AC adapter power	
Input	AC 100 V – AC 240 V, 50/60 Hz
Output	DC 12 V, 500 mA
Power consumption	
Standby	0.5 W or less
On (33, 45)	2.0 W or less
Weight	5.0 kg (11 1/8 lb)
Operating temperature range	5°C to 35°C
Dimensions (W × H × D) (including protrusions)	
When the dust cover is closed	420 × 117 × 356 mm (16 5/8" × 4 5/8" × 14 1/8")
When the dust cover is open	420 × 381 × 402 mm (16 5/8" × 15" × 15 7/8")
When the dust cover is removed	420 × 102 × 356 mm (16 5/8" × 4 1/8" × 14 1/8")

- Performance data is specified at 20°C.

Included items

Felt mat × 1
45 RPM adapter × 1
Counterweight × 1
Headshell × 1
Audio-Technica VM type (dual magnet) stereo cartridge (AT-VM95E) preinstalled
Turntable (platter) × 1
Dust cover × 1
Dust cover hinges × 2
RCA audio cable with grounding terminal × 1
AC adapter (GPE053A-V120050) × 1
Owner's manual (this document, including warranty) × 1
● The warranty for the United States and Canada is on the back cover. See page 70 for warranty provisions. See page 71 for information about the warranty in Europe and other countries or areas.

- Specifications and appearance are subject to change without notice.
- Weight and dimensions are approximate.
- Illustrations in this owner's manual might differ slightly from production models.



ATTENTION : POUR RÉDUIRE LE RISQUE D'ÉLECTROCUTION, NE RETIREZ PAS LE CAPOT (OU L'ARRIÈRE). AUCUNE PIÈCE INTERNE N'EST RÉPARABLE PAR L'UTILISATEUR. CONFIEZ TOUTE RÉPARATION À UN SERVICE APRÈS-VENTE QUALIFIÉ.

Le symbole d'éclair à tête de flèche dans un triangle équilatéral sert à prévenir l'utilisateur de la présence dans l'enceinte du produit d'une « tension dangereuse » non isolée d'une grandeur suffisante pour constituer un risque d'électrocution pour les personnes.



Le point d'exclamation dans un triangle équilatéral sert à prévenir l'utilisateur de la présence d'instructions importantes de fonctionnement et de maintenance (entretien) dans les documents accompagnant l'appareil.



AVERTISSEMENT : POUR PRÉVENIR LES RISQUES D'INCENDIE ET D'ÉLECTROCUTION, N'EXPOSEZ PAS CET APPAREIL À LA PLUIE NI À L'HUMIDITÉ.

ATTENTION

- NE RETIREZ PAS LES CAPOTS EXTERNES OU BOÎTIERS POUR EXPOSER L'ÉLECTRONIQUE. AUCUNE PIÈCE INTERNE N'EST RÉPARABLE PAR L'UTILISATEUR.
- SI VOUS RENCONTREZ DES PROBLÈMES AVEC CE PRODUIT, CONTACTEZ LE MAGASIN OÙ VOUS AVEZ ACHETÉ L'UNITÉ. N'UTILISEZ PAS LE PRODUIT TANT QU'IL N'A PAS ÉTÉ RÉPARÉ.
- L'UTILISATION DE COMMANDES, DE RÉGLAGES OU LE SUIVI DE PROCÉDURES AUTRES QUE CE QUI EST DÉCRIT DANS CE DOCUMENT PEUT PROVOQUER UNE EXPOSITION À UN RAYONNEMENT DANGEREUX.

- 1) Lisez ces instructions.
- 2) Conservez ces instructions.
- 3) Tenez compte de tous les avertissements.
- 4) Suivez toutes les instructions.
- 5) N'utilisez pas cet appareil avec de l'eau à proximité.
- 6) Ne nettoyez l'appareil qu'avec un chiffon sec.
- 7) Ne bloquez aucune ouverture de ventilation. Installez-le conformément aux instructions du fabricant.
- 8) N'installez pas l'appareil près de sources de chaleur telles que des radiateurs, bouches de chauffage, poêles ou autres appareils (y compris des amplificateurs) dégageant de la chaleur.

- 9) Ne neutralisez pas la fonction de sécurité de la fiche polarisée ou de terre. Une fiche polarisée a deux broches, l'une plus large que l'autre. Une fiche de terre a deux broches identiques et une troisième broche pour la mise à la terre. La broche plus large ou la troisième broche servent à votre sécurité. Si la fiche fournie n'entre pas dans votre prise, consultez un électricien pour le remplacement de la prise obsolète.

- 10) Évitez de marcher sur le cordon d'alimentation et de le pincer, en particulier au niveau des fiches, des prises secteur, et du point de sortie de l'appareil.

- 11) N'utilisez que des fixations/accessoires spécifiés par le fabricant.

- 12) Utilisez-le uniquement avec des chariots, socles, trépieds, supports ou tables spécifiés par le fabricant ou vendus avec l'appareil. Si un chariot est utilisé, faites attention à ne pas être blessé par un renversement lors du déplacement de l'ensemble chariot/appareil.



- 13) Débranchez cet appareil en cas d'orage ou de non utilisation prolongée.

- 14) Confiez toute réparation à des techniciens de maintenance qualifiés. Une réparation est nécessaire si l'appareil a été endommagé d'une quelconque façon, par exemple si le cordon ou la fiche d'alimentation est endommagé, si du liquide a été renversé sur l'appareil ou si des objets sont tombés dedans, si l'appareil a été exposé à la pluie ou à l'humidité, s'il ne fonctionne pas normalement, ou s'il est tombé.

- L'appareil tire un courant nominal de veille de la prise secteur quand son interrupteur POWER ou STANDBY/ON n'est pas en position ON.
- La fiche secteur est utilisée comme dispositif de déconnexion et doit donc toujours rester disponible.
- Des précautions doivent être prises en cas d'utilisation d'écouteurs ou d'un casque avec le produit car une pression sonore excessive (volume trop fort) dans les écouteurs ou dans le casque peut causer une perte auditive.

AUX USA/CANADA, UTILISEZ UNIQUEMENT UNE TENSION D'ALIMENTATION DE 120 V.

ATTENTION

- N'exposez pas cet appareil aux gouttes ni aux éclaboussures.
- Ne placez pas d'objet rempli de liquide sur l'appareil, comme par exemple un vase.
- N'installez pas cet appareil dans un espace confiné comme une bibliothèque ou un meuble similaire.
- L'appareil doit être placé suffisamment près de la prise de courant pour que vous puissiez à tout moment attraper facilement la fiche du cordon d'alimentation.

Modèle pour le Canada

Déclaration de conformité d'Industrie Canada :
CET APPAREIL NUMÉRIQUE DE LA CLASSE B EST CONFORME À LA NORME NMB-003 DU CANADA

Modèle pour l'Europe

CE Ce produit est conforme aux directives européennes et aux autres réglementations de la Commission européenne.

Pour les consommateurs européens

Mise au rebut des équipements électriques et électroniques et des piles et/ou accumulateurs

- Tout équipement électrique/électronique et pile/accumulateur hors d'usage doit être traité séparément de la collecte municipale d'ordures ménagères dans des points de collecte désignés par le gouvernement ou les autorités locales.
- En vous débarrassant correctement des équipements électriques/électroniques et piles/accumulateurs hors d'usage, vous contribuerez à la sauvegarde de précieuses ressources et à la prévention de potentiels effets négatifs sur la santé humaine et l'environnement.
- Le traitement incorrect des équipements électriques/électroniques et piles/accumulateurs hors d'usage peut avoir des effets graves sur l'environnement et la santé humaine en raison de la présence de substances dangereuses dans les équipements.
- Le symbole de déchets d'équipements électriques et électroniques (DEEE), qui représente une poubelle à roulettes barrée d'une croix, indique que les équipements électriques/électroniques et piles/accumulateurs doivent être collectés et traités séparément des déchets ménagers.



Si une pile ou un accumulateur contient plus que les valeurs de plomb (Pb), mercure (Hg) et/ou cadmium (Cd) spécifiées dans la directive sur les piles et accumulateurs (2006/66/CE, 2013/56/UE), alors les symboles chimiques de ces éléments seront indiqués sous le symbole DEEE.



- Des systèmes de retour et de collecte sont disponibles pour l'utilisateur final. Pour des informations plus détaillées sur la mise au rebut des vieux équipements électriques/électroniques et piles/accumulateurs hors d'usage, veuillez contacter votre mairie, le service d'ordures ménagères ou le magasin dans lequel vous avez acquis l'équipement.

Nous vous remercions d'avoir choisi TEAC.
Lisez ce mode d'emploi avec attention pour tirer les meilleures performances de cette unité.
Après l'avoir lu, gardez-le en lieu sûr pour vous y référer ultérieurement.

INSTRUCTIONS DE SÉCURITÉ IMPORTANTES	21
Avant l'utilisation	22
Préparation de la platine	22
Notes sur les pointes pour disque	23
Branchements	24
Nomenclature et fonctions des parties	24
Couvercle anti-poussière	25
Changement de cellule	25
Manipulation des disques	26
Fonctionnement de base	26
Enregistrement avec un ordinateur	27
Guide de dépannage	28
Caractéristiques techniques	28

Avant l'utilisation

Éléments fournis

Vérifiez que vous disposez bien de tous les accessoires représentés ci-dessous. Veuillez contacter le magasin dans lequel vous avez acheté cette unité si l'un de ces accessoires manque ou a été endommagé durant le transport.

- Tapis en feutre × 1
- Adaptateur 45 tr/min × 1
- Contrepoids × 1
- Porte-cellule × 1
 - Cellule stéréo Audio-Technica préinstallée de type VM (double aimant) (AT-VM95E)
- Tourne-disque (plateau) × 1
- Couvercle anti-poussière × 1
- Charnières du couvercle anti-poussière × 2
- Câble audio RCA avec borne de masse × 1
- Adaptateur secteur (GPE053A-V120050) × 1
- Mode d'emploi (ce document, y compris la garantie) × 1
- La garantie pour les États-Unis et le Canada se trouve au dos de la couverture. Voir page 70 les dispositions de la garantie. Voir page 71 les informations concernant la garantie en Europe et dans d'autres pays ou régions.

Précautions d'emploi

- Ne placez rien sur le couvercle anti-poussière. Les objets posés sur le couvercle peuvent provoquer du bruit dû aux vibrations ou tomber, en particulier lors de la lecture.
- Évitez d'exposer l'unité directement au soleil, de la placer près d'une source de chaleur ou dans d'autres conditions similaires. Ne l'installez pas au-dessus d'un amplificateur ou d'un équipement pouvant dégager une chaleur qui dépasse la température de fonctionnement de cette unité. Cela pourrait causer une décoloration, une déformation ou un mauvais fonctionnement.
- Il est possible que l'unité chauffe durant l'utilisation, laissez donc toujours un espace suffisant autour d'elle pour sa ventilation. Quand vous installez cette unité, laissez un peu d'espace (au moins 20 cm) entre elle et les murs et d'autres appareils afin de permettre une bonne dissipation thermique.
Si vous la placez par exemple dans un rack, laissez au moins 35 cm de libre au-dessus de l'unité et 10 cm derrière elle. Sans ces espaces, la température peut monter, risquant d'entraîner un incendie.

- NE DÉPLACEZ PAS L'UNITÉ DURANT LA LECTURE. Durant la lecture, le disque tourne. Ne soulevez et ne déplacez pas l'unité durant la lecture. Vous risqueriez d'endommager le disque, la pointe, la cellule ou l'unité.
- Retirez toujours le disque avant de déplacer ou de transporter cette unité. Transporter cette unité avec un disque sur la platine pourrait endommager le disque, la pointe, la cellule ou provoquer un dysfonctionnement.
- La tension d'alimentation doit correspondre à la tension imprimée sur le panneau arrière. Si vous avez des doutes à ce sujet, consultez un électricien.

Entretien

Si la surface de l'unité est sale, essuyez-la avec un chiffon doux ou utilisez un détergent liquide léger dilué. Laissez la surface de l'unité sécher complètement avant utilisation.

- N'utilisez pas de lingettes de nettoyage imbibées de produits chimiques, de diluant ou de substances similaires car cela pourrait endommager la surface de l'unité.

⚠ ATTENTION

Par sécurité, débranchez le cordon d'alimentation de la prise secteur avant tout nettoyage.

Utilisation du site mondial TEAC

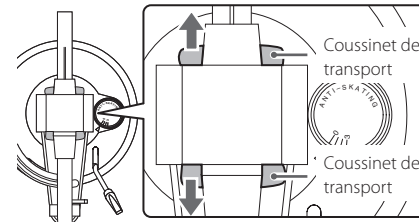
Vous pouvez télécharger des mises à jour pour cette unité depuis le site mondial TEAC : <http://teac-global.com/>

Dans la section TEAC Downloads (téléchargements TEAC), cliquez sur la langue souhaitée afin d'ouvrir la page de téléchargement du site web pour cette langue.

Préparation de la platine

Maintenez l'unité en veille pendant son installation (E en page 24).

1 Des coussinets sont fixés au bras de lecture pour le transport. Retirez-les en suivant le sens des flèches.



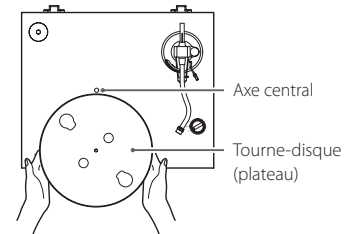
2 Placez l'unité sur une surface plane.

Placez-la sur une surface plane afin que le sillon du disque puisse être suivi avec précision.

3 Installez le plateau tourne-disque.

Alignez le plateau avec l'axe central et installez-le.

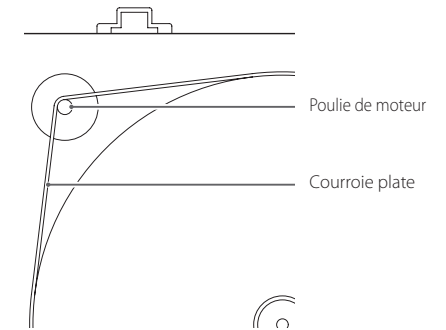
- Placez le grand côté de l'orifice vers le bas.



4 Enroulez la courroie autour de la poulie du moteur.

Enroulez la courroie plate fournie sur le pourtour du tourne-disque (plateau) puis autour de la poulie du moteur.

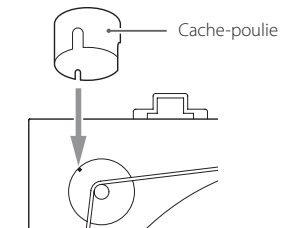
- Faites bien attention à ne pas tordre le caoutchouc.
- Faites tourner plusieurs fois le tourne-disque (plateau) pour vous assurer que la courroie plate est bien montée.



5 Installez le cache-poulie.

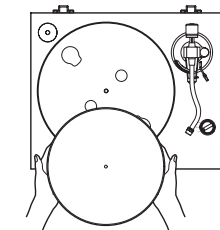
Alignez la petite découpe du cache-poulie avec la petite protubérance de la poulie, comme représenté ci-dessous.

- Si ces derniers ne sont pas alignés, le cache-poulie sera bancal.



6 Placez le tapis de platine en feutre sur le plateau.

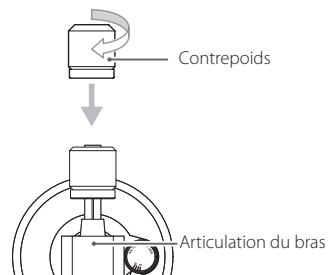
Placez le tapis de platine en feutre fourni sur le plateau avant utilisation.



7 Installez le contrepoids.

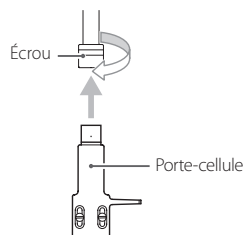
Placez le contrepoids à l'extrémité du bras de lecture et poussez-le délicatement pendant que vous le tournez pour le fixer.

- Lorsque le contrepoids peut être déplacé vers l'articulation du bras, l'installation est terminée.

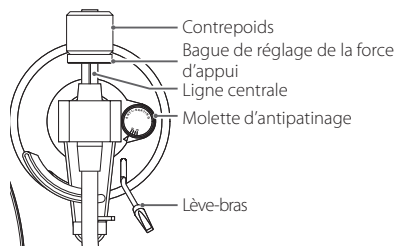


8 Installez le porte-cellule.

Insérez le porte-cellule à l'autre extrémité du bras de lecture et tournez l'écrou pour le verrouiller.

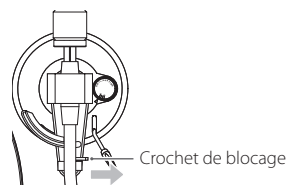


Équilibrage du bras de lecture et réglage de la force d'appui



1 Réglez la molette d'antipatinage sur zéro.

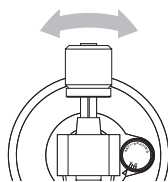
2 Repoussez le crochet de blocage vers la droite pour libérer le bras de lecture.



3 Soulevez le lève-bras et poussez légèrement le bras de lecture vers la gauche.

4 Rabaissez le lève-bras.

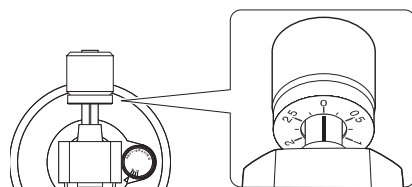
5 Tournez le contrepoids jusqu'à ce que le bras de lecture soit à l'horizontale.



- Retirez le capuchon de protection de la pointe de la cellule avant de procéder au réglage.
- Veillez bien à ne pas laisser la pointe de la cellule toucher l'unité.

6 Ramenez le bras de lecture à sa position d'origine et verrouillez-le avec le crochet de blocage.

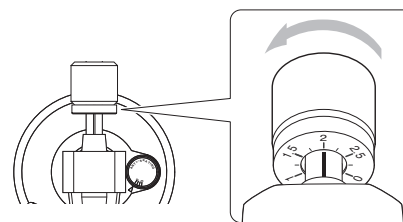
7 Tournez la bague de réglage de force d'appui pour que la ligne centrale s'aligne avec le 0 sur la graduation.



- Ne tournez que la bague de réglage. Veillez à ne pas faire tourner le contrepoids.

8 Tournez le contrepoids afin que la graduation de la bague de réglage de force d'appui corresponde à la valeur de force d'appui spécifiée pour la cellule.

- La pression de pointe pour la cellule fournie est de 2,0 g. Donc, tournez le contrepoids jusqu'à la graduation 2,0 si vous utilisez la cellule fournie.



- Tournez-le vers la droite depuis 0 vers 0.5 et 1.0.

9 Réglez la molette d'antipatinage.

Commencez en réglant à 2,0 et ajustez-la durant la lecture d'un disque (page 26) sur la position qui donne un bon équilibre pour les volumes gauche et droit.



ATTENTION

Selon l'état du disque, la balance de volume gauche-droite peut s'avérer irrégulière et des sauts peuvent se produire.

Dans de tels cas, essayez de faire les réglages suivants.

Si le son saute en arrière (la pointe recule)

Baissez légèrement le réglage de la molette d'antipatinage.

Si le son saute en avant (la pointe avance)

Augmentez légèrement le réglage de la molette d'antipatinage.

Notes sur les pointes pour disque

- Si la pointe est tordue (endommagée), elle ne peut plus suivre précisément le sillon. Comme une pointe tordue peut également endommager les disques et provoquer un dysfonctionnement, maniez délicatement les pointes.
- Nettoyez toujours la pointe avec un nettoyeur du commerce prévu à cet effet. L'utilisation de tout autre produit pourrait endommager la pointe.

Remplacement de la pointe

Si l'extrémité de la pointe est usée, cela dégrade la qualité sonore mais endommage également les disques. Après environ 300 heures de lecture, remplacez la pointe par une neuve du modèle indiqué.

Veillez utiliser une pointe de rechange AT-VMN95E Audio-Technica.

- Une cellule Audio-Technica AT-VM95E de type VM est installée dans cette unité.
(Le capuchon de la pointe de rechange pour la cellule installée est vert.)

NOTE

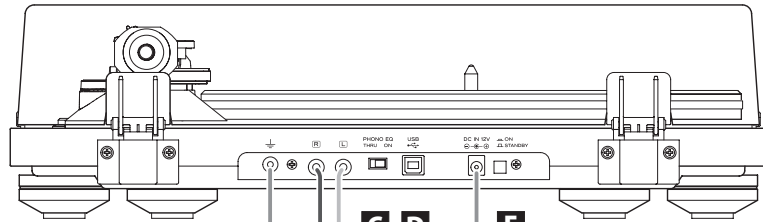
Les cellules de type VM ont les mêmes caractéristiques que les cellules de type MM.

- Suivez les instructions de remplacement dans le manuel de la pointe de rechange.

ATTENTION

- Comme de forts bruits pourraient soudainement se produire, mettez l'unité en veille avant de changer la pointe.
- Faites attention de ne pas abîmer vos mains ou l'équipement.
- Veillez à ne pas permettre à de petits enfants d'avaler accidentellement les pointes.
- Sachez que les pointes tordues en raison par exemple d'un soin insuffisant par l'utilisateur et d'une cause externe ne sont pas couvertes par la garantie.

Branchements



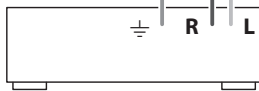
Branchez ici les prises d'entrée ligne d'un amplificateur, etc.

Réglez le commutateur PHONO EQ sur ON

Branchez ici les prises d'entrée phono d'un amplificateur, etc.

Réglez le commutateur PHONO EQ sur THRU

Amplificateur, enceintes amplifiées, enregistreur, etc.



A Borne de masse (⊖)

Utilisez le fil de masse du câble audio RCA fourni pour raccorder cette borne par exemple à la borne de masse de l'amplificateur.

- Ce n'est PAS un branchement de terre de sécurité électrique.

En cas de bruit audible dans les enceintes

Si le fait de brancher le fil de masse du câble audio à la borne de masse de cette unité ne réduit pas le bruit, débranchez le câble de masse et vérifiez à nouveau le son. Utilisez la méthode (connecté/déconnecté) pour laquelle le bruit est le plus faible.

B Prises de sortie audio analogique (L/R)

Ces prises produisent les signaux audio analogiques. Le réglage du sélecteur PHONO EQ change le type de signal produit. Utilisez le câble audio fourni (ou un modèle du commerce) pour raccorder d'autres appareils aux prises de sortie de cette unité.

C Sélecteur PHONO EQ (réglage de sortie audio)

ON

Les signaux ayant été amplifiés par l'ampli égaliseur intégré sont produits par les prises de sortie audio analogique (L/R).

THRU

Le signal de la cellule MC ou MM est directement produit par les prises de sortie audio analogique (L/R). Branchez-les à un appareil à entrées phono, comme un préamplificateur à égaliseur phono ou un amplificateur à prises d'entrée phono.

- À la sortie d'usine, ce sélecteur est réglé sur ON.
- Réglez-le sur ON si un appareil est connecté au port USB.

ATTENTION

Avec un réglage sur ON, si le branchement est fait aux entrées PHONO d'un amplificateur, par exemple, le son produit par les enceintes et le casque sera très fort, ce qui peut endommager l'équipement ou l'audition.

⚠ Précautions lors des branchements

- Ne mettez l'unité sous tension qu'une fois tous les branchements effectués.
- Lisez attentivement les modes d'emploi des appareils que vous branchez et suivez leurs instructions quand vous faites les branchements.

D Port USB (USB type B)

Le son du disque est converti en numérique (résolution jusqu'à 48 kHz/16 bits) avant de sortir. L'enregistrement sur un ordinateur est possible en branchant cette sortie à un port USB de l'ordinateur au moyen d'un câble USB (page 27).

E Prise d'entrée d'alimentation CC

Après avoir fait tous les autres branchements, branchez ici l'adaptateur secteur fourni.

Vérifiez que le bloc d'alimentation de l'adaptateur secteur est branché dans une prise secteur.

- N'utilisez aucun adaptateur secteur autre que celui fourni.

⚠ **Veillez à brancher le cordon d'alimentation dans une prise secteur fournissant la tension correcte. Le branchement à une prise fournissant une tension incorrecte pourrait entraîner un incendie ou une électrocution.**

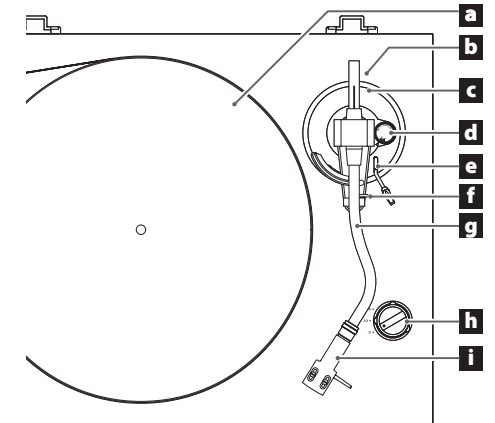
⚠ **Tenez le cordon d'alimentation par sa fiche quand vous le branchez ou le débranchez. Ne tirez jamais sur le cordon lui-même.**

⚠ **Débranchez le cordon d'alimentation de la prise secteur si vous avez l'intention de laisser l'unité inutilisée de façon prolongée.**

F Touche STANDBY/ON

Appuyez sur la touche STANDBY/ON pour allumer l'unité ou la mettre en veille (standby).

Nomenclature et fonctions des parties



a Tourne-disque (plateau)

Placez les disques au centre du plateau.

b Contrepoids

c Bague de réglage de la force d'appui

d Molette d'antipatinage

e Lève-bras

Permet de lever et d'abaisser le bras de lecture.

Nous vous recommandons d'utiliser le lève-bras pour éviter d'endommager les disques et les pointes, car c'est plus sûr et plus précis que de le faire à la main.

f Support de bras de lecture

C'est un support pour poser le bras de lecture. Poussez le crochet de blocage vers la droite pour libérer le bras de lecture avant de lire un disque.

g Bras de lecture

h Sélecteur de vitesse de rotation

Sélectionnez la vitesse de rotation indiquée sur le disque à lire.

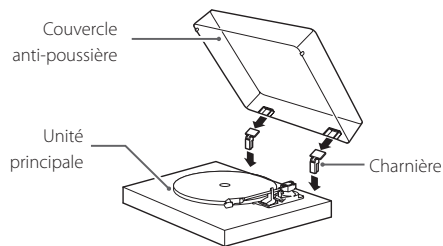
La rotation s'arrêtera si ce bouton est ramené sur 0.

i Porte-cellule

C'est un modèle universel qui permet de facilement changer la cellule.

Couvercle anti-poussière

Fixation du couvercle anti-poussière



1 Insérez les charnières à fond dans les porte-charnières aux extrémités gauche et droite de l'arrière de l'unité principale.

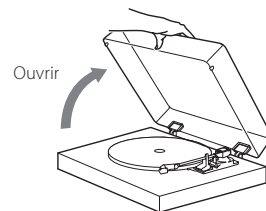
2 Alignez le haut des charnières avec les porte-charnières du couvercle anti-poussière et insérez-les.

- Fermez le couvercle anti-poussière pour la lecture. Comme cela empêche les sauts causés par les contacts involontaires et bloque la pression acoustique externe, le risque de bruit est moindre.
- N'ouvrez pas ou ne fermez pas le couvercle pendant qu'un disque est lu. Cela pourrait, par exemple, faire sauter la pointe.
- Gardez-le fermé autant que possible afin de tenir la poussière à l'écart.

Dépose du couvercle anti-poussière

Maintenez les deux bords du couvercle anti-poussière et soulevez-le lentement pour l'extraire, avec les charnières, de l'unité. Ensuite, retirez les charnières du couvercle anti-poussière.

Ouverture et fermeture du couvercle anti-poussière



Ouverture

Tenez le bord avant du couvercle anti-poussière et soulevez-le délicatement pour l'ouvrir complètement jusqu'à ce qu'il s'arrête.

Le couvercle anti-poussière restera ouvert dans cette position.

Fermeture

Abaissez doucement le couvercle anti-poussière jusqu'à ce qu'il soit fermé.

⚠ Veillez à ne pas vous pincer les doigts, par exemple lors de l'ouverture et de la fermeture du couvercle anti-poussière.

Changement de cellule

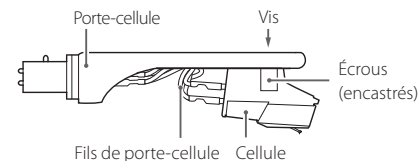
Pour changer la cellule, commencez par détacher le porte-cellule du bras de lecture.

- Une cellule Audio-Technica AT-VM95E de type VM est installée dans cette unité.

NOTE

Les cellules de type VM ont les mêmes caractéristiques que les cellules de type MM.

- Nous vous recommandons de fixer le capuchon protecteur sur la pointe de la cartouche avant d'accomplir cette tâche.

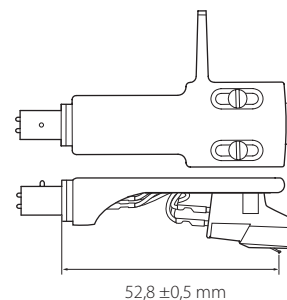


1 Déconnectez de la cellule les fils du porte-cellule.

2 Desserrez les vis et retirez la cellule.

3 Montez la nouvelle cellule et serrez les vis.

Voir l'illustration ci-dessous pour la position des vis après montage.



4 Raccordez les contacts du porte-cellule à la cellule.

- Les signaux et les couleurs des fils de la cellule sont représentés ci-dessous.

Signal	Couleur
Canal gauche +	Blanc
Canal gauche -	Bleu
Canal droit +	Rouge
Canal droit -	Vert

5 Équilibrez le bras de lecture et réglez la force d'appui.

Suivez les procédures décrites dans « Équilibrage du bras de lecture et réglage de la force d'appui » en page 23.

Précautions à prendre lors du remplacement de la cellule

Le poids des cellules pouvant être utilisées avec cette unité est limité. Voir « Bras de lecture » en page 28. Lors du remplacement du porte-cellule, vérifiez dans cette même page le poids acceptable pour la cellule (avec le porte-cellule fourni).

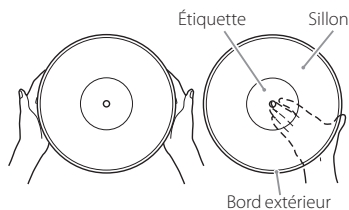
Utilisation de cellules MC

L'amplificateur égaliseur intégré à cette unité est destiné à l'emploi avec des cellules MM. Il ne convient pas aux cellules MC. Pour utiliser une cellule MC, connectez cette unité par exemple à un amplificateur égaliseur phono prenant en charge les cellules MC ou à un amplificateur avec un connecteur d'entrée phono MC. Ensuite, réglez le commutateur PHONO EQ (sortie audio) de cette unité sur THRU.

Manipulation des disques

Tenue des disques

Lors de la prise en mains d'un disque ou de sa sortie de la pochette, évitez de toucher le sillon en maintenant le disque d'une main entre son étiquette et son bord, ou en le tenant avec les deux mains par son bord.



Nettoyage

- Les traces de doigts et la poussière sur un disque peuvent provoquer du bruit et des sautes de son, ainsi qu'endommager le disque lui-même et la pointe. Utilisez un nettoyant pour disque du commerce pour nettoyer les disques. N'utilisez pas de diluant ni autre chose qu'un nettoyant pour disque. De tels produits chimiques pourraient abîmer la surface du disque.
- Lors de l'utilisation d'un nettoyant pour disque, balayez la surface du disque de façon circulaire, en suivant le sillon.



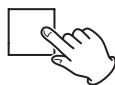
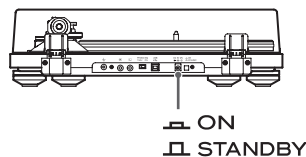
Précautions d'emploi

- Ne laissez pas les disques dans des lieux exposés directement à la lumière du soleil ou qui sont très humides ou très chauds. Laisser longtemps un disque dans de telles conditions peut le faire gondoler, entraîner le développement de moisissures ou lui causer d'autres dommages.
- N'empilez pas plusieurs disques et ne placez pas d'objets lourds dessus. Ne laissez pas non plus les disques de façon prolongée en position inclinée. Cela pourrait les faire gondoler ou leur causer d'autres dommages.
- Ne laissez pas des objets durs entrer en contact direct avec le sillon audio. Cela pourrait entraîner des rayures.
- Une fois que vous avez fini de lire un disque, remplacez-le toujours dans sa pochette pour le rangement. Laisser un disque sans protection pourrait le faire gondoler ou le rayer.
- N'employez pas de disques fendus.

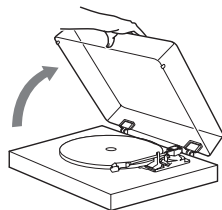
Lecture des disques

- Retirez le capuchon de protection de la pointe de la cellule avant d'utiliser la platine.

1 Appuyez sur la touche **STANDBY/ON** à l'arrière de l'unité pour la mettre sous tension.



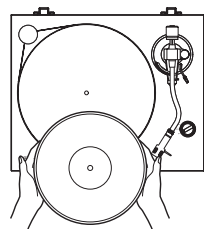
2 Ouvrez lentement le couvercle anti-poussière.



⚠ Veillez à ne pas vous pincer les doigts, par exemple lors de l'ouverture et de la fermeture du couvercle anti-poussière.

3 Placez un disque sur le plateau.

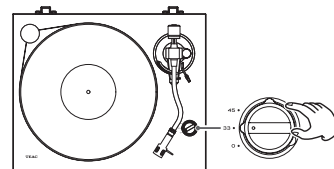
Pour lire un 45 tr/min à grand trou central, utilisez l'adaptateur fourni.



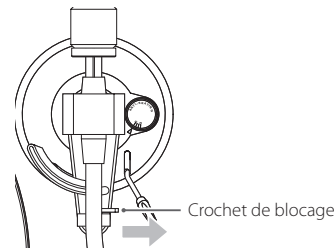
Fonctionnement de base

4 Sélectionnez la vitesse de rotation indiquée sur le disque.

La vitesse de rotation peut être réglée sur 33 1/3 ou 45 tr/min.

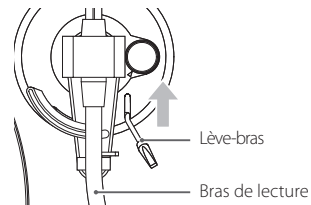


5 Repoussez le crochet de blocage vers la droite pour libérer le bras de lecture.



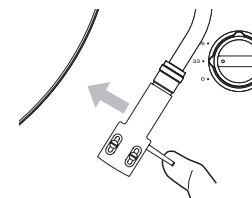
6 Soulevez le lève-bras.

Le lève-bras ainsi relevé maintient le bras de lecture en l'air, de sorte que la pointe n'entre pas en contact avec le disque, même si le bras de lecture est amené au-dessus de celui-ci.



- Vous pouvez aussi amener manuellement le bras de lecture au-dessus du disque sans soulever le lève-bras puis l'abaisser lentement pour lancer la lecture.

7 Amenez le bras de lecture sur la partie de disque dont vous souhaitez lancer la lecture.



8 Rabaissez le lève-bras.

Le bras de lecture descend lentement jusqu'à ce que la pointe touche le disque et la lecture commence alors.

- Fermez le couvercle anti-poussière pour la lecture. Comme cela empêche les sauts causés par les contacts involontaires et bloque la pression acoustique externe, le risque de bruit est moindre.

⚠ Ne placez rien sur le couvercle anti-poussière.

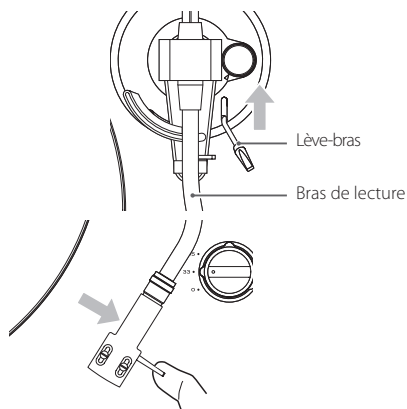
ATTENTION

- Durant la lecture, ne touchez pas le bras de lecture ni le disque. Vous risqueriez d'endommager la pointe et de provoquer des rayures sur le disque.
- Ne forcez pas le plateau à arrêter sa rotation durant la lecture. Comme ce produit n'est pas une platine tourne-disque conçue pour les DJ (à entraînement direct), cela pourrait provoquer un dysfonctionnement.

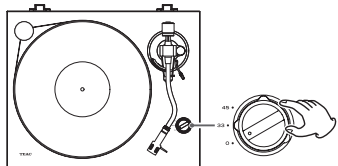
Durant la lecture du disque, une réinjection du signal (« larsen ») peut se produire si le volume est trop fort. Si cela se produit, baissez le volume de l'amplificateur.

Lorsque la lecture est terminée

- 1 **Soulevez le lève-bras pour écarter la pointe du disque et ramenez le bras de lecture à sa position d'origine.**



- 2 **Ramenez le sélecteur de vitesse de rotation sur 0 pour arrêter le tourne-disque (plateau).**



Le son d'un disque peut être enregistré numériquement dans un ordinateur en utilisant un câble USB du commerce pour relier cette unité au port USB de l'ordinateur.

- Le port USB de cette unité sert à la connexion à un ordinateur.

Systèmes d'exploitation pris en charge

Des ordinateurs fonctionnant sous les systèmes d'exploitation suivants peuvent être connectés par USB à cette unité (à date d'avril 2019).

Windows

- Windows 7 (32 bits, 64 bits)
- Windows 8 (32 bits, 64 bits)
- Windows 8.1 (32 bits, 64 bits)
- Windows 10 (32 bits, 64 bits)

Mac

- OS X Lion (10.7)
- OS X Mountain Lion (10.8)
- OS X Mavericks (10.9)
- OS X Yosemite (10.10)
- OS X El Capitan (10.11)
- macOS Sierra (10.12)
- macOS High Sierra (10.13)
- macOS Mojave (10.14)

Le fonctionnement avec d'autres systèmes n'est pas garanti.

- Cette unité fonctionnera avec le pilote standard de Windows ou Mac, donc il n'y a pas besoin d'installer un pilote spécial.

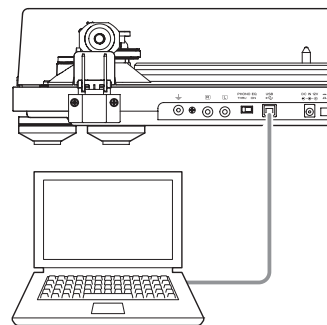
Enregistrement avec un ordinateur

Branchement à un ordinateur

- 1 **Mettez l'ordinateur sous tension.**

Vérifiez que le système d'exploitation fonctionne bien.

- 2 **Utilisez le câble USB pour relier l'ordinateur à cette unité.**



- Utilisez un câble USB du commerce passant par un noyau de ferrite.

- 3 **Appuyez sur la touche STANDBY/ON de cette unité pour l'allumer.**

L'ordinateur détecte automatiquement le port USB de cette unité et l'identifie comme « USB Audio CODEC ».

- Pour enregistrer du son avec un ordinateur depuis cette platine tourne-disque, vous devez installer un logiciel permettant l'enregistrement audio sur l'ordinateur. Vous pouvez acheter séparément le logiciel d'enregistrement audio que vous préférez ou télécharger un logiciel gratuit tel qu'Audacity (<http://www.audacityteam.org/>) sur Internet. Étant un logiciel gratuit, Audacity ne bénéficie pas de l'assistance TEAC.
- Lors de l'enregistrement avec un ordinateur, n'effectuez aucune des opérations suivantes. Cela pourrait entraîner un mauvais fonctionnement de l'ordinateur. Quittez toujours le logiciel d'enregistrement de l'ordinateur avant de faire ce qui suit.
 - Déconnecter le câble USB
 - Mettre l'unité en veille

Réglages de l'ordinateur

L'exemple suivant explique les réglages à faire quand on utilise Windows 10.

- 1 **Dans le menu Démarrer, sélectionnez Système Windows, puis Panneau de configuration.**

- 2 **Cliquez sur « Son ».**

Si « Afficher par » est réglé sur « Catégorie » dans le Panneau de configuration, sélectionnez « Matériel et audio ». Sélectionnez ensuite « Son ».

- 3 **Cliquez sur l'onglet « Enregistrement » et vérifiez que « USB Audio CODEC » est défini comme « Périphérique par défaut ».**

- 4 **Sélectionnez « USB Audio CODEC » et cliquez sur le bouton Propriétés.**

- 5 **Cliquez sur l'onglet « Avancé ».**

- 6 **Dans le menu déroulant « Format par défaut », sélectionnez le format, c'est-à-dire la qualité d'enregistrement désirée.**

CONSEIL

Pour enregistrer avec la plus haute qualité audio que cette unité peut produire, sélectionnez « Canal 2, 16 bits, 48000 Hz ». Baisser la valeur de la fréquence d'échantillonnage réduira la taille des fichiers mais en même temps diminuera la qualité audio.

- 7 **Cliquez sur « OK ».**

Après avoir effectué les réglages ci-dessus, utilisez un logiciel d'enregistrement audio pour enregistrer.

Guide de dépannage

Si vous avez un problème avec cette unité, veuillez vérifier les points suivants avant de demander une intervention. Le problème pourrait également venir d'ailleurs que de cette unité.

Vérifiez aussi que les appareils qui lui sont connectés sont correctement employés.

Si cette unité ne fonctionne toujours pas correctement, contactez le revendeur chez qui vous l'avez achetée.

Pas d'alimentation.

- ➔ Vérifiez que l'adaptateur secteur est branché à une prise secteur. Puis appuyez sur la touche STANDBY/ON pour allumer l'unité (pages 24 et 26).

La platine ne tourne pas.

- ➔ Appuyez sur la touche STANDBY/ON pour allumer l'unité (pages 24 et 26).
- ➔ Enroulez la courroie autour de la poulie du moteur (page 22).
- ➔ Réglez le sélecteur de vitesse de rotation sur la valeur qu'indique le disque (page 26).

La vitesse de rotation de la platine n'est pas correcte.

- ➔ Assurez-vous que le sélecteur de vitesse de rotation est bien réglé sur 33 et que la platine tourne environ 100 fois en 3 minutes.

Le bras ne descend pas même si on abaisse le lève-bras.

- ➔ Équilibrez le bras de lecture et réajustez la force d'appui (page 23).

Le son est bizarre ou s'interrompt.

- ➔ Vérifiez les connecteurs branchés à l'amplificateur et réglez convenablement le commutateur PHONO EQ (sortie audio) (page 24).

La hauteur du son est incorrecte.

- ➔ Sélectionnez la vitesse de rotation indiquée sur le disque (page 26).

Il n'y a pas de son.

- ➔ Pour brancher les prises de sortie audio analogique de cette unité aux prises d'entrée audio d'un amplificateur ou d'un autre équipement, réglez le sélecteur PHONO EQ (réglage de sortie audio) sur ON (page 24).

La lecture est impossible, il y a du bruit.

- ➔ Retirez le capuchon de protection de la pointe de la cellule avant d'utiliser la platine.
- ➔ Reconnectez les câbles audio RCA.

- ➔ Sur un disque, les traces de doigts et la poussière peuvent causer du bruit et faire sauter le son. Nettoyez les disques avec un nettoyant pour disque du commerce (page 26).

- ➔ Nettoyez la pointe (page 23).

- ➔ Si la pointe est usée, remplacez-la (page 23). Le besoin de remplacement d'une pointe dépend des conditions d'utilisation, mais nous recommandons ce remplacement après environ 300 heures d'utilisation.

- ➔ Éloignez autant que possible l'unité des téléviseurs, fours à micro-ondes et autres appareils qui émettent des ondes électromagnétiques.

- ➔ Branchez l'adaptateur secteur à une autre prise de courant.

Du bruit se produit lors de la lecture d'un disque.

- ➔ Du bruit peut se produire si la force d'appui est supérieure à la valeur spécifiée pour la cellule. Réajustez la force d'appui conformément à la valeur spécifiée (page 23).

Le son saute.

- ➔ Les vibrations entraînent des sauts. Placez cette unité dans un endroit stable.
- ➔ Nettoyez le disque.
- ➔ N'employez pas de disques rayés.
- ➔ Équilibrez le bras de lecture et réajustez la force d'appui (page 23). La pointe et le son peuvent sauter si la force d'appui est inférieure à la valeur spécifiée pour la cellule.
- ➔ Si la pointe est tordue, remplacez-la.

L'unité n'est pas reconnue par l'ordinateur connecté.

- ➔ Vérifiez les systèmes d'exploitation informatiques pris en charge en page 27. Le fonctionnement avec des systèmes d'exploitation non pris en charge n'est pas garanti.
- ➔ Connectez-la à un autre port USB.

Caractéristiques techniques

Tourne-disque (plateau)

Système d'entraînement Par courroie
Moteur Moteur CC
Vitesse de rotation 33 1/3 tr/min, 45 tr/min
Pleurage et scintillement 0,1 % ou moins
Rapport S/B 67 dB ou plus (pondération A, filtre passe-bas 20 kHz)
Plateau Aluminium moulé Diamètre de 30 cm

Bras de lecture

Type de bras Bras de lecture en S à équilibrage statique
Longueur utile du bras 223 mm
Plage de variation de force d'appui 0–5 g
Poids de cellule acceptable 3,0–12 g 14–23 g (avec le porte-cellule fourni)

Cellule

Type VM (équivalente à une cellule MM)
Tension de sortie 4,0 mV (1 kHz, 5 cm/s)
Force d'appui 1,8–2,2 g (recommandée : 2,0 g)
Poids de la cellule 6,1 g
Poids avec porte-cellule 11 g (vis, écrous et fils compris)
● Le besoin de remplacement d'une pointe dépend des conditions d'utilisation, mais nous recommandons ce remplacement après environ 300 heures d'utilisation.	
● Une cellule Audio-Technica AT-VM95E de type VM est installée dans cette unité. (Le capuchon de la pointe de rechange pour la cellule installée est vert.) Note : les cellules de type VM ont les mêmes caractéristiques que les cellules de type MM.	
● Modèle de pointe de remplacement : Audio-Technica AT-VMN95E	

Tension de sortie

PHONO EQ sur THRU 4,0 mV (1 kHz, 5 cm/s)
PHONO EQ sur ON 224 mV (–13 dBV)
Prises de sortie RCA

Port USB

Port USB pouvant recevoir une alimentation par le bus USB de l'ordinateur (pleine vitesse) Connecteur USB type B
Prise en charge de l'alimentation par bus USB 5 V, 500 mA
Fréquence d'échantillonnage 8 kHz, 11,025 kHz, 16 kHz, 22,05 kHz, 32 kHz, 44,1 kHz, 48 kHz
Résolution de quantification 16 bits

Générales

Adaptateur secteur	
Entrée CA 100 V – CA 240 V, 50/60 Hz
Sortie CC 12 V, 500 mA
Consommation électrique	
En veille 0,5 W ou moins
En service (33, 45) 2,0 W ou moins
Poids 5,0 kg
Température de fonctionnement 5 °C à 35 °C
Dimensions (L × H × P) (saillies incluses)	
Couvercle anti-poussière fermé 420 × 117 × 356 mm
Couvercle anti-poussière ouvert 420 × 381 × 402 mm
Sans couvercle anti-poussière 420 × 102 × 356 mm

- Les données de performance sont spécifiées à 20 °C.

Éléments fournis

Tapis en feutre	× 1
Adaptateur 45 tr/min	× 1
Contrepoids	× 1
Porte-cellule	× 1
Cellule stéréo Audio-Technica préinstallée de type VM (double aimant) (AT-VM95E)	
Tourne-disque (plateau)	× 1
Couvercle anti-poussière	× 1
Charnières du couvercle anti-poussière	× 2
Câble audio RCA avec borne de masse	× 1
Adaptateur secteur (GPE053A-V120050)	× 1
Mode d'emploi (ce document, y compris la garantie)	× 1
● La garantie pour les États-Unis et le Canada se trouve au dos de la couverture. Voir page 70 les dispositions de la garantie. Voir page 71 les informations concernant la garantie en Europe et dans d'autres pays ou régions.	

- Caractéristiques techniques et aspect sont sujets à changements sans préavis.
- Le poids et les dimensions sont des valeurs approchées.
- Les illustrations de ce mode d'emploi peuvent légèrement différer des modèles de production.

INSTRUCCIONES IMPORTANTES DE SEGURIDAD

CAUTION

**RISK OF ELECTRIC SHOCK
DO NOT OPEN**

PRECAUCIÓN: PARA REDUCIR EL RIESGO DE DESCARGA ELÉCTRICA, NO quite la cubierta (ni el panel posterior). NO HAY PIEZAS INTERNAS QUE EL USUARIO PUEDA REPARAR. PARA REPARACIONES, REMÍTASE A UN SERVICIO TÉCNICO CUALIFICADO.

El símbolo del rayo acabado en flecha dentro de un triángulo equilátero alerta al usuario de la presencia de un "voltaje peligroso" sin aislar dentro de la carcasa del producto que puede ser de magnitud suficiente como para constituir riesgo de descarga eléctrica para las personas.



El signo de exclamación dentro de un triángulo equilátero alerta al usuario de la presencia de importantes instrucciones de funcionamiento y mantenimiento en la literatura que acompaña al aparato.



AVISO: PARA EVITAR RIESGO DE INCENDIO O DESCARGAS ELÉCTRICAS, NO EXPONGA ESTE APARATO A LA LLUVIA NI A LA HUMEDAD.

PRECAUCIÓN

- NO quite las carcasas externas ni deje al aire la electrónica. ¡EN EL INTERIOR NO HAY PIEZAS QUE EL USUARIO PUEDA MANIPULAR!
- SI EXPERIMENTA PROBLEMAS CON ESTE PRODUCTO, PÓNGASE EN CONTACTO CON EL ESTABLECIMIENTO DONDE ADQUIRIÓ LA UNIDAD PARA SOLICITAR SERVICIO TÉCNICO. NO UTILICE EL APARATO HASTA QUE HAYA SIDO REPARADO.
- EL USO DE CONTROLES, AJUSTES O PROCEDIMIENTOS QUE NO SEAN LOS ESPECIFICADOS EN ESTE MANUAL PUEDE CAUSAR EXPOSICIÓN A RADIACIONES PELIGROSAS.

- 1) Lea estas instrucciones.
- 2) Conserve estas instrucciones.
- 3) Cumpla con lo indicado en los avisos.
- 4) Siga todas las instrucciones.
- 5) No utilice este aparato cerca del agua.
- 6) Límpielo solo con un trapo seco.
- 7) No bloquee ninguna de las ranuras de ventilación. Instale este aparato de acuerdo con las instrucciones del fabricante.
- 8) No instale este aparato cerca de fuentes de calor como radiadores, calentadores, hornos u otros aparatos (incluyendo amplificadores) que produzcan calor.
- 9) No elimine el sistema de seguridad que supone el enchufe polarizado o con toma de tierra. Un enchufe polarizado tiene dos bornes, uno más ancho que el otro. Uno con toma de tierra tiene dos bornes iguales y una tercera lámina para la conexión a tierra. El borne ancho o la lámina se incluyen para su seguridad. Si el enchufe que venga con la unidad no encaja en su salida de corriente, haga que un electricista cambie su salida anticuada.

- 10) Evite que el cable de corriente quede de forma que pueda ser pisado o quedar retorcido o aplastado, especialmente en los enchufes, receptáculos o en el punto en el que salen del aparato.
- 11) Use solo accesorios / complementos especificados por el fabricante.
- 12) Utilice este aparato solo con un soporte, trípode o bastidor especificado por el fabricante o que se venda con el propio aparato. Cuando utilice un bastidor con ruedas, tenga cuidado al mover la combinación de aparato/bastidor para evitar que vuelque y puedan producirse daños.
- 13) Desconecte este aparato de la corriente durante las tormentas eléctricas o cuando no lo vaya a usar durante un período de tiempo largo.
- 14) Dirija cualquier posible reparación solo al servicio técnico oficial. Este aparato deberá ser reparado si se ha dañado de alguna forma, como por ejemplo si el cable de corriente o el enchufe están rotos, si ha sido derramado algún líquido sobre la unidad o algún objeto ha sido introducido en ella, si ha quedado expuesto a la lluvia o la humedad, si no funciona normalmente o si ha caído al suelo en algún momento.



- Este aparato libera corriente nominal no válida para el funcionamiento a través de la toma de corriente, aún cuando el interruptor de encendido y activación (POWER o STANDBY/ON) no esté en la posición de encendido (ON).
- El enchufe que se conecta a la red es el dispositivo de desconexión, por lo que deberá permanecer siempre en perfecto estado de uso.
- Deberá llevar cuidado si utiliza auriculares con este producto, ya que una excesiva presión sonora (volumen) procedente de los mismos puede causar pérdidas de audición.

EN EE. UU./CANADÁ, UTILICE SOLO ALIMENTACIÓN CON CORRIENTE DE 120 V.

PRECAUCIÓN

- No exponga este aparato a salpicaduras ni goteras.
- No coloque objetos que contengan líquidos, como por ejemplo jarrones, sobre el aparato.
- No instale este aparato en lugares cerrados tales como estanterías o similares.
- Este aparato debe situarse lo suficientemente cerca de una toma de electricidad como para poder alcanzar fácilmente el cable de corriente en cualquier momento.

Modelo para Europa

CE Este producto cumple con las exigencias de las directivas europeas y con los reglamentos de la Comisión Europea.

Para consumidores europeos

Desahacerse de aparatos eléctricos, electrónicos, pilas/baterías y acumuladores

- a) Todos los aparatos eléctricos y electrónicos, y pilas/baterías y acumuladores gastados, deben ser eliminados separados del resto de basura común y únicamente en los "puntos limpios" o bajo los procedimientos especificados por el gobierno o autoridades municipales locales.
- b) Con la eliminación correcta de los equipos eléctricos y electrónicos, y de pilas/baterías y acumuladores gastados, estará ayudando a conservar recursos muy valiosos y a evitar los posibles efectos negativos en la salud humana y en el medio ambiente.
- c) La eliminación incorrecta de los equipos eléctricos y electrónicos, y pilas/baterías y acumuladores, puede producir efectos muy dañinos en el medio ambiente y en la salud humana a causa de las sustancias peligrosas que pueden encontrarse en estos equipos.
- d) El símbolo de Eliminación de Aparatos Eléctricos y Electrónicos

(WEEE en inglés), identificado por cubos de basura con ruedas tachados, indican que los equipos eléctricos y electrónicos, y las pilas/baterías y acumuladores, deben ser eliminados de forma totalmente independiente con respecto a la basura doméstica.



Si una pila/batería o un acumulador contienen más cantidad de los valores especificados de plomo (Pb), mercurio (Hg), y/o cadmio (Cd) según está definido en la Directiva relativa a las pilas (2006/66/CE, 2013/56/UE), entonces los símbolos químicos correspondientes a estos elementos estarán indicados debajo del símbolo WEEE.



- e) Existen sistemas para la eliminación y recogida a disposición del usuario final. Si necesita más información sobre cómo deshacerse de aparatos eléctricos y electrónicos antiguos, así como de pilas/baterías y acumuladores, póngase en contacto con su ayuntamiento, con la correspondiente empresa del servicio de recogida de residuos o con el establecimiento donde adquirió ese aparato.

Modelo para EE. UU.

Declaración de conformidad del suministrador



Número de modelo: TN-3B

Marca comercial: TEAC

Parte responsable: Pioneer & Onkyo U.S.A. Corporation

Dirección: 22828 Lockness Avenue, Torrance, CA 90501 U.S.A.

Número de teléfono: 1-201-785-2600

Este dispositivo cumple con el apartado 15 de las Normas de la FCC. Su funcionamiento está sujeto a las dos siguientes condiciones: (1) este dispositivo no puede causar interferencias perjudiciales y (2) este dispositivo debe aceptar cualquier interferencia recibida, incluidas interferencias que puedan causar anomalías de funcionamiento.

Información

Se ha comprobado que este equipo cumple con los límites establecidos para los dispositivos digitales de Clase B, de acuerdo con el apartado 15 de las Normas de la FCC. Estos límites están diseñados para proporcionar una protección razonable contra interferencias perjudiciales en instalaciones residenciales. Este equipo genera, utiliza y puede irradiar energía de radiofrecuencia y, si no se instala y se utiliza de acuerdo con las instrucciones, puede causar interferencias perjudiciales en las comunicaciones por radio. Sin embargo, no se puede garantizar que dichas interferencias no se produzcan en instalaciones particulares. Si este equipo causa interferencias perjudiciales en la recepción de radio o televisión, que se comprueban apagando y encendiendo el equipo, se recomienda al usuario que intente corregirla mediante una o varias de las siguientes medidas:

- Reoriente o recolocque el equipo y/o la antena receptora.
- Aumente la separación entre el equipo y el receptor.
- Conecte el equipo a una toma de electricidad situada en un circuito eléctrico diferente al del receptor.
- Consulte al distribuidor o solicite ayuda a un técnico de radio/TV con experiencia.

PRECAUCIÓN

Cualquier cambio o modificación efectuada en este equipo que no haya sido expresamente aprobada por la parte responsable del cumplimiento de los requisitos exigidos podría invalidar el derecho del usuario a utilizar el equipo.

Índice

Gracias por elegir TEAC.
Lea este manual atentamente para obtener el mejor rendimiento de esta unidad.
Después de leerlo, guárdelo en un lugar seguro para futuras consultas.

INSTRUCCIONES IMPORTANTES DE SEGURIDAD.....	29
Antes de su utilización	30
Preparación del reproductor de discos.....	30
Notas sobre las agujas para discos.....	31
Conexiones	32
Nombres y funciones de las partes	32
Tapa	33
Cambio de la cápsula	33
Manejo de los discos	34
Funcionamiento básico	34
Grabación con un ordenador.....	35
Solución de posibles fallos	36
Especificaciones.....	36

Antes de su utilización

Artículos incluidos

Asegúrese de que la caja incluye todos los accesorios suministrados que se enumeran a continuación. Por favor, póngase en contacto con el establecimiento donde adquirió esta unidad si falta cualquiera de estos accesorios o si han sufrido desperfectos durante el transporte.

Alfombrilla de fieltro × 1

Adaptador de 45 RPM × 1

Contrapeso × 1

Cabezal × 1

Cápsula estéreo Audio-Technica VM Type (doble imán) (AT-VM95E) preinstalada

Plato giradiscos × 1

Tapa × 1

Bisagras de la tapa × 2

Cable de audio RCA con terminal de tierra × 1

Adaptador de corriente (GPE053A-V120050) × 1

Manual del usuario

(este documento, incluyendo la garantía) × 1

- La garantía para EE. UU. y Canadá está en la contraportada. Consulte la página 70 para conocer las disposiciones de la garantía. Consulte la página 71 si desea más información sobre la garantía en Europa u otras áreas geográficas.

Precauciones de uso

- No coloque nada sobre la tapa del plato giradiscos. Los objetos situados sobre la tapa podrían causar ruido debido a las vibraciones o caerse, especialmente durante la reproducción.
- Evite situar la unidad directamente a la luz del sol, cerca de una fuente de calor o en condiciones similares. No coloque la unidad encima de un amplificador u otros equipos que puedan generar calor que exceda el margen de la temperatura de funcionamiento de esta unidad. Si lo hace, podría causar que la unidad se decolore, se deforme o que funcione incorrectamente.
- Dado que la unidad podría calentarse durante el funcionamiento, deje siempre espacio suficiente a su alrededor para una correcta ventilación. Cuando instale la unidad, deje un poco de espacio (al menos 20 cm) entre la unidad y otros dispositivos y paredes para permitir una buena disipación del calor. Cuando la coloque en un rack, por ejemplo, deje al menos 35 cm libres por encima de la unidad y 10 cm libres por detrás. Si no deja estos espacios libres, el calor puede acumularse en su interior y provocar fuego.

- NO MUEVA LA UNIDAD DURANTE LA REPRODUCCIÓN. Durante la reproducción, un disco de vinilo gira. No levante ni mueva la unidad durante la reproducción. Si lo hace, podría dañar el disco, la aguja, la cápsula o la unidad.
- Quite siempre el disco antes de mover esta unidad o cambiarla de sitio. Si mueve la unidad con un disco en el plato giradiscos podría dañar el disco, la aguja y la cápsula o podría causar un mal funcionamiento.
- El voltaje suministrado a la unidad debe coincidir con el voltaje impreso en el panel posterior. Si tiene dudas al respecto, consulte a un electricista.

Mantenimiento

Si la superficie de la unidad se ensucia, límpiela con un paño suave o utilice un jabón líquido suave diluido. Deje que la superficie de la unidad se seque por completo antes de usarla.

- No utilice paños de limpieza impregnados con productos químicos, disolvente o sustancias similares ya que podría dañar la superficie de la unidad.

⚠ PRECAUCIÓN

Por seguridad, desconecte el cable de corriente de la toma de electricidad antes de proceder a la limpieza.

Web global de TEAC

Las actualizaciones correspondientes a esta unidad se pueden descargar desde el sitio web global de TEAC:

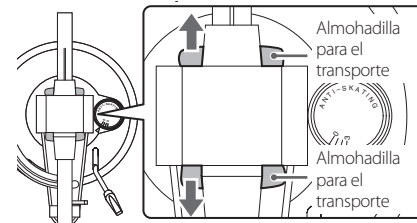
<http://teac-global.com/>

En la sección de descargas (downloads) de TEAC, haga clic en el idioma que desee para abrir la página web de descargas correspondiente a ese idioma.

Preparación del reproductor de discos

Mantenga el reproductor en modo de reposo (standby) mientras lo configura (F en la página 32).

- 1 Durante el transporte se utilizan unas almohadillas sujetas al brazo. Retírelas en las direcciones que marcan las flechas.**



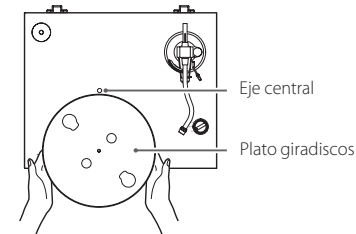
- 2 Coloque la unidad sobre una superficie plana.**

Colóquelo sobre una superficie plana para que se puedan seguir los surcos de los discos con precisión.

- 3 Instale el plato giradiscos.**

Alinee el plato giradiscos con el eje central e instálelo.

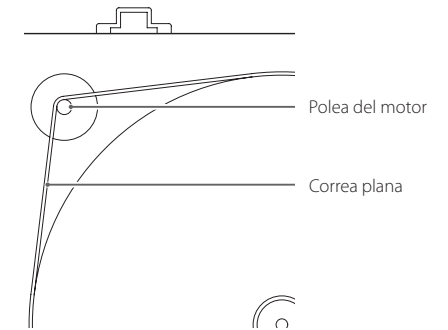
- Coloque el lado grande del orificio abajo.



- 4 Fije la correa alrededor de la polea del motor.**

Coloque la correa plana incluida alrededor del exterior del plato giradiscos, y a continuación pásela alrededor de la polea del motor.

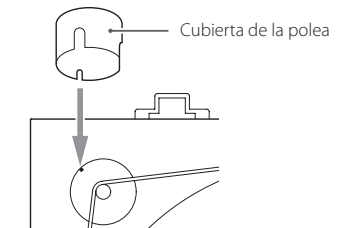
- Lleve cuidado de que la goma no se retuerza.
- Gire el plato giradiscos varias veces para confirmar que la correa plana se ha puesto bien.



- 5 Instale la cubierta de la polea.**

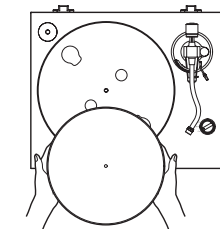
Alinee la pequeña muesca situada en la cubierta de la polea con la pequeña protuberancia que hay en la polea, como se muestra en la ilustración más abajo.

- Si no se alinean, la cubierta de la polea se inclinará.



- 6 Coloque la alfombrilla de fieltro en el plato giradiscos.**

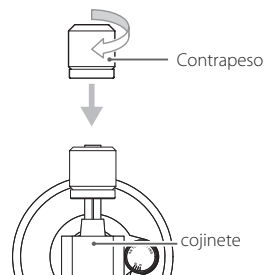
Coloque sobre el plato giradiscos la alfombrilla de fieltro que viene incluida con él antes de utilizarlo.



7 Instale el contrapeso.

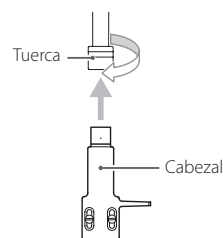
Coloque el contrapeso sobre el extremo del brazo y presiónelo suavemente mientras lo gira hacia la derecha para fijarlo.

- Cuando el contrapeso se puede mover hacia el cojinete, la instalación está completa.

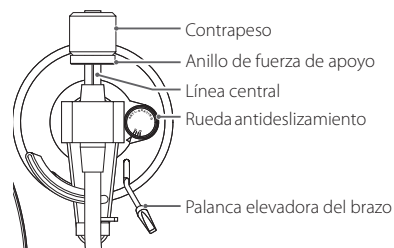


8 Instale el cabezal.

Introduzca el cabezal en el extremo del brazo y gire la tuerca para asegurarlo en su sitio.

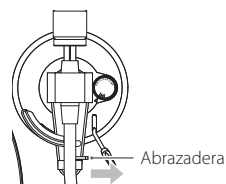


Cómo equilibrar el brazo y ajustar la fuerza de apoyo



1 Ponga la rueda antideslizamiento en cero.

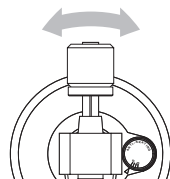
2 Desplace la abrazadera que sujeta el brazo hacia la derecha para liberar el brazo.



3 Levante la palanca elevadora del brazo y desplace el brazo ligeramente hacia la izquierda.

4 Baje la palanca elevadora del brazo.

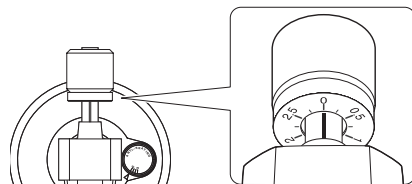
5 Gire el contrapeso y ajústelo de manera que el brazo quede nivelado.



- Quite la cubierta protectora de la aguja de la cápsula antes de hacer los ajustes.
- Lleve cuidado para que la aguja de la cápsula no toque la unidad.

6 Vuelva a poner el brazo en su posición original y utilice la abrazadera de sujeción para fijarlo en su sitio.

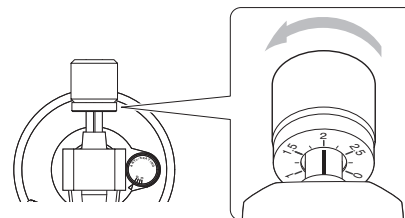
7 Gire el anillo de ajuste de la fuerza de apoyo de modo que la línea central quede alineada con el 0 de la escala.



- Gire solo el anillo. Lleve cuidado de no girar el contrapeso.

8 Gire el contrapeso de forma que la escala del anillo de ajuste de la fuerza de apoyo coincida con la fuerza especificada para la cápsula.

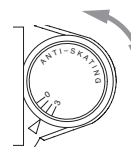
- La fuerza de apoyo de la cápsula que viene incluida es de 2,0 g. Por tanto, gire la escala del contrapeso hasta 2,0 cuando utilice la cápsula incluida.



- Gírela hacia la derecha partiendo de 0 en la dirección de 0.5 y 1.0.

9 Ajuste la rueda antideslizamiento.

Comience con ella puesta en 2,0 y ajústela durante la reproducción de un disco (página 34) situándola en la posición donde los volúmenes de los canales izquierdo y derecho estén equilibrados.



ATENCIÓN

Dependiendo del estado cada disco, el balance de volumen izquierda-derecha podría resultar desigual o producirse saltos.

En tales casos, intente hacer los ajustes indicados a continuación.

Si el sonido salta hacia atrás (la aguja salta hacia atrás)

Ajuste la rueda antideslizamiento en un valor ligeramente más bajo.

Si el sonido salta hacia delante (la aguja salta hacia delante)

Ajuste la rueda antideslizamiento en un valor ligeramente más alto.

Notas sobre las agujas para discos

- Si una aguja se dobla (se daña), no podrá seguir los surcos del disco con precisión. Puesto que una aguja doblada puede también dañar los discos o provocar averías, maneje las agujas con mucho cuidado.
- Utilice siempre un limpiador de agujas de los que se pueden adquirir en establecimientos comerciales. El uso de cualquier otra cosa que no sea un limpiador de agujas puede dañar la aguja.

Sustitución de la aguja

Si la punta de la aguja se desgasta, no solo empeorará la calidad de sonido, también pueden estropearse los discos. Después de aproximadamente 300 horas de reproducción, cambie la aguja por otra según nuestras especificaciones.

Utilice una Audio-Technica AT-VMN95E.

- En esta unidad viene instalada una cápsula Audio-Technica AT-VM95E VM Type. (El cuerpo de la aguja de repuesto para la cápsula instalada es verde).

NOTA

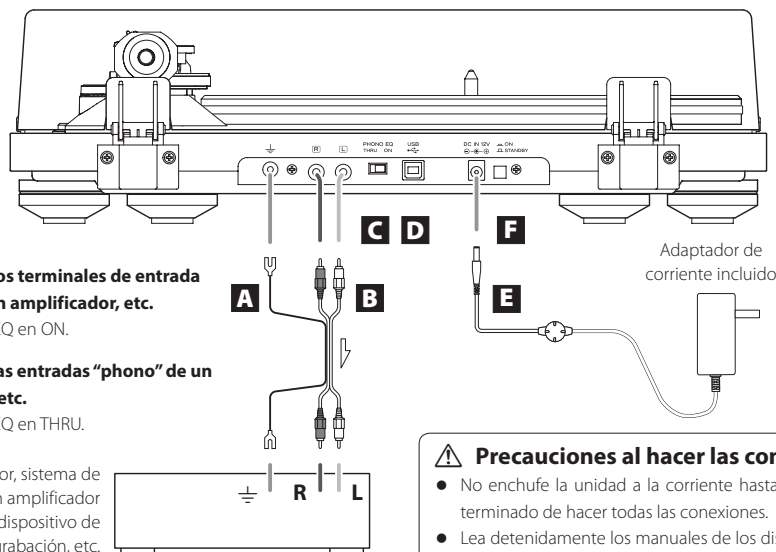
Las cápsulas de tipo VM tienen las mismas características que las cápsulas de tipo MM.

- Siga las instrucciones de sustitución de la aguja que vienen en el manual de la aguja de repuesto.

ATENCIÓN

- Puesto que se pueden producir ruidos repentinos a alto volumen, ponga la unidad en reposo (standby) antes de cambiar la aguja.
- Lleve cuidado de no lastimarse la mano o dañar el equipo.
- Lleve cuidado de no permitir que los niños pequeños puedan tragar las agujas accidentalmente.
- Tenga en cuenta que las agujas dobladas, por ejemplo, algo que se produce porque el usuario no ha tenido el suficiente cuidado o por otra causa ajena al fabricante, no están cubiertas por la garantía.

Conexiones



Se conecta a los terminales de entrada de audio de un amplificador, etc.

Ajuste PHONO EQ en ON.

Se conecta a las entradas "phono" de un amplificador, etc.

Ajuste PHONO EQ en THRU.

Amplificador, sistema de altavoces con amplificador incorporado, dispositivo de grabación, etc.

⚠ Precauciones al hacer las conexiones

- No enchufe la unidad a la corriente hasta que no haya terminado de hacer todas las conexiones.
- Lea detenidamente los manuales de los dispositivos que está conectando y siga sus instrucciones para hacer las conexiones.

A Terminal de tierra (⊥)

Utilice el conductor de tierra del cable de audio RCA incluido para conectar este terminal al terminal de tierra de un amplificador, por ejemplo.

- Esta NO es una toma de tierra de seguridad eléctrica.

Si el ruido de los altavoces es notorio

Si al conectar el conductor de tierra del cable de audio al terminal de tierra de esta unidad no se reduce el ruido, desconecte el conductor de tierra y pruebe el sonido de nuevo. Utilice el método (conectado/desconectado) que menos ruido tenga.

B Terminales de salida de audio analógico (L/R) (izquierda/derecha)

Por ellos salen las señales de audio analógico.

El ajuste del interruptor PHONO EQ cambia el tipo de señal de salida.

Use el cable de audio incluido (u otro comprado en un establecimiento comercial) para conectar otros equipos a los terminales de salida de esta unidad.

C Interruptor PHONO EQ (ajuste de salida de audio)

ON

Por los terminales de salida de audio analógico (L/R) (izda./dcha.) salen las señales que se han amplificado mediante el amplificador-ecualizador integrado.

THRU

Por los terminales de salida de audio analógico (L/R) (izquierda/derecha) sale directamente la señal de la cápsula MC o MM.

Utilice esta opción cuando conecte esta unidad a un equipo que tenga entradas "phono", como por ejemplo un preamplificador de ecualización para platos giradiscos o un amplificador con terminales de entrada "phono".

- Cuando la unidad sale de fábrica, su ajuste predeterminado es ON.
- Seleccione ON si se conecta un dispositivo al puerto USB.

PRECAUCIÓN

Si se selecciona ON y la unidad se conecta a las entradas "phono" de un amplificador, por ejemplo, la salida de sonido por altavoces y auriculares será a gran volumen, y se puede dañar el equipo o producir daños auditivos.

D Puerto USB (USB tipo B)

El sonido del disco se convierte a audio digital (con una resolución de hasta 48 kHz/16 bits) y sale de este modo. Si se conecta este puerto al puerto USB de un ordenador mediante un cable USB, es posible la grabación en dicho ordenador (página 35).

E Entrada de corriente DC IN 12V

Una vez terminadas todas las demás conexiones, conecte el adaptador de corriente incluido a esta entrada de corriente.

Confirme que el enchufe del adaptador de corriente está enchufado a una toma de electricidad.

- No utilice ningún otro adaptador de corriente que no sea el incluido.

⚠ **Asegúrese de conectar el cable de corriente a una toma de electricidad que suministre el voltaje correcto. La conexión a una toma con el voltaje incorrecto puede originar fuego o una descarga eléctrica.**

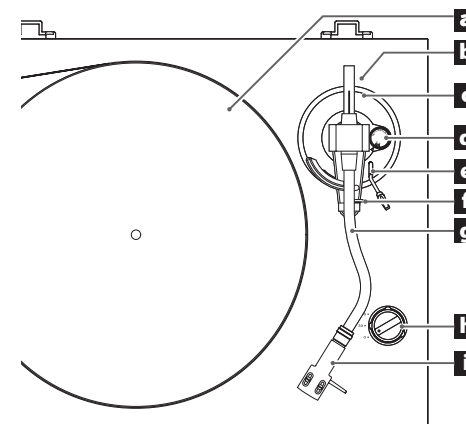
⚠ **Sujételo por el enchufe al enchufarlo o desenchufarlo de una toma de electricidad. No tire nunca del cable.**

⚠ **Desenchufe el cable de corriente de la toma de electricidad cuando no piense utilizar la unidad durante un largo periodo de tiempo.**

F Botón STANDBY/ON

Pulse el botón STANDBY/ON para encender (ON) o poner en reposo (STANDBY) la unidad.

Nombres y funciones de las partes



a Plato giradiscos

Coloque los discos centrados en el plato.

b Contrapeso

c Anillo de ajuste de la fuerza de apoyo

d Rueda antideslizamiento

e Palanca elevadora del brazo

Se utiliza para subir y bajar el brazo.

Le recomendamos utilizar esta palanca elevadora del brazo para evitar que los discos y las agujas se dañen, ya que es más seguro y más preciso que hacerlo con un dedo.

f Sujeción del brazo

Esta pieza es donde descansa el brazo. Antes de empezar a reproducir un disco, desplace la abrazadera hacia la derecha para liberar el brazo.

g Brazo

h Mando de ajuste de la velocidad de giro

Seleccione aquí la velocidad de giro indicada en el disco que se va a reproducir.

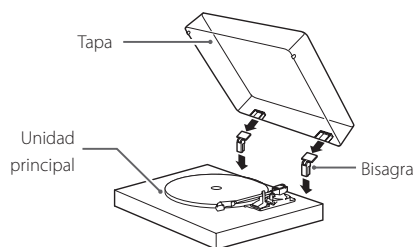
No habrá rotación si se pone a 0.

i Cabezal

Es de un tipo universal que permite cambiar la cápsula fácilmente.

Tapa

Montaje de la tapa



1 Inserte las bisagras por completo en las sujeciones situadas en los extremos izquierdo y derecho de la parte posterior de la unidad principal.

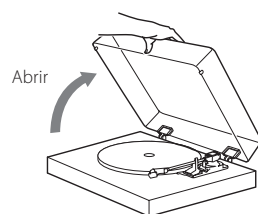
2 Alinee las partes de arriba de las bisagras con las sujeciones que para ellas hay en la tapa e insértelas.

- Cierre la tapa durante la reproducción. De este modo se evitan saltos causados por contactos involuntarios y se bloquea la presión sonora externa, con lo cual es mucho menos probable que se produzca ruido.
- No la abra ni la cierre cuando se esté reproduciendo un disco, ya que podría saltar la aguja, por ejemplo.
- Manténgala cerrada siempre que sea posible para que no entre polvo.

Cómo quitar la tapa

Sujete ambos bordes de la tapa y levántela lentamente para separarla de la unidad junto con las bisagras. A continuación, quite las bisagras de la tapa.

Apertura y cierre de la tapa



Apertura

Sujete el borde frontal de la tapa y levántela suavemente para abrirla hasta que se detenga.

La tapa se quedará abierta en esta posición.

Cierre

Baje suavemente la tapa hasta que se cierre.

⚠ Lleve cuidado de no pillarse los dedos, por ejemplo, al abrir y cerrar la tapa.

Cambio de la cápsula

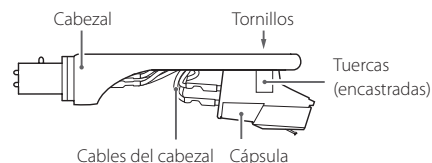
Para cambiar la cápsula, primero quite el cabezal separándolo del brazo.

- La cápsula instalada en esta unidad es una Audio-Technica AT-VM95E VM Type.

NOTA

Las cápsulas de tipo VM tienen las mismas características que las cápsulas de tipo MM.

- Le recomendamos que mantenga puesta la cubierta protectora de la aguja mientras cambia la cápsula.

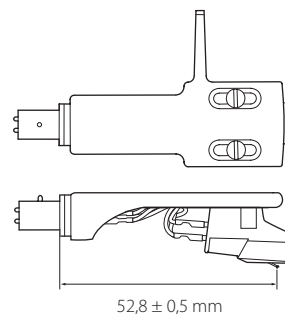


1 Desconecte de la cápsula los terminales cableados del cabezal.

2 Afloje los tornillos y quite la cápsula.

3 Acople la nueva cápsula y apriete los tornillos.

En la ilustración que viene a continuación puede ver la posición de los tornillos una vez acoplada la cápsula.



4 Conecte a la cápsula los terminales cableados del cabezal.

- Las señales y los colores de los cables del cabezal se muestran a continuación:

Señal	Color
Canal izquierdo +	Blanco
Canal izquierdo -	Azul
Canal derecho +	Rojo
Canal derecho -	Verde

5 Equilibre el brazo y ajuste la fuerza de apoyo.

Siga el procedimiento del apartado "Cómo equilibrar el brazo y ajustar la fuerza de apoyo" en la página 31.

Precauciones al cambiar la cápsula

El peso de las cápsulas que se pueden utilizar con esta unidad es limitado. Consulte "Brazo" en la página 36. Así mismo, cuando cambie el cabezal, compruebe el peso aceptable de la cápsula (con el cabezal incluido) que se muestra en dicha página.

Uso de cápsulas MC

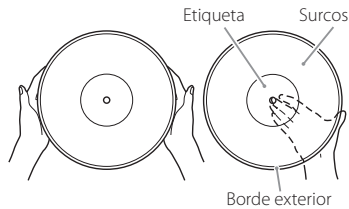
El amplificador-equalizador integrado en esta unidad es para cápsulas MM. No es compatible con cápsulas MC.

Para utilizar una cápsula MC, conecte esta unidad a un amplificador-equalizador para platos giradiscos que sea compatible con cápsulas MC o a un amplificador con conector de entrada para platos con cápsula MC (phono MC), por ejemplo. Después, ajuste el interruptor PHONO EQ (salida de audio) de esta unidad en TRHU.

Manejo de los discos

Cómo sujetar los discos

Cuando coja un disco o lo saque de su funda, evite tocar los surcos sujetando el disco por su etiqueta central y por el borde con una mano o sujetándolo por los bordes con ambas manos.



Limpieza

- Las huellas de dedos y el polvo en un disco pueden causar ruido y hacer que el sonido salte, así como producir daños al propio disco y a la aguja. Utilice un limpiador de discos de los que se pueden adquirir en establecimientos comerciales para limpiar los discos. No utilice disolvente ni nada que no sea un limpiador específico para discos. Dichos productos químicos podrían dañar la superficie del disco.
- Cuando utilice un limpiador de discos, limpie la superficie del disco con un movimiento circular, siguiendo los surcos.



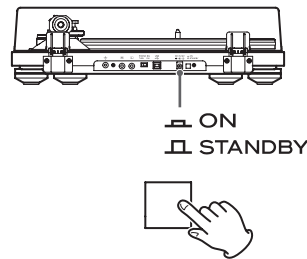
Precauciones de uso

- No deje los discos en sitios donde estén expuestos directamente a la luz del sol o que sean muy calurosos o húmedos. Si deja un disco bajo tales condiciones durante mucho tiempo, podría deformarse, salirle moho o sufrir otros daños.
- No apile múltiples discos ni sitúe objetos pesados sobre ellos. Tampoco deje los discos inclinados en ángulo durante excesivo tiempo. Si lo hace, podrían deformarse o sufrir otros daños.
- No permita que objetos duros toquen directamente los surcos de audio. Si esto ocurre, los discos se pueden rayar.
- Después de que haya terminado de reproducir un disco, vuelva siempre a guardarlo en su funda. Dejar un disco sin protección puede causar que se deforme o se raye.
- No utilice discos que estén rotos.

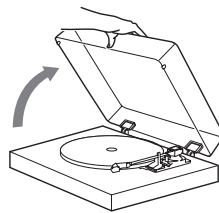
Reproducción de discos

- Quite la cubierta protectora de la aguja de la cápsula antes de utilizar el plato.

1 Pulse el botón **STANDBY/ON** situado en la parte posterior de la unidad para encenderla.



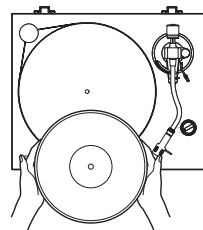
2 Abra la tapa lentamente.



⚠ Lleve cuidado de no pillarse la mano, por ejemplo, al cerrar la tapa.

3 Coloque un disco en el plato giradiscos.

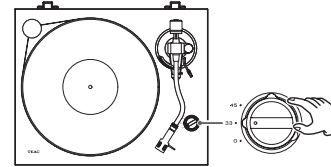
Cuando reproduzca un disco sencillo ("single") de 45 RPM con agujero central grande, utilice el adaptador incluido.



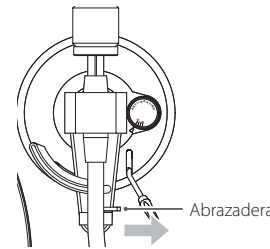
Funcionamiento básico

4 Seleccione la velocidad de rotación indicada en el disco.

La velocidad de rotación puede fijarse en 33 1/3 o 45 RPM.

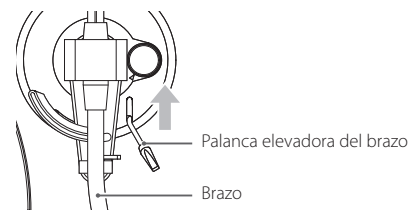


5 Desplace la abrazadera que sujeta el brazo hacia la derecha para liberar el brazo.



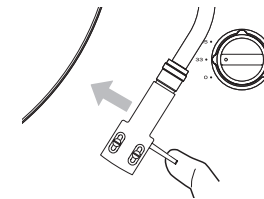
6 Levante la palanca elevadora del brazo.

Esto sube la palanca elevadora del brazo y mantiene el brazo elevado, por lo que la aguja no entrará en contacto con el disco aunque el brazo se desplace por encima de él.



- También puede desplazar el brazo manualmente sobre el disco sin levantar la palanca elevadora del brazo y bajarlo lentamente para comenzar la reproducción.

7 Desplace el brazo hacia la canción donde desee comenzar la reproducción.



8 Baje la palanca elevadora del brazo.

El brazo bajará lentamente hasta que la aguja toque el disco y comenzará la reproducción.

- Cierre la tapa durante la reproducción. De este modo se evitan saltos causados por contactos involuntarios y se bloquea la presión sonora externa, con lo cual es mucho menos probable que se produzca ruido.

⚠ No coloque nada sobre la tapa.

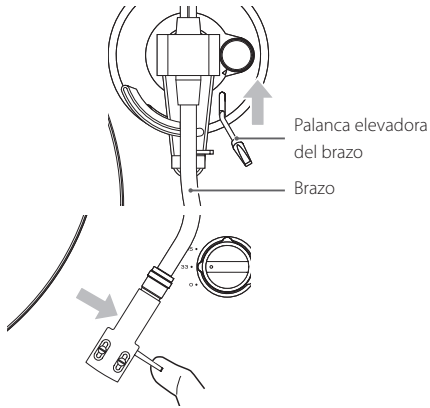
ATENCIÓN

- Durante la reproducción no toque ni el brazo ni el disco. Si lo hace, puede dañar la punta de la aguja o rayar el disco.
- No detenga el giro del plato a la fuerza durante la reproducción. Puesto que este no es un plato giradiscos de tipo "direct drive" (tracción directa) diseñado para "DJs", cualquier maniobra de este tipo puede causar una avería.

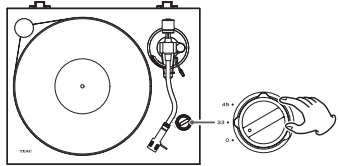
Durante la reproducción de los discos puede producirse realimentación (pitidos conocidos también como "acoples") si el volumen es demasiado alto. Si esto ocurre, baje el volumen del amplificador.

Cuando termine la reproducción

- 1 Levante ligeramente el elevador del brazo para separar la aguja del disco y vuelva a poner el brazo en su posición original.



- 2 Gire el mando de ajuste de la velocidad de giro a la posición 0 para detener el plato giradiscos.



El sonido de un disco de vinilo puede grabarse digitalmente en un ordenador conectando esta unidad a uno de los puertos USB de dicho ordenador mediante un cable USB de los que se pueden adquirir en establecimientos comerciales.

- El puerto USB de esta unidad es para la conexión a un ordenador.

Sistemas operativos compatibles

Se pueden conectar por USB a esta unidad ordenadores con los siguientes sistemas operativos: (a abril de 2019):

Windows

- Windows 7 (32 bits, 64 bits)
- Windows 8 (32 bits, 64 bits)
- Windows 8.1 (32 bits, 64 bits)
- Windows 10 (32 bits, 64 bits)

Mac

- OS X Lion (10.7)
- OS X Mountain Lion (10.8)
- OS X Mavericks (10.9)
- OS X Yosemite (10.10)
- OS X El Capitan (10.11)
- macOS Sierra (10.12)
- macOS High Sierra (10.13)
- macOS Mojave (10.14)

No está garantizado el funcionamiento con otros sistemas.

- Esta unidad funcionará con el controlador (driver) estándar de los sistemas operativos Windows y Mac, por lo que no hay necesidad de instalar un controlador especial.

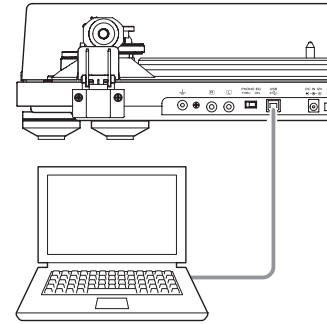
Grabación con un ordenador

Conexión con un ordenador

- 1 Encienda el ordenador.

Confirme que el sistema operativo funciona bien.

- 2 Utilice el cable USB para conectar el ordenador y esta unidad.



- Utilice un cable USB con núcleo de ferrita de los que se pueden adquirir en establecimientos comerciales.

- 3 Pulse el botón STANDBY/ON de esta unidad para encenderla.

El ordenador detectará automáticamente el puerto USB de esta unidad y la identificará como "USB Audio CODEC".

- Para grabar audio desde este reproductor de discos utilizando un ordenador, deberá primero instalar el software que vaya a utilizar para grabar audio en el ordenador. Puede comprar el software de grabación de audio que prefiera o descargarse por Internet un software gratuito, como por ejemplo Audacity (<http://www.audacityteam.org/>). Al ser software gratuito, TEAC no ofrece soporte para Audacity.
- Cuando esté grabando con un ordenador, no realice ninguna de las acciones mencionadas a continuación, ya que puede causar anomalías de funcionamiento en el ordenador. Salga siempre del software de grabación del ordenador antes de hacer lo siguiente:
 - Desconectar el cable USB.
 - Poner la unidad en reposo (standby).

Ajustes del ordenador

Los siguientes ejemplos explican los ajustes a realizar si se utiliza Windows 10.

- 1 Desde el menú "Inicio", seleccione "Sistema de Windows", y a continuación "Panel de control".

- 2 Haga clic en "Sonido".

Si "Ver por" en el Panel de control está ajustado en "Categoría", seleccione "Hardware y sonido". A continuación, seleccione "Sonido".

- 3 Haga clic en la pestaña "Grabar" y confirme que "USB Audio CODEC" es el "Dispositivo predeterminado".

- 4 Seleccione "USB Audio CODEC" y haga clic en el botón "Propiedades".

- 5 Haga clic en la pestaña "Opciones avanzadas".

- 6 Desde el menú desplegable "Formato predeterminado", seleccione la calidad (formato) de grabación deseada.

CONSEJO

Para grabar en la calidad de audio más alta que esta unidad puede proporcionar, seleccione "2 canales, 16 bits, 48000 Hz".

Una frecuencia de muestreo más baja reducirá relativamente el tamaño de los archivos, pero también disminuirá la calidad de audio.

- 7 Haga clic en "Aceptar".

Después de hacer los ajustes anteriores, utilice un software de grabación de audio para grabar.

Solución de posibles fallos

Si experimenta algún problema con esta unidad, por favor compruebe los apartados siguientes antes de solicitar asistencia técnica. La causa del problema podría no ser esta unidad. Por favor, compruebe también que los dispositivos conectados están siendo utilizados correctamente.

Si aún así la unidad no funciona correctamente, póngase en contacto con el establecimiento donde adquirió la unidad.

No enciende.

- ➔ Confirme que el adaptador de corriente está enchufado a una toma de electricidad. A continuación, pulse el botón STANDBY/ON para encender la unidad (páginas 32 y 34).

El plato giradiscos no gira.

- ➔ Pulse el botón STANDBY/ON para encender la unidad (páginas 32 y 34).
- ➔ Fije la correa alrededor de la polea del motor (página 30).
- ➔ Ajuste el mando de ajuste de la velocidad de giro a la velocidad de giro indicada en el disco (página 34).

La velocidad de giro del plato giradiscos no es correcta.

- ➔ Confirme que el mando de ajuste de la velocidad de giro está puesto en 33 y que gira unas 100 veces en 3 minutos.

El brazo no desciende aunque la palanca elevadora del brazo esté bajada.

- ➔ Equilibre el brazo y vuelva a ajustar la fuerza de apoyo (página 31).

El sonido es extraño o se interrumpe.

- ➔ Compruebe los conectores conectados al amplificador y ajuste el interruptor PHONO EQ (salida de audio) (página 32).

El tono (afinación) de reproducción es incorrecto.

- ➔ Seleccione la velocidad de rotación (RPM) indicada en el disco (página 34).

No sale sonido.

- ➔ Cuando conecte los terminales de salida de audio analógico de esta unidad a los terminales de audio de un amplificador u otro equipo, ponga el interruptor PHONO EQ (ajuste de salida de audio) en ON (página 32).

La reproducción no es posible; hay ruido.

- ➔ Quite la cubierta protectora de la aguja de la cápsula antes de utilizar el plato.
- ➔ Vuelva a conectar los cables de audio RCA.

- ➔ Las huellas y el polvo en un disco pueden causar ruido y hacer que salte el sonido. Limpie el disco con un limpiador de discos de los que se pueden adquirir en establecimientos comerciales (página 34).

- ➔ Limpie la aguja (página 31).

- ➔ Si la aguja está gastada, cámbiela (página 31). La necesidad de sustituir la aguja depende de las condiciones de uso, pero recomendamos cambiarla después de aproximadamente 300 horas de uso.

- ➔ Coloque la unidad lo más lejos posible de televisores, hornos microondas y otros dispositivos que emitan ondas electromagnéticas.

- ➔ Conecte el adaptador de corriente a una toma de electricidad diferente.

Hay ruido cuando se está reproduciendo un disco.

- ➔ Cuando la fuerza de apoyo es superior al valor especificado para la cápsula, puede producirse ruido. Reajuste la fuerza de apoyo para que sea la del valor especificado (página 31).

El sonido salta.

- ➔ Las vibraciones pueden causar saltos. Coloque esta unidad en un lugar estable.

- ➔ Limpie el disco.

- ➔ No utilice discos rayados.

- ➔ Equilibre el brazo y vuelva a ajustar la fuerza de apoyo (página 31). Si la fuerza de apoyo es menor que el valor especificado para la cápsula, puede que se produzcan saltos en la aguja y en el sonido.

- ➔ Si la aguja está doblada, cámbiela.

Esta unidad no es reconocida por el ordenador conectado.

- ➔ Compruebe los sistemas operativos de ordenadores compatibles en la página 35. No está garantizado el funcionamiento con sistemas operativos no compatibles.

- ➔ Conecte esta unidad a un puerto USB diferente.

Especificaciones

Plato giradiscos

Sistema de tracción	tracción por correa
Motor	motor de CC
Velocidad de rotación	33 1/3 rpm, 45 rpm
Lloro y centelleo	0,1 % o menos
Relación señal/ruido	67 dB o más (ponderado A, 20 kHz LPF)
Plato giradiscos	aluminio fundido
	30 cm de diámetro

Brazo

Tipo de brazo	Brazo en forma de "S" con equilibrio estático
Longitud efectiva del brazo	223 mm
Margen de variación de la fuerza de apoyo	0–5 g
Peso aceptable de la cápsula	3,0–12 g
	14–23 g
	(con el cabezal incluido)

Cápsula

Tipo	VM (equivalente a MM)
Voltaje de salida	4,0 mV (1 kHz, 5 cm/s)
Fuerza de apoyo	1,8–2,2 g (recomendado: 2,0 g)
Peso de la cápsula	6,1 g
Peso del cabezal incluido	11 g (incluidos tornillos, tuercas y cables)

- La necesidad de sustituir la aguja depende de las condiciones de uso, pero recomendamos cambiarla después de aproximadamente 300 horas de uso.

- En esta unidad viene instalada una cápsula Audio-Technica AT-VM95E VM Type. (El cuerpo de la aguja de repuesto para la cápsula instalada es verde).

Nota: Las cápsulas de tipo VM tienen las mismas características que las cápsulas de tipo MM.

- Modelo de aguja de repuesto: Audio-Technica AT-VMN95E.

Voltaje de salida

PHONO EQ THRU	4,0 mV (1 kHz, 5 cm/s)
PHONO EQ ON	224 mV (–13 dBV)
Terminales de salida	RCA

Puerto USB

El puerto USB puede recibir alimentación de buses USB de ordenador (velocidad completa)conector USB tipo B
Alimentación compatible con bus USB 5 V, 500 mA
Frecuencia de muestreo

8 kHz, 11,025 kHz, 16 kHz, 22,05 kHz, 32 kHz, 44,1 kHz, 48 kHz
Profundidad de bits de cuantización. 16 bits

General

Adaptador de corriente

Entrada	CA 100 V – CA 240 V, 50/60 Hz
Salida	CC 12 V, 500 mA

Consumo de corriente

En reposo (standby)	0,5 W o menos
Encendido (33, 45)	2,0 W o menos

Peso 5,0 kg

Margen de temperatura de funcionamiento de 5 °C a 35 °C

Dimensiones (an. x al. x pro.) (incluidos salientes)

Con la tapa cerrada 420 × 117 × 356 mm

Con la tapa abierta 420 × 381 × 402 mm

Con la tapa quitada 420 × 102 × 356 mm

- Datos de rendimiento especificados a 20 °C.

Artículos incluidos

Alfombrilla de fieltro × 1

Adaptador de 45 RPM × 1

Contrapeso × 1

Cabezal × 1

Cápsula estéreo Audio-Technica VM Type (doble imán) (AT-VM95E) preinstalada

Plato giradiscos × 1

Tapa × 1

Bisagras de la tapa × 2

Cable de audio RCA con terminal de tierra × 1

Adaptador de corriente (GPE053A-V120050) × 1

Manual del usuario (este documento, incluyendo la garantía) × 1

- La garantía para EE. UU. y Canadá está en la contraportada. Consulte la página 70 para conocer las disposiciones de la garantía.

Consulte la página 71 si desea más información sobre la garantía en Europa u otras áreas geográficas.

- Las especificaciones y el diseño están sujetos a cambios sin previo aviso.

- El peso y las dimensiones son aproximados.

- Las ilustraciones de este manual pueden diferir ligeramente de los modelos de producción.

CAUTION

**RISK OF ELECTRIC SHOCK
DO NOT OPEN**

VORSICHT: VERMEIDEN SIE DAS RISIKO EINES STROMSCHLAGS. ENTFERNEN SIE NICHT DIE ABDECKUNG (ODER RÜCKSEITE). DIE BAUTEILE IM GERÄTEINNEREN BEDÜRFE NICH T DER WARTUNG DURCH DEN NUTZER. WENDEN SIE SICH IM WARTUNGS-/REPARATURFALL AN DEN QUALIFIZIERTEN SERVICE.

Das Blitzsymbol mit Pfeilspitze in einem gleichseitigen Dreieck weist den Benutzer auf das Vorhandensein einer nicht isolierten „gefährlichen elektrischen Spannung“ im Geräteinneren hin, deren Stärke ausreichen kann, um für Personen ein Stromschlagrisiko darzustellen.



Das Ausrufezeichen in einem gleichseitigen Dreieck weist den Benutzer auf wichtige Bedienungs- und Wartungs- (Reparatur-) Anweisungen in den Dokumentationen hin, die dem Produkt beiliegen.



WARNUNG: ZUR VERMEIDUNG VON BRAND ODER STROMSCHLAG DARF DIESES GERÄT NICHT REGEN ODER FEUCHTIGKEIT AUSGESETZT WERDEN.

WICHTIGER HINWEIS

- ENTFERNEN SIE NICHT DAS GEHÄUSE, UM DIE INTERNE ELEKTRONIK FREIZULEGEN. IM GERÄTEINNEREN BEFINDEN SICH KEINE BAUTEILE, DEREN WARTUNG VOM NUTZER VORZUNEHMEN IST.
 - SOLLTEN FUNKTIONSTÖRUNGEN AUFTRETEN, KONTAKTIEREN SIE DEN HÄNDLER, BEI DEM SIE DAS GERÄT ERWORBEN HABEN UND BITTEN SIE UM EINEN SERVICETERMIN. VERWENDEN SIE DAS PRODUKT ERST WIEDER, WENN DIE REPARATUR DURCHFÜHRT WURDE.
 - DIE VERWENDUNG VON BEDIENELEMENTEN, EINSTELLUNGEN SOWIE DAS ABWEICHEN VON DEN IN DIESEM HANDBUCH BESCHRIEBENEN VERFAHRENSWEISEN KANN ZU GESUNDHEITS-GEFÄHRDENDER STRAHLENBELASTUNG FÜHREN.
- 1) Lesen Sie diese Hinweise.
 - 2) Bewahren Sie diese Anweisungen auf.
 - 3) Beachten Sie alle Warnungen.
 - 4) Befolgen Sie alle Anweisungen.
 - 5) Elektrische Geräte sollten nie in der Nähe von Wasser betrieben werden.

- 6) Verwenden Sie zum Reinigen stets ein trockenes Tuch.
- 7) Achten Sie darauf, dass Belüftungsöffnungen nicht verdeckt sind. Beachten Sie bei der Installation die entsprechenden Anweisungen des Herstellers.
- 8) Vermeiden Sie Aufstellungsorte in der Nähe von Wärmequellen, wie Heizkörpern, Wärmespeichern, Öfen, Herden oder anderen Geräten (inklusive Verstärkern), die Wärme abstrahlen.
- 9) Umgehen Sie nie die Sicherheitsfunktionen eines verpolungssicheren oder geerdeten Steckers. Verpolungssichere Stecker besitzen zwei Stromkontakte, von denen einer breiter ist als der andere. Geerdete Stecker (Schutzkontaktstecker) besitzen zwei Stromkontakte sowie einen dritten Erdungskontakt. Beide Steckerausführungen dienen der Sicherheit. Falls der vorhandene Stecker nicht in die verwendete Steckdose passt, lassen Sie den Stecker durch einen Elektriker austauschen.
- 10) Achten Sie insbesondere im Bereich von Steckern, Steckdosen sowie dem Netzkabelausschuss/-anschluss darauf, dass nicht auf das Netzkabel getreten oder das Kabel eingeklemmt werden kann.
- 11) Verwenden Sie nur vom Hersteller zugelassene Zubehörartikel.
- 12) Verwenden Sie ausschließlich vom Hersteller empfohlene oder beim Gerätekauf erworbene Rollwagen, Halterungen, Stative, Tische usw. Achten Sie bei Verwendung eines Rollwagens darauf, dass Wagen und Gerät nicht umfallen und Sie verletzen.
- 13) Trennen Sie Ihr Audiosystem während eines Gewitters oder längerer Nichtverwendung vom Spannungsnetz.
- 14) Überlassen Sie alle Reparaturen/Wartungsarbeiten qualifiziertem Fachpersonal. Reparatur oder Wartung sind erforderlich, wenn eine Beschädigung jeglicher Art vorliegt. Beispielsweise, wenn das Netzkabel oder der Netzstecker beschädigt sind, Flüssigkeit oder Gegenstände ins Geräteinnere gelangt sind, das Gerät Regen oder Feuchtigkeit ausgesetzt war, nicht mehr ordnungsgemäß funktioniert oder fallen gelassen wurde.
 - Es wird auch dann ein geringer Ruhestrom aus dem Netz bezogen, wenn sich der POWER- oder STANDBY/ON-Schalter nicht in der ON-Position befindet.
 - Der Netzstecker dient als Verbindungs-/Trennglied zur Spannungsversorgung. Achten Sie darauf, dass er stets in einwandfreiem Zustand ist.
 - Achten Sie bei der Verwendung von Kopfhörern auf Ihr Gehör. Zu hoher Schalldruck von Ohr- oder Kopfhörern kann Hörschäden oder Hörverlust verursachen.



WICHTIGER HINWEIS

- Vermeiden Sie die Einwirkung von Tropf- oder Spritzwasser.
- Stellen Sie niemals Vasen oder andere mit Flüssigkeiten gefüllte Gefäße auf das Gehäuse.
- Eine Installation in geschlossenen Regalsystemen oder ähnlichen Möbelstücken ist nicht zulässig.
- Wählen Sie einen Betriebsort in der Nähe der Wandsteckdose, so dass der Netzstecker jederzeit zugänglich ist.

Europamodell

Dieses Produkt entspricht den Anforderungen europäischer Richtlinien sowie anderen Verordnungen der Kommission.

Für Kunden in Europa

Entsorgung von elektrischen und elektronischen Altgeräten sowie Batterien und Akkus

- a) Sofern ein Produkt, die Verpackung und/oder die begleitende Dokumentation durch das Symbol einer durchgestrichenen Abfalltonne gekennzeichnet ist, unterliegt dieses Produkt den europäischen Richtlinien 2012/19/EU und/oder 2006/66/EG (geändert durch 2013/56/EU) sowie nationalen Gesetzen zur Umsetzung dieser Richtlinien.
- b) Diese Richtlinien und Gesetze schreiben vor, dass Elektro- und Elektronik-Altgeräte sowie Batterien und Akkus nicht in den Hausmüll (Restmüll) gelangen dürfen. Um die fachgerechte Entsorgung, Aufbereitung und Wiederverwertung sicherzustellen, sind Sie verpflichtet, Altgeräte und entladene Batterien/Akkus an den dafür vorgesehenen Orten zu entsorgen.
- c) Durch die ordnungsgemäße Entsorgung solcher Geräte, Batterien und Akkus leisten Sie einen Beitrag zur Einsparung wertvoller Rohstoffe und verhindern potenziell schädliche Auswirkungen auf die Gesundheit der Allgemeinheit und die Umwelt, die durch falsche Abfallentsorgung entstehen können. Die Entsorgung ist für Sie kostenlos.
- d) Falls der Gehalt an Blei (Pb), Quecksilber (Hg) und/oder Cadmium (Cd) in Batterien/Akkus die in der Richtlinie zur Batterieentsorgung (2006/66/EG, , 2013/56/EU) angegebenen, zulässigen Höchstwerte übersteigen, wird die Bezeichnung des entsprechenden chemischen Elements oder der Elemente unterhalb der durchgestrichenen Abfalltonne angegeben.
- e) Weitere Informationen zur Wertstoffsammlung und Wiederverwertung von Altgeräten, Batterien und Akkus erhalten Sie bei Ihrer Stadtverwaltung, dem **Pb, Hg, Cd** für Sie zuständigen Abfallentsorgungsunternehmen oder der Verkaufsstelle, bei der Sie das Produkt erworben haben.

Vielen Dank, dass Sie sich für ein Produkt von TEAC entschieden haben.
Bitte lesen Sie dieses Handbuch sorgfältig durch, damit Sie Ihr Gerät optimal verwenden können.
Bewahren Sie das Handbuch an einem sicheren Ort auf, damit Sie zu einem späteren Zeitpunkt darauf zurückgreifen können.

WICHTIGE SICHERHEITSHINWEISE 37

Vorbereitung 38

Inbetriebnahme des Plattenspielers 38

Anmerkungen zu Tonabnehmern 39

Anschlüsse 40

Bezeichnungen und Funktionen 40

Staubabdeckung 41

Auswechseln des Tonabnehmersystems 41

Handhabung von Schallplatten 42

Grundlegende Bedienung 42

Aufnahme mit einem Computer 43

Fehlerbehebung 44

Spezifikationen 44

Vorbereitung

Lieferumfang

Überprüfen Sie, ob die Verpackung alle im Folgenden aufgeführten Zubehörteile enthält. Sofern etwas fehlt oder auf dem Transportweg beschädigt wurde, setzen Sie sich bitte mit Ihrem Händler in Verbindung.

- Tellerauflage aus Filz × 1
- 45er/Single-Adapter × 1
- Gegengewicht × 1
- Systemträger × 1
 - Audio-Technica VM Stereo-Tonabnehmersystem (AT-VM95E, Doppelmagnet) vorinstalliert
- Plattenteller × 1
- Staubabdeckung × 1
- Scharniergelenke für Staubabdeckung × 2
- Cinch-Audiokabel mit Masseanschluss × 1
- Netzteil (GPE053A-V120050) × 1
- Bedienungsanleitung (dieses Dokument) × 1
- Die Garantiebestimmungen finden Sie auf Seite 71.

Hinweise zum Betrieb

- Legen Sie keine Gegenstände auf die Staubabdeckung, da diese insbesondere bei der Wiedergabe durch Vibrationen Geräusche verursachen oder herunterfallen könnten.
- Vermeiden Sie die Aufstellung in direktem Sonnenlicht, in der Nähe von Wärmequellen oder an ähnlichen Orten. Stellen Sie das Gerät nicht auf einen Verstärker oder andere wärmeproduzierende Geräte, um zu verhindern, dass die Betriebstemperatur dieses Geräts überschritten wird, da dies zu Verfärbungen und Verformungen des Gehäuses sowie zu Fehlfunktionen führen kann.
- Achten Sie stets auf ausreichenden Belüftungsabstand, da der TN-3B während des Betriebs warm werden kann. Der Abstand zu Wänden und anderen Geräten sollte mindestens 20 cm betragen, um gute Wärmeableitung zu gewährleisten. Bei Installation in Rack- oder Regalsystemen sollte der Abstand oberhalb des TN-3B mindestens 35 cm und der dahinter mindestens 10 cm betragen. Andernfalls kann es im Geräteinneren zu einem Wärmestau kommen, der möglicherweise einen Brand verursachen kann.
- BEWEGEN SIE DEN TN-3B NICHT WÄHREND DER SCHALLPLATTENWIEDERGABE. Während der Wiedergabe dreht sich die Schallplatte. Bewegen und heben Sie den TN-3B während der Wiedergabe nicht an, da dies Schäden an Schallplatte, Tonabnehmernadel, -system sowie dem TN-3B verursachen kann.

- Nehmen Sie vor einem Transport oder Wechsel des Aufstellungsorts die Schallplatte vom Plattenteller. Wird der TN-3B mit darauf befindlicher Schallplatte transportiert, können Schallplatte, Tonabnehmernadel sowie -system beschädigt oder Fehlfunktionen verursacht werden.
- Die Spannung, an der Sie den TN-3B betreiben, sollte mit der auf der Geräterückseite angegebenen Betriebsspannung übereinstimmen. Kontaktieren Sie im Zweifelsfall einen Elektrofachmann.

Pflegehinweis

Falls die Gehäuseoberfläche des TN-3B verschmutzt ist, verwenden Sie zum Reinigen ein weiches, trockenes Tuch oder ein mit milder Seifenlösung getränktes Tuch. Achten Sie darauf, dass die Gehäuseoberfläche vor der erneuten Inbetriebnahme komplett trocken ist.

- Verwenden Sie zum Reinigen niemals chemische Reinigungstücher, Verdüner oder ähnliche Substanzen, da diese das Gehäuse des TN-3B beschädigen können.

⚠ ACHTUNG

Aus Sicherheitsgründen sollte vor dem Reinigen der Netzstecker gezogen werden.

Die internationale Webseite von TEAC

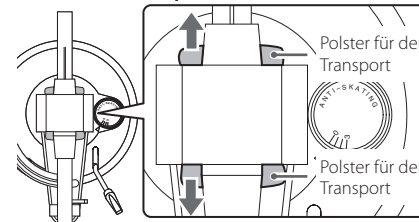
Updates für das Gerät stehen auf der internationalen Webseite von TEAC zum Download bereit: <http://teac-global.com/>

Klicken Sie im Bereich „Downloads“ auf die gewünschte Sprache, um die Download-Seite für diese Sprache zu öffnen.

Inbetriebnahme des Plattenspielers

Schalten Sie das Gerät während der Inbetriebnahme in den Standbymodus (F auf Seite 40).

1 Während des Transports wird der Tonarm durch Polster geschützt. Entfernen Sie diese in Pfeilrichtung.



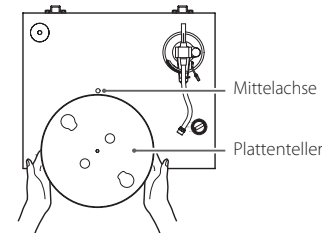
2 Stellen Sie den Plattenspieler auf einer ebenen Fläche auf.

Platzieren Sie das Gerät auf einer ebenen Fläche, sodass die Schallplatte fehlerfrei abgetastet werden kann.

3 Setzen Sie den Plattenteller ein.

Richten Sie den Plattenteller an der Mittelachse aus und setzen Sie ihn ein.

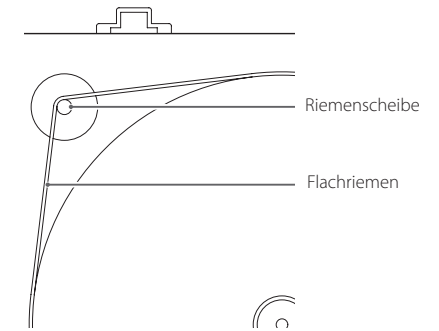
- Die größere Öffnung der Mittelbohrung muss dabei nach unten zeigen.



4 Legen Sie den Riemen um das Antriebsrad.

Legen Sie den mitgelieferten Flachriemen außen um den Plattenteller und führen Sie ihn um die Riemenscheibe.

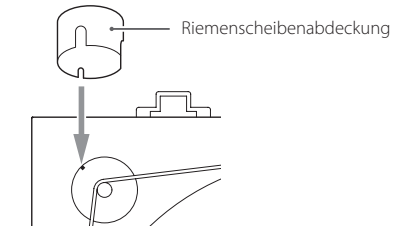
- Achten Sie darauf, dass der Gummiriemen nicht verdreht ist.
- Prüfen Sie den korrekten und sicheren Sitz des Flachriemens, indem Sie den Plattenteller mehrfach mit der Hand drehen.



5 Setzen Sie die Abdeckung der Riemenscheibe ein.

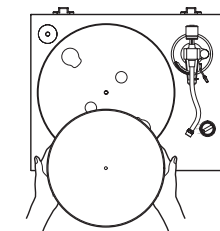
Richten Sie den kleinen Ausschnitt in der Riemenscheibenabdeckung wie in der Abbildung unten dargestellt an dem kleinen Zahn an der Riemenscheibe aus.

- Andernfalls sitzt die Abdeckung schräg auf.



6 Legen Sie die Filzauflage auf den Plattenteller.

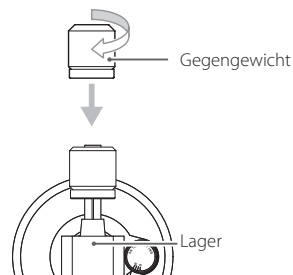
Legen Sie die mitgelieferte Tellerauflage aus Filz auf den Teller des Plattenspielers, bevor Sie diesen benutzen.



7 Installieren Sie das Gegengewicht.

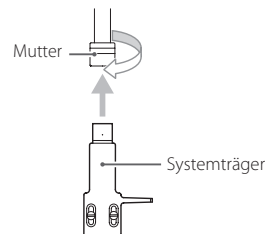
Schieben Sie das Gegengewicht über das Ende des Tonarms und schrauben Sie es mit sanftem Druck im Uhrzeigersinn fest.

- Wenn das Gegengewicht in Richtung Lager bewegt werden kann, ist die Installation abgeschlossen.

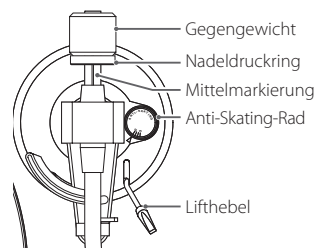


8 Installieren Sie den Systemträger.

Stecken Sie den Systemträger am anderen Ende des Tonarms ein und sichern Sie ihn mit der Mutter.

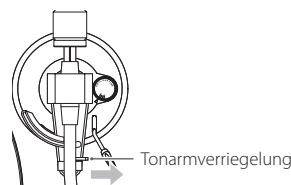


Ausbalancieren des Tonarms und Einstellen des Auflagedrucks der Nadel



1 Stellen Sie das Anti-Skating-Rad auf null.

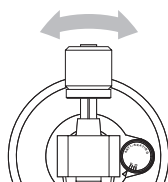
2 Klappen Sie die Tonarmverriegelung nach rechts, um den Tonarm zu entriegeln.



3 Heben Sie den Lifthebel an und schieben Sie den Tonarm dann ein Stück nach links.

4 Senken Sie den Lifthebel ab.

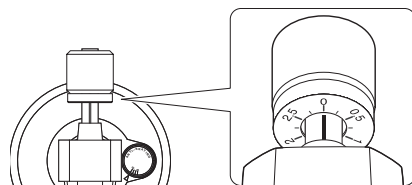
5 Justieren Sie das Gegengewicht durch Drehen so, dass der Tonarm waagrecht ausgerichtet ist.



- Entfernen Sie die Schutzkappe des Tonabnehmersystems, bevor Sie die Einstellungen vornehmen.
- Achten Sie darauf, dass die Nadel nicht mit dem Gerät in Berührung kommt.

6 Bringen Sie den Tonarm wieder in seine Ausgangsposition und sichern Sie ihn mit der Tonarmverriegelung.

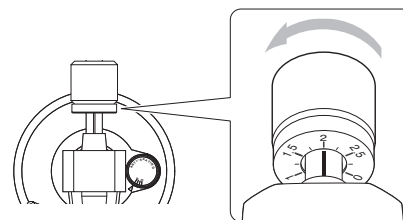
7 Drehen Sie den Ring für den Nadeldruck so, dass die Markierungslinie der Mittelstellung auf „0“ ausgerichtet ist.



- Drehen Sie dabei ausschließlich den Ring. Stellen Sie sicher, dass das Gegengewicht nicht verdreht wird.

8 Drehen Sie nun das Gegengewicht und stellen Sie auf der Skala für den Nadeldruckring den für den Tonabnehmer angegebenen Wert ein.

- Der Anpressdruck für den mitgelieferten Tonabnehmer beträgt 2,0 g. Wenn Sie den mitgelieferten Tonabnehmer einsetzen, stellen Sie entsprechend auf der Gegengewichtsskala den Wert 2,0 ein.



- Drehen Sie es nach rechts von 0 in Richtung 0.5 und 1.0.

9 Stellen Sie das Anti-Skating-Rad ein.

Beginnen Sie bei Position 2,0 und stellen Sie es während der Wiedergabe einer Platte (Seite 42) so ein, dass die Lautstärke links und rechts ausgewogen ist.



ACHTUNG

Abhängig vom Zustand einer Schallplatte ist das Lautstärkeverhältnis zwischen linkem und rechtem Kanal evtl. nicht ausgewogen und es kommt bei der Wiedergabe zu Sprüngen.

In diesen Fällen nehmen Sie die folgenden Anpassungen vor:

Wenn die Wiedergabe (Nadel) nach hinten springt
Senken Sie die Einstellung für das Anti-Skating-Rad leicht ab.

Wenn die Wiedergabe (Nadel) nach vorne springt
Heben Sie die Einstellung für das Anti-Skating-Rad leicht an.

Anmerkungen zu Tonabnehmern

- Sofern die Nadel beschädigt oder verbogen wurde, kann diese der Rille auf der Schallplatte nicht mehr exakt folgen. Da eine verbogene Nadel zudem zu Fehlfunktionen und Schäden an der Schallplatte führen kann, behandeln Sie die Nadeln bitte stets mit besonderer Sorgfalt.
- Verwenden Sie zum Reinigen grundsätzlich einen handelsüblichen Nadelreiniger für Schallplatten. Die Verwendung anderer Reinigungsmittel als spezifische Nadelreiniger für Schallplatten kann zu einer Beschädigung der Nadel führen.

Austauschen der Nadel

Sofern die Nadelspitze Zeichen von Abnutzung aufweist, verschlechtert sich nicht nur die Klangqualität, sondern es besteht auch die Gefahr möglicher Schäden an den Schallplatten. Ersetzen Sie die Nadel nach etwa 300 Spielstunden mit einem von uns spezifizierten Ersatztyp.

Verwenden Sie bitte eine Ersatznadel vom Typ Audio-Technica AT-VMN95E.

- In diesem Gerät ist ein Audio-Technica AT-VM95E VM-Tonabnehmer installiert. (Der Träger der Ersatznadel für den vorinstallierten Tonabnehmer ist grün.)

ANMERKUNG

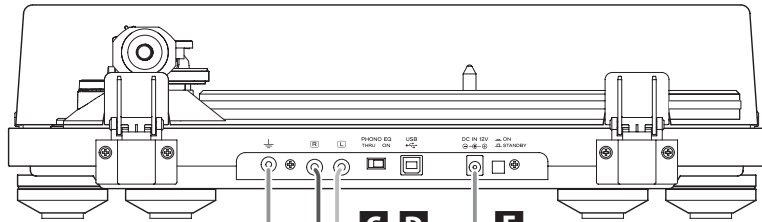
VM-Tonabnehmersysteme haben dieselben Eigenschaften wie MM-Systeme.

- Folgen Sie beim Austausch der Anleitung, die der Ersatznadel beiliegt.

ACHTUNG

- Um plötzliche laute Geräusche zu vermeiden, schalten Sie das Gerät in den Standbymodus, bevor Sie mit dem Tausch der Nadel beginnen.
- Achten Sie darauf, sich nicht zu verletzen oder das Gerät zu beschädigen.
- Sorgen Sie dafür, dass keine kleinen Kinder Zugriff auf die Nadeln haben, da sie diese verschlucken könnten.
- Beachten Sie, dass verbogene Nadeln, die beispielsweise auf unzureichende Sorgfalt des Anwenders oder externe Ursachen zurückzuführen sind, nicht von der Gewährleistung abgedeckt werden.

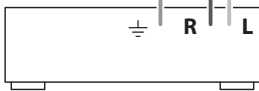
Anschlüsse



Verbinden Sie diese Anschlüsse mit den Line-Audiobuchsen am Verstärker oder an ähnlichen Geräten.
Stellen Sie den Schalter PHONO EQ auf ON ein

Verbinden Sie diese Anschlüsse mit den Phono-Eingangsbuchsen am Verstärker oder an ähnlichen Geräten.
Stellen Sie den Schalter PHONO EQ auf THRU ein

Verstärker,
aktives Lautsprechersystem,
Aufnahmegerät etc.



⚠ Vorsichtsmaßnahmen bei der Verkabelung

- Verbinden Sie das Gerät erst dann mit dem Stromnetz, wenn Sie alle Anschlüsse hergestellt haben.
- Lesen Sie alle Handbücher der Geräte, die Sie anschließen, sorgfältig durch und verkabeln Sie diese wie beschrieben.

A Masseanschluss (⊖)

Über das Massekabel des mitgelieferten Cinch-Audiokabels verbinden Sie diesen Massepunkt beispielsweise mit dem Masseanschluss des Verstärkers.

- Hierbei handelt es sich allerdings NICHT um einen elektrischen Schutzleiter.

Wenn Rauschen über die Lautsprecher ausgegeben wird

Wenn der Nebengeräuschanteil nicht abnimmt, nachdem Sie das Massekabel des Audiokabels mit dem Masseanschluss am Gerät verbunden haben, trennen Sie das Massekabel wieder und überprüfen die Audiowiedergabe erneut. Nutzen Sie dann die Methode (angeschlossen/getrennt), bei der die wenigsten Nebengeräusche auftreten.

B Analoge Audioausgänge (L/R)

Über diese Anschlüsse wird das analoge Audiosignal ausgegeben.

Über den Schalter PHONO EQ wählen Sie dabei die Art des Ausgangssignals.

Nutzen Sie das mitgelieferte Audiokabel (oder ein anderes handelsübliches Audiokabel), um weitere Geräte mit dem Ausgang dieses Geräts zu verbinden.

C Schalter PHONO EQ (Einstellung für die Audioausgabe)

ON

In dieser Stellung werden die Signale über den internen Phono-Vorverstärker entzerrt, der auch MM-Systeme unterstützt, und über die analogen Audioausgänge (L/R) ausgegeben.

THRU

In dieser Stellung wird das Signal des MC- oder MM-Systems direkt über die analogen Audioausgänge (L/R) ausgegeben.

Schließen Sie dieses Gerät dazu an ein Gerät mit Phonoeingängen an, wie beispielsweise einen Phono-Vorverstärker oder einen Verstärker mit Phonoeingängen.

- Ab Werk ist dieser Schalter auf ON voreingestellt.
- Stellen Sie diesen Schalter auf ON, wenn ein Gerät an den USB-Port angeschlossen ist.

WICHTIGER HINWEIS

In der Stellung ON sollten Sie in keinem Fall die PHONO-Eingänge eines Verstärkers verwenden. Andernfalls wird ein besonders lautes Signal über die Lautsprecher und Kopfhörer ausgegeben, das externe Geräte oder auch das Gehör schädigen kann.

D USB-Port (USB-Typ B)

Der Klang der Schallplatte wird mit einer Auflösung von bis zu 48 kHz und 16 Bit digitalisiert und ausgegeben. Für die Aufnahme auf einem Computer verbinden Sie das Gerät über ein USB-Kabel mit einem entsprechenden Computeranschluss (Seite 43).

E Netzteilanschluss

Nachdem Sie die gesamte Verkabelung vorgenommen haben, schließen Sie das mitgelieferte Netzteil an dieser Buchse an.

Stellen Sie sicher, dass das Netzteil an einer Netzsteckdose angeschlossen ist.

- Verwenden Sie ausschließlich das Netzteil aus dem Lieferumfang.

⚠ Schließen Sie das Netzteil nur an einer Netzsteckdose mit der richtigen Spannung an. Der Anschluss an einer Steckdose mit der falschen Netzspannung kann zu einem Brand oder Stromschlag führen.

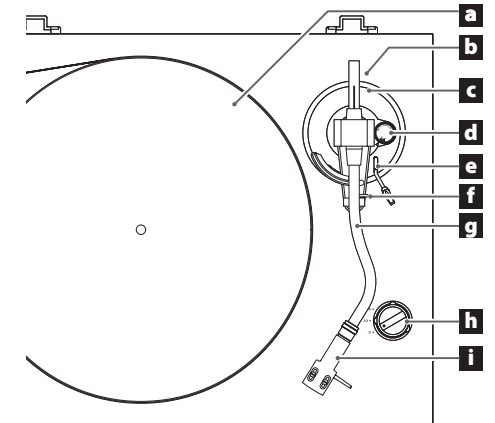
⚠ Fassen Sie das Netzteil beim Einstecken oder Abziehen immer am Stecker selbst an. Ziehen oder reißen Sie niemals am Stromkabel selbst.

⚠ Wenn Sie das Gerät für einen längeren Zeitraum nicht verwenden, trennen Sie das Netzteil vom Stromnetz.

F Taste STANDBY/ON

Mit der STANDBY/ON-Taste schalten Sie das Gerät ein oder aktivieren den Standbymodus.

Bezeichnungen und Funktionen



a Plattenteller

Legen Sie die Schallplatten mittig auf den Plattenteller.

b Gegengewicht

c Nadeldruckring

d Anti-Skating-Rad

e Lifthebel

Damit heben Sie den Tonarm an oder senken ihn ab. Wir empfehlen die Nutzung des Lifthebels, um eine Beschädigung der Nadel und der Schallplatten zu vermeiden. Seine Nutzung ist sicherer und zuverlässiger als das manuelle Aufsetzen der Nadel mit der Hand.

f Tonarm-Stütze

Auf dieser Stütze können Sie den Tonarm ablegen. Vor der Wiedergabe einer Schallplatte klappen Sie die Tonarmverriegelung nach rechts, um den Tonarm zu entriegeln.

g Tonarm

h Drehzahl-Regler

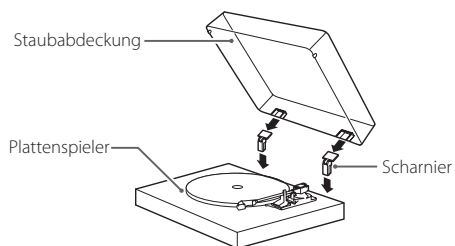
Wählen Sie die auf der Schallplatte angegebene Umdrehungsgeschwindigkeit. In der Stellung 0 hält der Antrieb an.

i Systemträger

Hierbei handelt es sich um einen Universalträger, bei dem sich das System besonders einfach austauschen lässt.

Staubabdeckung

Anbringen der Staubabdeckung



1 Führen Sie die Scharniere vollständig in die linke und rechte Scharnieröffnung auf der Rückseite des Plattenspielers ein.

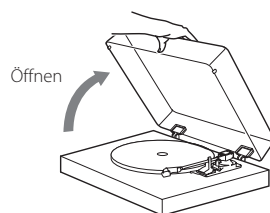
2 Richten Sie die Scharnieroberteile auf die Öffnungen der Staubabdeckung aus und führen Sie sie ein.

- Schließen Sie die Staubabdeckung während der Wiedergabe. So verhindern Sie ein Verspringen der Nadel durch unbeabsichtigtes Berühren und blockieren die Einwirkung externer Schallquellen. Zudem reduzieren Sie etwaige Nebengeräusche.
- Verzichten Sie darauf, die Abdeckung während der Wiedergabe zu öffnen oder zu schließen. Diese könnte beispielsweise dazu führen, dass die Nadel verspringt.
- Um das Eintreten von Staub zu vermeiden, halten Sie die Abdeckung nach Möglichkeit stets geschlossen.

Abnehmen der Staubabdeckung

Halten Sie die Staubabdeckung an beiden Seiten und heben Sie sie leicht an, um die Abdeckung zusammen mit den Scharnieren aus dem Gerät herauszuziehen. Anschließend ziehen Sie die Scharniere aus der Staubabdeckung.

Öffnen und Schließen der Abdeckung



Öffnen

Fassen Sie die Staubabdeckung am vorderen Rand an und klappen Sie sie vollständig nach oben. Die Staubabdeckung bleibt nun in dieser Position geöffnet.

Schließen

Klappen Sie die Staubabdeckung wieder nach unten, bis sie geschlossen ist.

⚠ Achten Sie beim Öffnen und Schließen darauf, Ihre Finger nicht einzuklemmen.

Auswechseln des Tonabnehmersystems

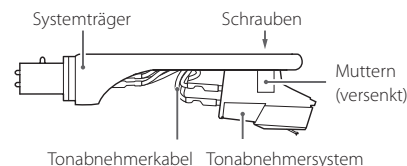
Um das Tonabnehmersystem zu wechseln, ziehen Sie zuerst den Systemträger vom Tonarm ab.

- In diesem Gerät ist ein Audio-Technica AT-VM95E VM-Tonabnehmer installiert.

ANMERKUNG

VM-Tonabnehmersysteme haben dieselben Eigenschaften wie MM-Systeme.

- Wir empfehlen Ihnen, die Schutzkappe vor dieser Aktion auf das Tonabnehmersystem aufzusetzen.

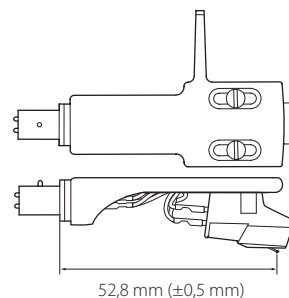


1 Ziehen Sie die Tonabnehmerkabel vom System ab.

2 Lösen Sie die Schrauben und entfernen Sie das Tonabnehmersystem.

3 Installieren Sie das neue System und befestigen Sie die Schrauben.

In der Abbildung unten sind die Positionen der Schrauben nach Abschluss der Montage dargestellt.



4 Verbinden Sie die Tonabnehmerkabel mit dem System.

- Die Zuordnung zwischen den Signalen und Kabelfarben ist unten dargestellt.

Signal	Farbe
Linker Kanal +	Weiß
Linker Kanal -	Blau
Rechter Kanal +	Rot
Rechter Kanal -	Grün

5 Balancieren Sie den Tonarm aus und stellen Sie den Auflagedruck der Nadel ein.

Folgen Sie den Anleitungen im Abschnitt „Ausbalancieren des Tonarms und Einstellen des Auflagedrucks der Nadel“ auf Seite 39.

Vorsichtsmaßnahmen zum Wechseln des Tonabnehmers

In diesem Gerät können nur Tonabnehmer bis zu einem bestimmten Gewicht verwendet werden. Lesen Sie dazu den Abschnitt „Tonarm“ auf Seite 44. Überprüfen Sie zudem das zulässige Gewicht für den Tonabnehmer (inklusive des Systemträgers) auf derselben Seite, bevor Sie den Systemträger wechseln.

Einsatz von MC-Tonabnehmern

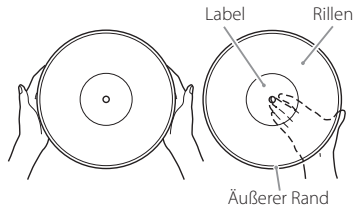
Der im Gerät integrierte Entzerrverstärker ist für MM-Tonabnehmer ausgelegt. MC-Tonabnehmer werden nicht unterstützt.

Um einen MC-Tonabnehmer zu verwenden, müssen Sie dieses Gerät an einem Phono-Entzerrverstärker anschließen, der MC-Tonabnehmer unterstützt, oder einen Verstärker mit einem Phono-Eingang für MC-Systeme verwenden. In diesem Fall stellen Sie den Schalter PHONO EQ (Audioausgang) auf THRU ein.

Handhabung von Schallplatten

Umgang mit Schallplatten

Wenn Sie eine Schallplatte halten oder aus ihrer Hülle nehmen, vermeiden Sie es, die Rillen zu berühren, indem Sie die Platte entweder mit einer Hand am Label und am Rand oder mit beiden Händen am Rand halten.



Reinigung

- Fingerabdrücke und Staub können bei der Wiedergabe zu Störgeräuschen und Aussetzern führen und darüber hinaus die Schallplatte und die Nadel beschädigen. Verwenden Sie zum Reinigen einen handelsüblichen Schallplattenreiniger. Verwenden Sie in keinem Fall Verdüner, sondern ausschließlich spezielle Schallplattenreiniger. Andere chemische Mittel können die Oberfläche der Schallplatte beschädigen.
- Wenn Sie Schallplattenreiniger verwenden, wischen Sie in kreisenden Bewegungen entlang der Rillen über die Schallplatte.



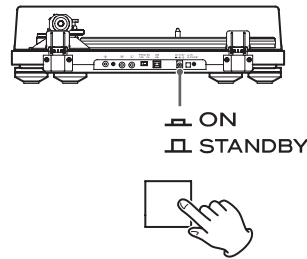
Hinweise zum Betrieb

- Lassen Sie Schallplatten nicht in direktem Sonnenlicht, an sehr feuchten oder heißen Orten liegen. Eine längere Lagerung an solchen Orten kann zu Verformungen, Schimmelbildung und anderen Schäden an der Schallplatte führen.
- Legen Sie Schallplatten nicht aufeinander und legen Sie keine schweren Gegenstände darauf. Stellen Sie Schallplatten nicht für längere Zeit schräg auf, da auch dies zu Verformungen und anderen Schäden führen kann.
- Bringen Sie keine harten Gegenstände mit den Rillen in Kontakt, da es dabei zu Kratzern kommen kann.
- Stecken Sie Ihre Schallplatten nach dem Abspielen zur Aufbewahrung wieder in ihre Hüllen. Eine ungeschützte Schallplatte kann sich verformen oder verkratzen.
- Spielen Sie keine Schallplatte ab, die einen Sprung hat.

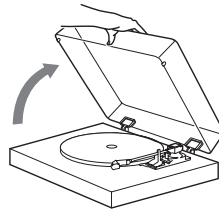
Wiedergabe von Schallplatten

- Entfernen Sie die Schutzkappe des Tonabnehmersystems, bevor Sie den Plattenspieler verwenden.

1 Drücken Sie die Taste **STANDBY/ON** auf der Geräterückseite, um das Gerät einzuschalten.



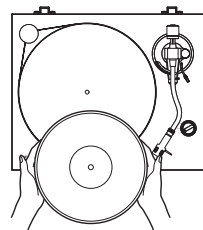
2 Öffnen Sie langsam die Staubabdeckung.



⚠ Achten Sie beim Öffnen und Schließen der Abdeckung darauf, Ihre Finger nicht einzuklemmen.

3 Legen Sie die Schallplatte auf den Plattenteller.

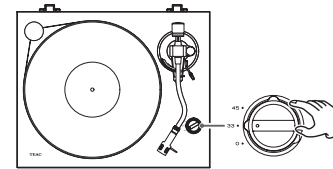
Wenn Sie eine Vinyl-Single mit 45 Umdrehungen pro Minute ohne Single-Stern wiedergeben möchten, verwenden Sie den mitgelieferten Puck-Adapter.



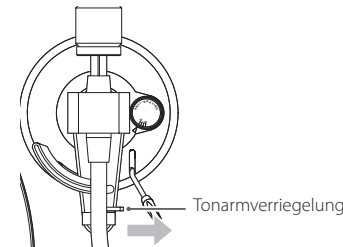
Grundlegende Bedienung

4 Wählen Sie die auf der Schallplatte angegebene Umdrehungsgeschwindigkeit.

Die Drehzahl kann auf 33 1/3 oder 45 UpM eingestellt werden.

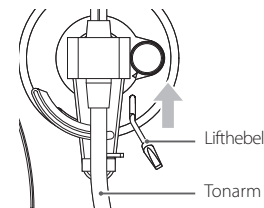


5 Klappen Sie die Tonarmverriegelung nach rechts, um den Tonarm zu entriegeln.



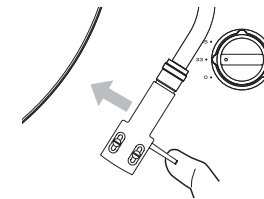
6 Heben Sie den Lifthebel an.

Dadurch wird der Tonarmlift und damit der Tonarm nach oben angehoben, sodass die Nadel auch dann keinen Kontakt zur Schallplatte hat, wenn Sie sie über diese bewegen.



- Sie können den Tonarm auch manuell anheben und die Nadel dann vorsichtig auf der Schallplatte aufsetzen, um mit der Wiedergabe zu beginnen.

7 Richten Sie den Tonarm auf den Titel aus, den Sie wiedergeben möchten.



8 Senken Sie den Lifthebel ab.

Der Tonarm wird langsam abgesenkt, bis die Nadel auf der Schallplatte aufsetzt und die Wiedergabe beginnt.

- Schließen Sie die Staubabdeckung während der Wiedergabe. So reduzieren Sie die Gefahr von Nebengeräuschen, indem Sie ein Springen der Nadel durch unbeabsichtigte Berührungen verhindern und die mögliche Einflussnahme externer Schallquellen blockieren.

⚠ Legen Sie keine Gegenstände auf die Staubabdeckung,

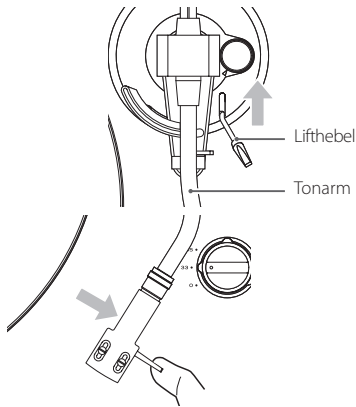
ACHTUNG

- Berühren Sie während der Wiedergabe weder den Tonarm noch die Schallplatte. Sie könnten andernfalls die Nadelspitze beschädigen oder Kratzer auf der Schallplatte verursachen.
- Halten Sie den Plattenteller nicht gewaltsam während der Wiedergabe an. Da es sich bei diesem Produkt nicht um einen Plattenspieler für den DJ-Einsatz handelt (Direktantrieb), können entsprechende Aktionen zu Fehlfunktionen führen.

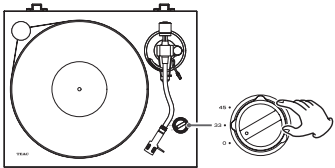
Bei zu hoher Lautstärke kann es während der Wiedergabe zu Rückkopplungen kommen. In diesem Fall senken Sie die Lautstärke des Verstärkers ab.

Nach dem Ende der Wiedergabe

- 1 Heben Sie den Tonarm bzw. die Nadel mit dem Lifthebel von der Schallplatte an und bewegen Sie den Tonarm in die Ausgangsposition zurück.



- 2 Stellen Sie den Drehzahl-Regler auf 0, um den Plattenteller anzuhalten.



Eine Schallplatte kann digital auf einen Computer aufgenommen werden, indem Sie dieses Gerät über ein handelsübliches USB-Kabel mit einem USB-Anschluss am Computer verbinden.

- Der USB-Port an diesem Gerät dient zum Anschluss an einen Computer

Unterstützte Betriebssysteme

Über USB können Computer mit folgenden Betriebssystemen an diesem Gerät angeschlossen werden (Stand April 2019).

Windows

- Windows 7 (32/64 Bit)
- Windows 8 (32/64 Bit)
- Windows 8.1 (32/64 Bit)
- Windows 10 (32/64 Bit)

Mac

- OS X Lion (10.7)
- OS X Mountain Lion (10.8)
- OS X Mavericks (10.9)
- OS X Yosemite (10.10)
- OS X El Capitan (10.11)
- macOS Sierra (10.12)
- macOS High Sierra (10.13)
- macOS Mojave (10.14)

Für den Einsatz mit anderen Betriebssystemen kann keine Gewähr übernommen werden.

- Das Gerät wird von dem in die Windows- und Mac-Betriebssysteme integrierten Treiber unterstützt, sodass kein spezieller Treiber installiert werden muss.

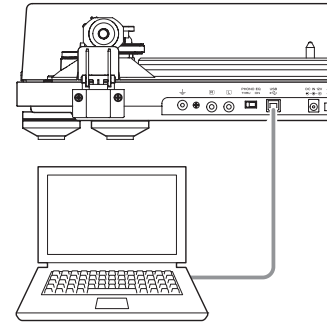
Aufnahme mit einem Computer

Anschluss an einen Computer

- 1 Schalten Sie den Computer ein.

Das Betriebssystem muss fehlerfrei arbeiten.

- 2 Verbinden Sie das Gerät über das USB-Kabel mit dem Computer.



- Verwenden Sie ein handelsübliches USB-Kabel mit einem Ferritkern.

- 3 Schalten Sie das Gerät mit der Taste STANDBY/ON ein.

Der Computer erkennt den USB-Port des Geräts automatisch und meldet diesen als „USB Audio CODEC“ an.

- Um das Audiosignal des Plattenspielers auf dem Computer aufzunehmen, müssen Sie zuerst eine geeignete Audio-Software installieren. Sie können die gewünschte Aufnahme-Software separat kaufen oder eine frei erhältliche Software wie Audacity (<http://www.audacityteam.org/>) aus dem Internet herunterladen. TEAC leistet jedoch keinen Support für die kostenfreie Software Audacity.
- Unterlassen Sie bei der Aufnahme mit dem Computer folgende Dinge. Es kann andernfalls zu Fehlfunktionen kommen. Beenden Sie in jedem Fall die Aufnahme-Software auf dem Computer, bevor Sie eine der folgenden Aktionen ausführen.
 - Trennen der USB-Verbindung
 - Aktivieren des Standbymodus

Computer-Einstellungen

Das folgende Beispiel erläutert die für Windows 10 empfohlenen Einstellungen.

- 1 Öffnen Sie die Systemsteuerung über das Start-Menü Ihres Windows-Systems.

- 2 Klicken Sie auf „Sound“.

Wenn die „Anzeige“ der Systemsteuerung auf „Kategorie“ eingestellt ist, wählen Sie den Eintrag „Hardware und Sound“. Wählen Sie dann den Eintrag „Sound“.

- 3 Klicken Sie auf den Reiter „Aufnahme“ und stellen Sie sicher, dass „USB Audio CODEC“ im Abschnitt „Als Standard“ eingestellt ist.

- 4 Wählen Sie „USB Audio CODEC“ und klicken Sie auf die Schaltfläche „Eigenschaften“.

- 5 Klicken Sie auf den Reiter „Erweitert“.

- 6 Wählen Sie nun aus dem Einblendmenü „Standardformat“ die gewünschte Aufnahmequalität (Format).

TIPP

Um mit der für dieses Gerät maximalen Audioqualität aufzunehmen, wählen Sie „2 Kanal, 16 Bit, 48000 Hz“. Ein Herabsetzen der Abtastfrequenz führt zu einer Verkleinerung des Speicherbedarfs der Dateien, aber auch zu Einbußen in der Klangqualität.

- 7 Klicken Sie auf „OK“.

Nachdem Sie die oben beschriebenen Einstellungen vorgenommen haben, können Sie mit einer geeigneten Software eine Aufnahme erstellen.

Fehlerbehebung

Bei Problemen mit dem Gerät überprüfen Sie zuerst die folgenden Punkte, bevor Sie den Service kontaktieren. Eventuell ist das Gerät gar nicht der Grund für das Problem. Stellen Sie zudem sicher, dass die angeschlossenen Geräte ordnungsgemäß verwendet werden.

Wenn weiterhin Fehler auftreten, wenden Sie sich zuerst an den Händler, bei dem Sie das Gerät gekauft haben.

Keine Stromversorgung.

- ➔ Stellen Sie sicher, dass das Netzteil an einer Netzsteckdose angeschlossen ist. Drücken Sie anschließend die STANDBY/ON-Taste, um das Gerät einzuschalten (Seiten 40 und 42).

Der Plattenteller dreht sich nicht.

- ➔ Drücken Sie die STANDBY/ON-Taste, um das Gerät einzuschalten (Seiten 40 und 42).
- ➔ Legen Sie den Riemen um das Antriebsrad (Seite 38).
- ➔ Stellen Sie den Drehzahl-Regler auf die auf der Schallplatte angegebene Geschwindigkeit ein (Seite 42).

Die Drehgeschwindigkeit des Plattentellers passt nicht.

- ➔ Stellen Sie sicher, dass der Drehzahl-Regler auf 33 eingestellt ist und sich der Plattenteller etwa 100-mal in 3 Minuten dreht.

Der Tonarm sinkt nicht ab, obwohl der Lifthebel abgesenkt wurde.

- ➔ Balancieren Sie den Tonarm aus und stellen Sie den Auflagedruck der Nadel erneut ein (Seite 39).

Die Audioausgabe ist gestört oder wird unterbrochen.

- ➔ Überprüfen Sie die Anschlüsse am Verstärker und passen Sie die Einstellung für den Schalter PHONO EQ (Audio-Ausgang) an (Seite 40).

Die Tonhöhe stimmt nicht.

- ➔ Wählen Sie die auf der Schallplatte angegebene Umdrehungsgeschwindigkeit (Seite 42).

Es erfolgt keine Tonausgabe.

- ➔ Bei Anschluss des Geräts über seine Audioausgänge an die Audioeingänge eines Verstärkers oder eines anderen Geräts stellen Sie den Schalter PHONO EQ (Einstellung für den Audio-Ausgang) auf ON (Seite 40).

Keine Wiedergabe möglich, viele Nebengeräusche.

- ➔ Entfernen Sie die Schutzkappe des Tonabnehmersystems, bevor Sie den Plattenspieler verwenden.
- ➔ Schließen Sie die Cinch-Audiokabel erneut an.

- ➔ Fingerabdrücke und Staub auf einer Schallplatte können zu Nebengeräuschen und einem Springen der Nadel führen. Verwenden Sie zum Reinigen einen handelsüblichen Schallplattenreiniger (Seite 42).

- ➔ Säubern Sie die Nadelspitze (Seite 39).

- ➔ Sofern die Nadelspitze abgenutzt ist, ersetzen Sie diese (Seite 39). Die Notwendigkeit zum Austausch der Nadel hängt von den jeweiligen Einsatzbedingungen: Wir empfehlen einen Austausch nach etwa 300 Stunden.

- ➔ Stellen Sie das Gerät so weit wie möglich entfernt von Fernsehgeräten, Mikrowellen und anderen Geräten auf, die stark elektromagnetisch sind.

- ➔ Verbinden Sie das Netzkabel mit einer anderen Steckdose.

Bei der Wiedergabe einer Schallplatte kommt es zu Nebengeräuschen.

- ➔ Wenn der Auflagedruck der Nadel größer ist als für den Tonabnehmer empfohlen, kann es zu Nebengeräuschen kommen. Korrigieren Sie den Auflagedruck auf den spezifizierten Wert (Seite 39).

Die Wiedergabe springt.

- ➔ Durch Vibrationen kann die Wiedergabe springen. Stellen Sie das Gerät auf stabilem Untergrund auf.

- ➔ Säubern Sie die Schallplatte.

- ➔ Spielen Sie keine verkratzten Schallplatten ab.

- ➔ Balancieren Sie den Tonarm aus und stellen Sie den Auflagedruck der Nadel erneut ein (Seite 39). Die Nadel und damit die Wiedergabe kann springen, wenn der Nadelaufgedruck niedriger eingestellt wurde als für das Tonabnehmersystem spezifiziert.

- ➔ Sofern die Nadelspitze verbogen ist, ersetzen Sie diese.

Das Gerät wird von dem angeschlossenen Computer nicht erkannt.

- ➔ Überprüfen Sie die unterstützten Betriebssysteme auf Seite 43. Die Funktion kann nur mit den hier genannten Betriebssystemen garantiert werden.

- ➔ Verbinden Sie das Gerät mit einem anderen USB-Port.

Spezifikationen

Plattenteller

Antriebssystem Riemenantrieb
Motor Gleichstrommotor
Drehgeschwindigkeiten 33 1/3 UpM, 45 UpM
Gleichlaufschwankungen 0,1% oder weniger
Rauschabstand 67 dB oder größer (A-gewichtet, 20 kHz LPF)
Plattenteller Aluminium-Druckguss
 30 cm Durchmesser

Tonarm

Tonarmtyp Statisch ausbalancierter, S-förmiger Tonarm
Effektive Tonarmlänge 223 mm
Einstellbereich für Nadel-Auflagedruck 0 bis 5 g
Zulässiges Tonabnehmergewicht 3,0 bis 12 g
 14–23 g
	(inklusive Systemträger)

Tonabnehmersystem

Typ VM (entspricht MM)
Ausgangsspannung 4,0 mV (1 kHz, 5 cm/s)
Auflagedruck 1,8–2,2 g (empfohlen: 2,0 g)
Tonabnehmergewicht 6,1 g
Gesamtgewicht Systemträger 11 g (inkl. Schrauben, Muttern und Kabeln)

- Die Notwendigkeit zum Austausch der Nadel hängt von den jeweiligen Einsatzbedingungen: Wir empfehlen einen Austausch nach etwa 300 Stunden.

- In diesem Gerät ist ein Audio-Technica AT-VM95E VM-Tonabnehmer installiert.
(Der Träger der Ersatznadel für den vorinstallierten Tonabnehmer ist grün.)

Anmerkung: VM-Tonabnehmersysteme haben dieselben Eigenschaften wie MM-Systeme.

- Ersatznadel-Modell: Audio-Technica AT-VMN95E

Ausgangsspannung

PHONO EQ THRU 4,0 mV (1 kHz, 5 cm/s)
PHONO EQ ON 224 mV (–13 dBV)
Anschlüsse Cinch

USB-Anschluss

Der USB-Anschluss kann über den USB-Bus des Computers mit Spannung versorgt werden (Full Speed) ... USB-Anschluss Typ B
USB-Bus-Spannungsversorgung 5 V, 500 mA
Abtastfrequenz

8 kHz, 11,025 kHz, 16 kHz, 22,05 kHz, 32 kHz, 44,1 kHz, 48 kHz
Quantisierungswortbreite 16 Bit

Allgemein

Spannungsversorgung Netzteil

Eingang Wechselstrom 100 bis 240 Volt, 50/60 Hz
Ausgang Gleichstrom 12 Volt, 500 mA

Leistungsaufnahme

Standby 0,5 W oder weniger
On (33, 45) 2,0 W oder weniger

Gewicht 5,0 kg

Betriebstemperatur 5 bis 35° C

Abmessungen (B × H × T, inkl. Überständen)

Bei geschlossener Staubabdeckung 420 × 117 × 356 mm

Bei geöffneter Staubabdeckung 420 × 381 × 402 mm

Bei entfernter Staubabdeckung 420 × 102 × 356 mm

- Alle Leistungsdaten wurden bei 20° C ermittelt.

Lieferumfang

Tellerauflage aus Filz × 1

45er/Single-Adapter × 1

Gegengewicht × 1

Systemträger × 1

Audio-Technica VM Stereo-Tonabnehmersystem (AT-VM95E,
Doppelmagnet) vorinstalliert

Plattenteller × 1

Staubabdeckung × 1

Scharniergelenke für Staubabdeckung × 2

Cinch-Audiokabel mit Masseanschluss × 1

Netzteil (GPE053A-V120050) × 1

Bedienungsanleitung (dieses Dokument) × 1

- Die Garantiebestimmungen finden Sie auf Seite 71.

- Spezifikationen und Design können ohne vorherige Ankündigung geändert werden.

- Gewicht und Abmessungen sind Näherungswerte.

- Alle Abbildungen in dieser Bedienungsanleitung können geringfügig von den Produktionsmodellen abweichen.

CAUTION

RISK OF ELECTRIC SHOCK

DO NOT OPEN

CAUTELA: PER RIDURRE IL RISCHIO DI SCOSSE ELETTRICHE, NON RIMUOVERE IL COPERCHIO (O IL RETRO). NON CI SONO PARTI RIPARABILI ALL'INTERNO DESTINATE ALL'UTENTE. PER LE RIPARAZIONI RIVOLGERSI SOLO A PERSONALE QUALIFICATO.

Il simbolo di un fulmine appuntito dentro un triangolo equilatero avverte l'utente della presenza di "tensioni pericolose" non isolate all'interno del contenitore del prodotto che possono essere di intensità sufficiente per costituire un rischio di scossa elettrica alle persone.



Il punto esclamativo all'interno di un triangolo equilatero avverte l'utente della presenza di importanti istruzioni operative e di manutenzione nella documentazione che accompagna l'apparecchio.



AVVERTENZA: PER PREVENIRE IL PERICOLO DI INCENDI O DI FOLGORAZIONE, NON ESPORRE QUESTO APPARATO ALLA PIOGGIA O ALL'UMIDITÀ.

CAUTELA

- NON RIMUOVERE IL COPERCHIO O L'INVOLUCRO ESTERNO PER ESPORRE LE PARTI ELETTRICHE. ALL'INTERNO NON CI SONO PARTI RIPARABILI DALL'UTENTE.
- SE SI VERIFICANO PROBLEMI CON QUESTO PRODOTTO, CONTATTARE IL NEGOZIO DOVE È STATO ACQUISTATO L'APPARECCHIO PER UNA RIPARAZIONE. NON USARE IL PRODOTTO FINO A CHE NON SIA STATO RIPARATO.
- L'USO DI CONTROLLI O REGOLAZIONI O L'ESECUZIONE DI PROCEDURE DIVERSE DA QUELLE SPECIFICATE QUI POTREBBERO PROVOCARE PERICOLOSE ESPOSIZIONI A RADIAZIONI.

- 1) Leggere le seguenti istruzioni.
- 2) Conservare queste istruzioni.
- 3) Prestare attenzione agli avvertimenti.
- 4) Seguire tutte le istruzioni.
- 5) Non usare l'apparecchio vicino all'acqua.
- 6) Pulire solo con un panno asciutto.
- 7) Non bloccare le aperture per la ventilazione. Installare secondo le istruzioni del costruttore.

- 8) Non installare l'apparecchio vicino a fonti di calore come radiatori, regolatori di calore, stufe o altri apparecchi che producono calore (inclusi gli amplificatori).
- 9) Non eliminare la spina polarizzata di sicurezza o la spina di messa a terra. La spina polarizzata ha due lame, una più larga dell'altra. Una spina di messa a terra ha due lame e una terza punta di messa terra. La lama larga o la terza punta sono fornite per la vostra sicurezza. Se la spina fornita non è adatta al tipo di presa, consultate un elettricista per sostituire la presa obsoleta.
- 10) Non calpestare o stratonare il cordone di alimentazione, in modo particolare vicino alla spina e alla presa a cui è collegato l'apparecchio e dal punto in cui esce dall'apparecchio.
- 11) Usare solamente attacchi/accessori specificati dal costruttore.

- 12) Usare solo carrello, supporto, treppiede, mensola o tavola specificata dal costruttore o venduto insieme all'apparecchio. Quando viene usato un carrello, prestare attenzione quando si sposta la combinazione carrello/apparato per evitare cadute da sopra.
- 13) Scollegare questo apparato durante temporali o quando non viene utilizzato per lunghi periodi di tempo.
- 14) Rivolgersi solo a personale qualificato. La riparazione è richiesta quando l'apparecchio è stato danneggiato in qualunque modo, come nel caso che il cordone dell'alimentazione o la spina siano stati danneggiati, l'apparecchio sia stato esposto a pioggia o umidità, non funzioni correttamente o sia stato lasciato cadere.



- Questo apparecchio consuma una quantità di corrente elettrica irrilevante dalla presa di rete mentre il suo interruttore POWER o STANDBY/ON non è in posizione ON.
- La presa di rete è utilizzata come dispositivo di sconnessione; il quale dovrebbe restare sempre operabile.
- Si deve usare cautela quando si usano gli auricolari o le cuffie con il prodotto, perché un eccesso di pressione sonora (volume) negli auricolari o nelle cuffie può causare la perdita dell'udito.

CAUTELA

- Non esporre questo apparecchio a gocce o schizzi.
- Non appoggiare alcun contenitore, come un vaso, pieno d'acqua sopra l'apparecchio.
- Non installare questo apparecchio in spazi ristretti come una libreria o ambienti simili.
- Questo apparecchio dovrebbe essere collocato sufficientemente vicino alla presa AC in modo da poter facilmente afferrare la spina del cordone di alimentazione in qualsiasi momento.

Modello per l'Europa



Questo prodotto è conforme alla richiesta delle direttive europee e agli altri regolamenti della commissione.

Per gli utenti europei

Smaltimento delle apparecchiature elettriche ed elettroniche e di batterie e/o accumulatori

- a) Tutte le apparecchiature elettriche ed elettroniche devono essere smaltite separatamente dai rifiuti urbani mediante impianti di raccolta designati dal governo o dalle autorità locali.
- b) Il corretto smaltimento di apparecchiature elettroniche/elettriche e di batterie/accumulatori, contribuisce a risparmiare preziose risorse ed evitare potenziali effetti negativi sulla salute umana e sull'ambiente.
- c) Lo smaltimento non corretto di apparecchiature elettroniche/elettriche e di batterie/accumulatori può avere gravi conseguenze per l'ambiente e la salute umana a causa della presenza di sostanze pericolose nelle apparecchiature.
- d) Il simbolo RAEE (Rifiuti Apparecchiature Elettriche ed Elettroniche), che mostra un bidone con ruote barrato, indica che le apparecchiature elettriche/elettroniche e le batterie/accumulatori devono essere raccolti e smaltiti separatamente dai rifiuti domestici.

Pb, Hg, Cd

Se una batteria o accumulatore contiene più dei valori specificati di piombo (Pb), mercurio (Hg) e/o cadmio (Cd) come definito nella direttiva sulle batterie (2006/66/CE, 2013/56/UE), i simboli chimici per quegli elementi sarà indicato sotto al simbolo RAEE.
- e) I centri di raccolta sono a disposizione degli utenti finali. Per informazioni più dettagliate circa lo smaltimento delle vecchie apparecchiature elettroniche/elettriche e dei rifiuti di batterie/accumulatori, si prega di contattare il comune, il servizio di smaltimento rifiuti o il negozio dove è stato acquistato l'apparecchio.

Grazie per aver scelto TEAC. Leggere attentamente questo manuale per ottenere le migliori prestazioni da questo apparecchio. Dopo averlo letto, si consiglia di conservarlo in un luogo sicuro per riferimenti futuri.

IMPORTANTI ISTRUZIONI PER LA SICUREZZA.....	45
Prima dell'uso.....	46
Preparazione del giradischi.....	46
Note sulle puntine.....	47
Collegamenti.....	48
Nomi e funzioni delle parti.....	48
Coperchio antipolvere.....	49
Sostituzione della cartuccia.....	49
Maneggiare i dischi.....	50
Operazioni di base.....	50
Registrazione con un computer.....	51
Risoluzione dei problemi.....	52
Specifiche.....	52

Prima dell'uso

Accessori inclusi

Controllare che la confezione comprenda tutti gli accessori in dotazione indicati di seguito. Si prega di contattare il negozio dove è stata acquistata l'unità se uno qualsiasi di questi accessori è mancante o è stato danneggiato durante il trasporto.

- Tappeto di feltro × 1
- Adattatore 45 giri × 1
- Contrappeso × 1
- Conchiglia × 1
 - Cartuccia Audio-Technica VM Type (doppio magnete) stereo (AT-VM95E) preinstallata
- Piatto × 1
- Coperchio antipolvere × 1
- Cerniere coperchio antipolvere × 2
- Cavo audio RCA con terminale di massa × 1
- Adattatore per corrente alternata (GPE053A-V120050) × 1
- Manuale di istruzioni (questo documento) × 1
- Per informazioni sulla garanzia, consultare la pagina 71.

Precauzioni per l'uso

- Non collocare alcun oggetto sul coperchio antipolvere. Gli oggetti sul coperchio potrebbero causare disturbi a causa di vibrazioni o cadere, soprattutto durante la riproduzione.
- Evitare di collocare l'unità alla luce solare diretta, vicino a una fonte di calore o in altre condizioni simili. Non collocare l'unità sopra un amplificatore o altri dispositivi che possono generare calore superiore alla temperatura di funzionamento di questa unità. Ciò potrebbe causare scolorimento, deformazione o malfunzionamenti.
- Poiché l'unità potrebbe divenire calda durante il funzionamento, lasciare sempre uno spazio sufficiente intorno per la ventilazione. Quando si installa questa unità, lasciare un po' di spazio (almeno 20 cm) dagli altri dispositivi e le pareti per consentire una buona dissipazione del calore. Quando si colloca in un rack, per esempio, lasciare almeno 35 cm sopra e 10 cm dietro. Il mancato rispetto di queste precauzioni potrebbe causare un surriscaldamento interno e provocare incendi.
- NON SPOSTARE L'unità DURANTE LA RIPRODUZIONE. Durante la riproduzione, il disco ruota. Non sollevare o spostare l'unità durante la riproduzione. Ciò potrebbe danneggiare il disco, la puntina, la cartuccia o l'unità.
- Rimuovere sempre il disco prima di trasferirsi o spostare l'unità. Spostare l'unità con un disco sul piatto girevole potrebbe danneggiare il disco, la puntina e la cartuccia o potrebbe causare malfunzionamenti.

- Il voltaggio fornito all'unità deve corrispondere alla tensione indicata sul pannello posteriore. Se si è in dubbio riguardo a ciò, consultare un elettricista.

Manutenzione

Se la superficie dell'unità si sporca, pulirla con un panno morbido o utilizzare sapone liquido neutro diluito. Lasciare asciugare completamente la superficie dell'unità prima di utilizzarla.

- Non utilizzare panni chimici, solventi o sostanze simili perché potrebbero danneggiare la superficie dell'unità.

CAUTELA

Per motivi di sicurezza, scollegare il cavo di alimentazione dalla presa di corrente prima di pulirla.

Uso del sito TEAC Global

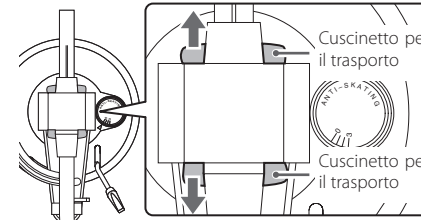
È possibile scaricare gli aggiornamenti per questa unità dal sito TEAC Global Site: <http://teac-global.com/>

Nella sezione TEAC Download, fare clic sulla linguetta desiderata per aprire la pagina del sito Download per tale lingua.

Preparazione del giradischi

Tenere l'unità in standby durante l'installazione (F a pagina 48).

1 I cuscinetti sono attaccati al braccetto per l'uso durante il trasporto. Rimuoverli nella direzione delle frecce.



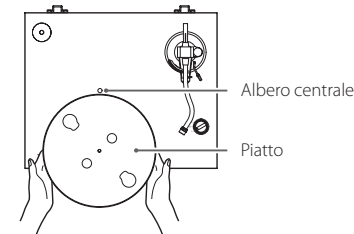
2 Mettere l'unità su una superficie piana.

Posizionarla su una superficie piana, in modo che il disco possa venire letto in modo accurato.

3 Installare il piatto giradischi.

Allineare il piatto giradischi con l'albero centrale e installarlo.

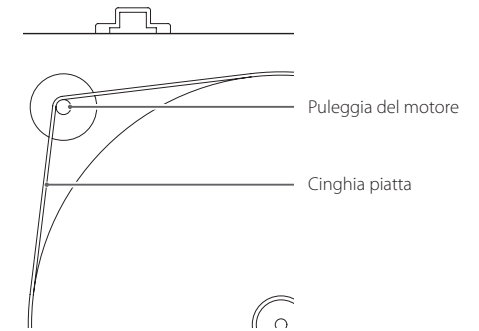
- Posizionare il lato maggiore del foro verso il basso.



4 Avvolgere la cinghia attorno alla puleggia del motore.

Avvolgere la cinghia piatta inclusa intorno all'esterno del piatto girevole, quindi avvolgere la cinghia attorno alla puleggia del motore.

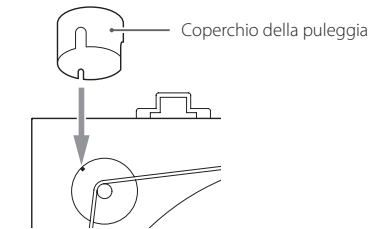
- Fare attenzione a non torcere la gomma.
- Ruotare più volte il giradischi (piatto) per assicurarsi che la cinghia piatta sia ben posizionata.



5 Installare il coperchio della puleggia.

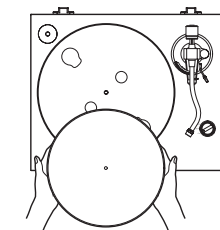
Allineare il ritaglio nel coperchio della puleggia con la piccola protuberanza sulla puleggia, come mostrato nella figura.

- Se questi non sono allineati, il coperchio della puleggia si piegherà.



6 Posizionare il tappeto di feltro sul giradischi.

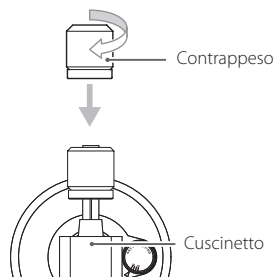
Posizionare il tappeto di feltro incluso con il giradischi prima dell'uso.



7 Installare il contrappeso.

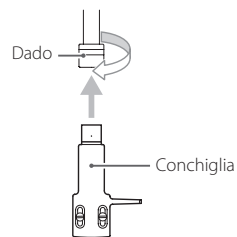
Posizionare il contrappeso all'estremità del braccetto e ruotarlo delicatamente in senso orario per stringerlo.

- Quando il contrappeso può essere spostato verso il cuscinetto, l'installazione è completa.

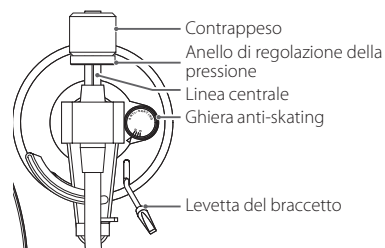


8 Installare la conchiglia.

Inserire la conchiglia alla fine del braccetto e ruotare il dado per fissarla al suo posto.

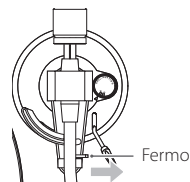


Bilanciare il braccetto e regolare la pressione della puntina



1 Impostare la ghiera anti-skating a zero.

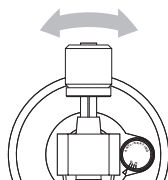
2 Spostare il fermo del braccetto verso destra per rilasciare il braccetto.



3 Sollevare la levetta del braccetto e spostare leggermente il braccetto verso sinistra.

4 Abbassare la levetta del braccetto.

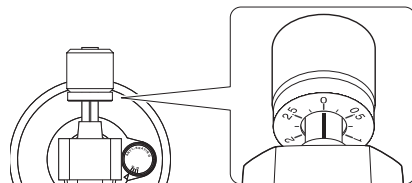
5 Ruotare il contrappeso e regolarlo in modo che il braccetto rimanga bilanciato in sospensione.



- Rimuovere il cappuccio di protezione dalla puntina prima di eseguire le regolazioni.
- Fare attenzione a non lasciare che la puntina tocchi l'unità.

6 Riportare il braccetto alla sua posizione originale e spostare il fermo del braccetto verso sinistra per bloccarlo.

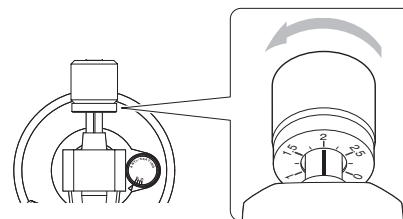
7 Ruotare l'anello di regolazione della pressione della puntina in modo che la linea centrale sia allineata con lo 0 (zero) della scala.



- Ruotare solo l'anello. Fare attenzione a non ruotare anche il contrappeso.

8 Ruotare il contrappeso in modo che la pressione della puntina indicata sulla scala di regolazione corrisponda al peso specificato per il tipo di cartuccia.

- Il peso da impostare per la puntina della cartuccia in dotazione è di 2,0 g. Quindi, ruotare su 2,0 della scala del contrappeso quando si utilizza la cartuccia in dotazione.



- Ruotarla a destra da 0 in direzione di 0.5 e 1.0.

9 Regolare il selettore di anti-skating.

Iniziare con un'impostazione a 2,0 e regolare l'anti-skating durante la riproduzione del disco (pagina 50) nella posizione in cui il bilanciamento sinistro/destro del volume risulti centrale.



ATTENZIONE

A seconda delle condizioni di un disco, potrebbero verificarsi uno sbilanciamento di volume tra il canale sinistro e destro e salti.

In questi casi, provare a eseguire le seguenti correzioni.

Se il suono salta indietro (la puntina salta indietro) ridurre leggermente la regolazione anti-skating.

Se il suono salta in avanti (la puntina salta in avanti) aumentare leggermente la regolazione anti-skating.

Note sulle puntine

- Se la puntina viene piegata (danneggiata), non sarà più in grado di tracciare con precisione i solchi. Dal momento che una puntina piegata potrebbe anche danneggiare i dischi e causare malfunzionamenti, bisogna maneggiare le puntine con cura.
- Usare sempre un pulisci puntine disponibile in commercio per la pulizia. Usare altri metodi per la pulizia potrebbe danneggiare la puntina.

Sostituzione della puntina

Se la puntina si usura, non solo peggiora la qualità del suono, ma potrebbe anche danneggiare il disco. Dopo circa 300 ore di riproduzione, sostituire la puntina con una specifica.

Si prega di utilizzare una puntina di ricambio AT-VMN95E Audio-Technica.

- Una cartuccia di tipo Audio-Technica AT-VM95E VM è installata in questa unità. (Il corpo dello stilo sostitutivo della cartuccia installata è verde).

NOTA

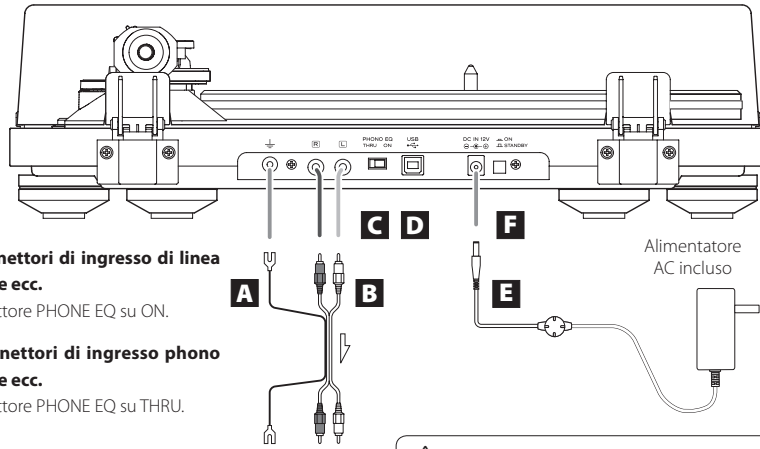
Le cartucce tipo VM hanno le stesse caratteristiche delle cartucce di tipo MM.

- Seguire le istruzioni per la sostituzione nel manuale della puntina di ricambio.

ATTENZIONE

- Poiché potrebbero verificarsi forti rumori, mettere l'unità in standby prima di cambiare la puntina.
- Fare attenzione a non ferire le dita o danneggiare l'apparecchiatura.
- Non permettere a bambini piccoli di ingerire accidentalmente una puntina.
- Tenere presente che le puntine piegate, per esempio, a causa di insufficiente attenzione del cliente o altre cause esterne non sono coperte dalla garanzia.

Collegamenti



Collegare ai connettori di ingresso di linea dell'amplificatore ecc.

Impostare l'interruttore PHONO EQ su ON.

Collegare ai connettori di ingresso phono dell'amplificatore ecc.

Impostare l'interruttore PHONO EQ su THRU.

Amplificatore, sistema di altoparlanti con amplificatore integrato, dispositivo di registrazione, ecc.

⚠ Precauzioni durante i collegamenti

- Collegare l'unità solo dopo aver effettuato tutti gli altri i collegamenti.
- Leggere attentamente i manuali dei dispositivi che si vogliono collegare e seguire le relative istruzioni quando si effettuano i collegamenti.

A Connettore a massa (⏏)

Utilizzare il filo di massa del cavo audio RCA in dotazione per collegare questo connettore al connettore di massa dell'amplificatore.

- Questo NON è un connettore di messa a terra elettrica.

Se il rumore dagli altoparlanti è notevole

Se collegando il cavo di massa del cavo audio al terminale di massa di questa unità il rumore non diminuisce, scollegare il filo di massa e controllare di nuovo l'audio. Scegliere la combinazione (cavo connesso/disconnesso) che offre un risultato migliore.

B Connettori di uscita audio analogica (L/R)

Queste sono uscite audio analogiche.

L'impostazione del commutatore PHONO EQ cambia il tipo di segnale in uscita.

Utilizzare il cavo audio incluso (o quelli disponibili in commercio) per collegare altri dispositivi ai connettori di uscita di questa unità.

C PHONO EQ (interruttore di impostazione di uscita audio)

ON

I segnali amplificati dall'equalizzatore phono incorporato vengono emessi dai connettori di uscita audio analogici (L/R).

THRU

Il segnale della cartuccia MC o MM viene emesso direttamente attraverso i connettori di uscita audio analogica (L/R).

Collegare a un dispositivo con ingressi phono, come ad esempio un preamplificatore con equalizzazione phono o un amplificatore con connettori di ingresso phono.

- Al momento della spedizione dalla fabbrica, questo è impostato su ON.
- Attivare questa funzione (ON) se un dispositivo è collegato alla porta USB.

CAUTELA

Quando è impostato su ON, se viene collegato agli ingressi PHONO di un amplificatore, per esempio, l'uscita dagli altoparlanti o dalle cuffie sarà molto forte, per cui potrebbe danneggiare le apparecchiature o l'udito.

D Porta USB (USB tipo B)

Il suono del disco viene convertito in digitale (risoluzione fino a 48 kHz/16 bit) e mandato in uscita. La registrazione su un computer è possibile collegando questa a una porta USB del computer tramite un cavo USB (pagina 51).

E Connettore di ingresso DC

Dopo aver completato tutti gli altri collegamenti, collegare l'alimentatore AC incluso a questa presa.

Verificare che la spina di alimentazione dell'alimentatore AC sia inserita in una presa di corrente.

- Non utilizzare un alimentatore AC diverso da quello in dotazione.

⚠ **Assicurarsi di collegare il cavo di alimentazione a una presa AC che fornisca la giusta tensione. Il collegamento a una presa che fornisce una tensione non corretta può provocare incendi o scosse elettriche.**

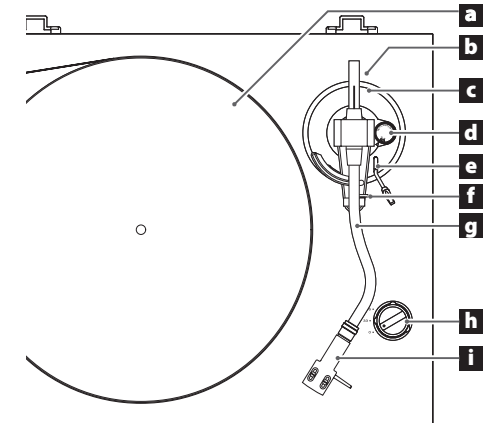
⚠ **Tenere la spina quando la si collega o scollega da una presa. Non tirare o stratonare il cavo di alimentazione.**

⚠ **Scollegare il cavo di alimentazione dalla presa di corrente quando non si prevede di utilizzare l'unità per un lungo periodo di tempo.**

F Pulsante STANDBY/ON

Premere il pulsante STANDBY/ON per accendere l'unità o metterla in standby.

Nomi e funzioni delle parti



a Piatto del giradischi

Posizionare il disco centrandolo sul piatto.

b Contrappeso

c Anello per regolare il peso sulla puntina

d Ghiera anti-skating

e Levetta del braccetto

Utilizzare per alzare e abbassare il braccetto.

Invece di usare un dito, si consiglia di utilizzare la levetta per alzare e abbassare il braccetto onde evitare di danneggiare i dischi e la puntina.

f Fermo per il braccetto

Questo è il supporto per il braccetto nella posizione di riposo. Spostare il fermo del braccetto verso destra per rilasciare il braccetto prima di riprodurre un disco.

g Braccetto

h Manopola di regolazione della velocità di rotazione

Selezionare la velocità di rotazione indicata sul disco da riprodurre.

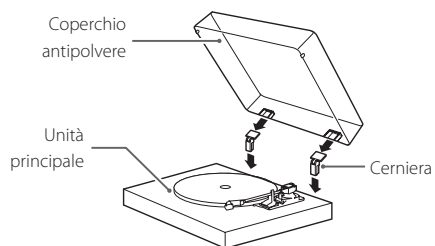
La rotazione si fermerà quando questa è impostata a 0.

i Conchiglia

Questa è di tipo universale e permette di sostituire la cartuccia facilmente.

Coperchio antipolvere

Montaggio del coperchio antipolvere



1 Inserire completamente le cerniere nei supporti alle estremità destra e sinistra della parte posteriore dell'unità principale.

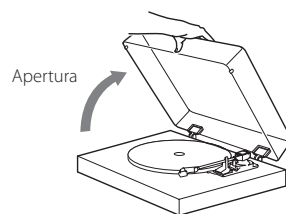
2 Allineare la parte superiore delle cerniere con i supporti del coperchio antipolvere e inserirle.

- Chiudere il coperchio antipolvere durante la riproduzione. Dato che questo previene contatti esterni accidentali e scherma la pressione sonora esterna, è meno probabile che si verifichino disturbi durante la riproduzione.
- Non aprire o chiudere il coperchio quando un disco è in riproduzione. In tal modo si evita, per esempio, che si verifichino salti della puntina sul disco.
- Tenere il coperchio chiuso per quanto possibile per proteggere il disco dalla polvere.

Rimozione del coperchio antipolvere

Tenere entrambi i bordi del coperchio antipolvere e sollevarlo lentamente per rimuoverlo insieme alle cerniere dall'unità. Quindi, rimuovere le cerniere dal coperchio antipolvere.

Apertura e chiusura del coperchio antipolvere



Apertura

Tenere il bordo anteriore del coperchio antipolvere e sollevarlo delicatamente fino al suo completo arresto. Il coperchio antipolvere rimarrà aperto in questa posizione.

Chiusura

Abbassare delicatamente il coperchio antipolvere fino alla sua completa chiusura.

⚠ Fare attenzione alle dita durante l'apertura e la chiusura del coperchio antipolvere.

Sostituzione della cartuccia

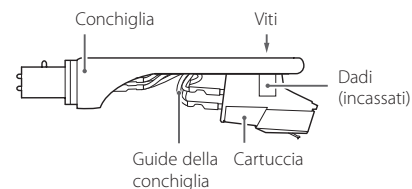
Per cambiare la cartuccia, rimuovere prima la conchiglia dal braccetto.

- Una cartuccia di tipo Audio-Technica AT-VM95E VM è installata in questa unità.

NOTA

Le cartucce tipo VM hanno le stesse caratteristiche delle cartucce di tipo MM.

- Si consiglia di mantenere il cappuccio di protezione della puntina durante la sostituzione.

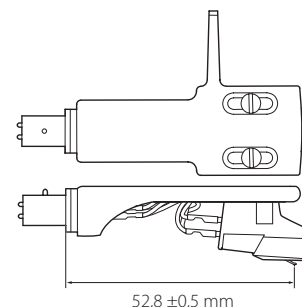


1 Scollegare i terminali della conchiglia dalla cartuccia.

2 Allentare le viti e rimuovere la cartuccia.

3 Fissare la nuova cartuccia e serrare le viti.

Vedere la figura seguente per la posizione delle viti quando sono fissate.



4 Collegare i terminali della conchiglia alla cartuccia.

- I segnali e i colori dei fili della conchiglia sono riportati di seguito.

Segnale	Colore
Canale sinistro +	Bianco
Canale sinistro -	Blu
Canale destro +	Rosso
Canale destro -	Verde

5 Bilanciare il braccetto e regolare la pressione della puntina.

Seguire le procedure descritte in "Bilanciare il braccetto e regolare la pressione della puntina" a pagina 47.

Precauzioni quando si sostituisce la cartuccia

Il peso delle cartucce che possono essere utilizzate con questa unità è limitato. Vedere "Braccetto" a pagina 52. Controllare anche il peso accettabile della cartuccia (con la conchiglia inclusa) mostrato nella stessa pagina quando si cambia la conchiglia.

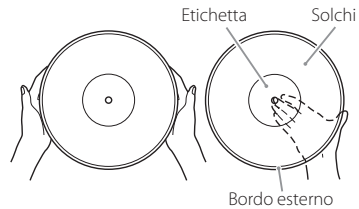
Utilizzo delle cartucce MC

L'amplificatore dell'equalizzatore incorporato in questa unità è per cartucce MM. Non supporta le cartucce MC. Per utilizzare una cartuccia MC, collegare questa unità ad un amplificatore di equalizzazione phono che supporti le cartucce MC o un amplificatore con un connettore di ingresso phono MC, per esempio. Quindi, impostare l'interruttore di impostazione PHONO EQ (uscita audio) di questa unità su THRU.

Maneggiare i dischi

Come tenere i dischi

Quando si tiene un disco o lo si rimuove dalla custodia, evitare di toccare i solchi tenendolo per l'etichetta e il bordo con una mano o tenendolo per i bordi con entrambe le mani.



Pulizia

- Le impronte digitali e la polvere su un disco possono causare rumore e salti, così come danneggiare il disco stesso e la puntina. Usare un pulisci-dischi reperibile in commercio per pulire i dischi. Non usare solventi o qualcosa di diverso da un pulisci-dischi. Tali sostanze potrebbero danneggiare la superficie del disco.
- Quando si utilizza un pulisci-dischi, pulire la superficie del disco con un movimento circolare, seguendo i solchi.



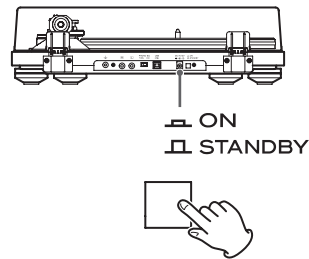
Precauzioni per l'uso

- Non lasciare i dischi in luoghi esposti alla luce solare diretta o molto caldi o molto umidi. Lasciare un disco in tali condizioni per lungo tempo può causare deformazioni, crescita di muffe o altri danni.
- Non impilare più dischi o collocare oggetti pesanti su di loro. Non lasciare i dischi in posizione angolata per lunghi periodi di tempo. Ciò potrebbe causare deformazioni o altri danni.
- Non lasciare che oggetti duri vengano in contatto direttamente con i solchi. Ciò potrebbe graffiarli.
- Dopo aver terminato la riproduzione di un disco, rimetterlo sempre nella sua custodia per una corretta conservazione. Lasciare un disco non protetto potrebbe causare deformazioni o graffi.
- Non utilizzare dischi con crepe.

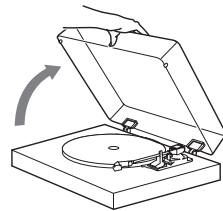
Riproduzione di dischi

- Rimuovere il cappuccio protettivo dalla puntina prima di utilizzare il piatto girevole.

1 Premere il pulsante **STANDBY/ON** sul retro dell'unità per accenderla.



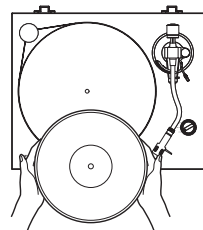
2 Aprire lentamente il coperchio antipolvere.



⚠ Fare attenzione alle dita, per esempio, durante l'apertura e la chiusura del coperchio antipolvere.

3 Posizionare un disco sul piatto.

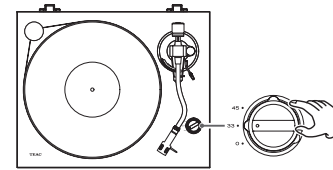
Durante la riproduzione di un 45 giri con il foro grande, utilizzare l'adattatore incluso.



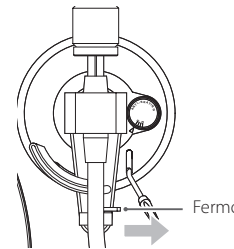
Operazioni di base

4 Selezionare la velocità di rotazione indicata sul disco.

La velocità di rotazione può essere impostata a 33 1/3 o 45 RPM.

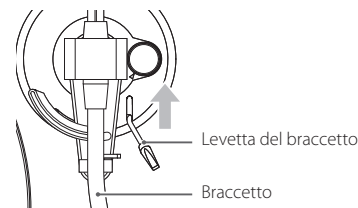


5 Spostare il fermo del braccetto verso destra per rilasciare il braccetto.



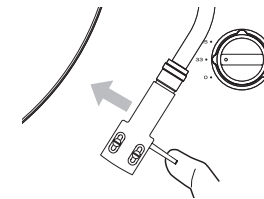
6 Sollevare la levetta del braccetto.

Questo solleva il braccetto in modo che lo stilo non tocchi il disco anche se il braccetto viene spostato su di esso.



- È possibile lasciare la levetta abbassata e spostare manualmente il braccetto sopra il disco e poi abbassare lentamente il braccetto per avviare la riproduzione.

7 Spostare il braccetto sul brano da cui si desidera avviare la riproduzione.



8 Abbassare la levetta del braccetto.

Il braccetto si abbassa lentamente finché la puntina non tocca il disco e inizia la riproduzione.

- Chiudere il coperchio antipolvere durante la riproduzione. Dato che questo previene contatti esterni accidentali e scherma la pressione sonora esterna, è meno probabile che si verifichino disturbi durante la riproduzione.

⚠ Non collocare nulla sopra il coperchio antipolvere.

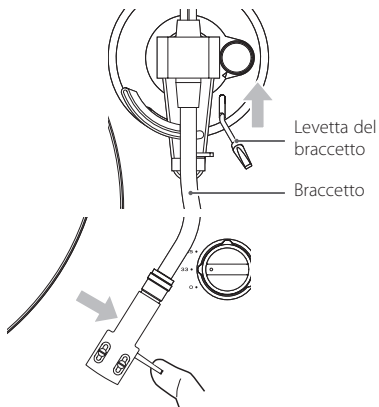
ATTENZIONE

- Durante la riproduzione, non toccare il braccetto o il disco. In caso contrario, si potrebbe danneggiare la puntina o graffiare il disco.
- Non interrompere con una mano la rotazione del piatto durante la riproduzione. Dal momento che questo prodotto non è un giradischi progettato per i DJ (trazione diretta), fare qualcosa di simile potrebbe causare malfunzionamenti.

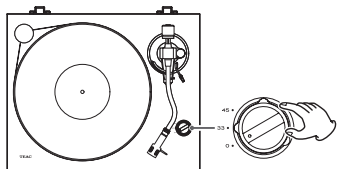
Durante la riproduzione di dischi, potrebbe verificarsi un feedback se il volume è troppo alto. Se questo accade, abbassare il volume dell'amplificatore.

Quando la riproduzione termina

- 1 Sollevare la levetta del braccetto per alzare la puntina dal disco e riportare il braccetto nella posizione di riposo.



- 2 Ruotare la manopola di regolazione della velocità di rotazione a 0 per fermare il giradischi.



Il suono di un disco può essere registrato in digitale su un computer utilizzando un cavo USB disponibile in commercio per collegare l'unità a una porta USB del computer.

- La porta USB di questa unità è per il collegamento a un computer.

Sistemi operativi supportati

I computer che eseguono i seguenti sistemi operativi possono essere collegati tramite USB a questa unità (da aprile 2019).

Windows

- Windows 7 (32 bit, 64 bit)
- Windows 8 (32 bit, 64 bit)
- Windows 8.1 (32 bit, 64 bit)
- Windows 10 (32 bit, 64 bit)

Mac

- OS X Lion (10.7)
- OS X Mountain Lion (10.8)
- OS X Mavericks (10.9)
- OS X Yosemite (10.10)
- OS X El Capitan (10.11)
- macOS Sierra (10.12)
- macOS High Sierra (10.13)
- macOS Mojave (10.14)

Il funzionamento con sistemi operativi diversi da questi non è garantito.

- Questa unità funzionerà con il driver standard di Windows o Mac. Quindi non è necessario installare un driver specifico.

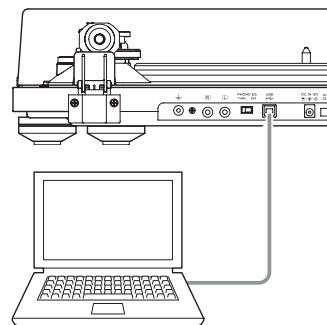
Registrazione con un computer

Collegamento a un computer

- 1 Accendere il computer.

Verificare che il sistema operativo venga avviato correttamente.

- 2 Usare il cavo USB per collegare il computer e questa unità.



- Utilizzare un cavo USB disponibile in commercio dotato di anello in ferrite.

- 3 Premere il pulsante STANDBY/ON di questa unità per accenderla.

Dopo il collegamento, il computer rileverà automaticamente la porta USB di questa unità e la identificherà come "USB Audio CODEC".

- Per registrare l'audio da questo giradischi utilizzando un computer, è necessario installare un software per la registrazione audio nel computer. È possibile acquistare separatamente il software di registrazione audio preferito o scaricare da Internet il software gratuito come, per esempio, Audacity (<http://www.audacityteam.org>). Il software gratuito Audacity non è supportato da TEAC.
- Quando si collega a un computer tramite USB e si effettua una registrazione audio, non eseguire una delle seguenti operazioni. Ciò potrebbe causare malfunzionamenti del computer. Chiudere sempre il software di registrazione nel computer prima di procedere con queste operazioni.
 - Scollegare il cavo USB
 - Mettere l'unità in standby

Impostazioni del computer

L'esempio seguente spiega le impostazioni per l'utilizzo con Windows 10.

- 1 Dal menu Start, selezionare Sistema Windows, quindi Pannello di controllo.

- 2 Fare clic su "Audio".

Se il pannello di controllo "Visualizza per" è impostato su "Categoria", selezionare "Hardware e suoni". Quindi selezionare "Audio".

- 3 Fare clic su "Registrazione" e verificare che "USB Audio CODEC" sia impostato come "Dispositivo predefinito".

- 4 Selezionare "USB Audio CODEC" e fare clic sul pulsante Proprietà.

- 5 Fare clic su "Avanzate".

- 6 Dal menu a discesa "Formato predefinito" selezionare la qualità di registrazione desiderata (formato).

SUGGERIMENTO

"canali: 2, 16 bit, 48000 Hz (qualità DVD)" offre un'alta qualità audio ma richiede anche più spazio per i file.

La registrazione con una frequenza di campionamento più bassa riduce la qualità dell'audio ma utilizza anche meno spazio per i file.

- 7 Fare clic su "OK".

Dopo aver effettuato le impostazioni di cui sopra, utilizzare il software di registrazione audio per registrare.

Risoluzione dei problemi

Se si sperimentano problemi con questa unità, si prega di controllare i seguenti punti prima di richiedere assistenza. Qualcosa di diverso potrebbe essere la causa del problema. Si prega di verificare che anche i dispositivi collegati vengano utilizzati correttamente.

Se l'unità persiste a non funzionare correttamente, contattare il rivenditore presso il quale è stata acquistata.

Assenza di alimentazione.

- ➔ Verificare che l'alimentatore sia collegato a una presa di corrente. Quindi, premere il pulsante STANDBY/ON per accendere l'unità (pagine 48 e 50).

Il giradischi non ruota.

- ➔ Premere il pulsante STANDBY/ON per accendere l'unità (pagine 48 e 50).
- ➔ Avvolgere la cinghia attorno alla puleggia del motore. (pagina 46).
- ➔ Regolare la manopola di regolazione della velocità di rotazione sulla velocità di rotazione indicata sul disco (pagina 50).

La velocità di rotazione del giradischi non è corretta.

- ➔ Verificare che la manopola di regolazione della velocità di rotazione sia impostata a 33 e che ruoti circa 100 volte in 3 minuti.

Il braccetto non scende neanche quando la levetta di sollevamento è abbassata.

- ➔ Bilanciare il braccetto e regolare la pressione della puntina (pagina 47).

Il suono è strano o si interrompe.

- ➔ Controllare i connettori collegati all'amplificatore e impostare l'interruttore di impostazione PHONO EQ (uscita audio) (pagina 48).

L'intonazione è errata.

- ➔ Selezionare la velocità di rotazione indicata sul disco (pagina 50).

Nessun suono.

- ➔ Quando si collegano le prese di uscita audio analogiche di questa unità alle prese di ingresso audio di un amplificatore o di un altro apparecchio, impostare l'interruttore PHONO EQ (impostazione di uscita audio) su ON (pagina 48).

La riproduzione non è possibile; c'è del rumore.

- ➔ Rimuovere il cappuccio protettivo dalla puntina prima di utilizzare il piatto girevole.

- ➔ Ricollegare i cavi audio RCA.
- ➔ Impronte digitali e polvere sul disco possono causare rumore e salti. Utilizzare un pulisci dischi disponibile in commercio per pulire i dischi (pagina 50).

- ➔ Pulire la puntina (pagina 47).

- ➔ Se la puntina è logora, sostituirla (pagina 47). La necessità di sostituire la puntina dipende dalle condizioni di utilizzo, ma è consigliabile sostituirla dopo circa 300 ore di utilizzo.

- ➔ Posizionare l'unità il più lontano possibile da televisori, forni a microonde e altri dispositivi che emettono onde elettromagnetiche.

- ➔ Collegare l'adattatore AC a una presa diversa.

Si verifica del rumore quando un disco è in riproduzione.

- ➔ Potrebbe verificarsi del rumore se la pressione sulla puntina è superiore al valore specificato sulla cartuccia. Regolare la pressione della puntina in modo che sia del valore specificato (pagina 47).

Il suono salta.

- ➔ Le vibrazioni causano salti. Collocare l'unità in un luogo stabile.
- ➔ Pulire il disco.
- ➔ Non utilizzare dischi graffiati.
- ➔ Bilanciare il braccetto e regolare la pressione della puntina (pagina 47). Se la pressione della puntina è inferiore al valore designato per la cartuccia, è più probabile che si verifichino salti.
- ➔ Se lo stilo è piegato, sostituirlo.

L'unità non viene riconosciuta dal computer collegato.

- ➔ Controllare i sistemi operativi supportati a pagina 51. Il funzionamento con sistemi operativi non supportati non è garantito.
- ➔ Collegarla a una porta USB diversa.

Specifiche

Giradischi

Sistema di trazione Trasmissione a cinghia
Motore Motore DC
Velocità di rotazione 33 1/3 rpm, 45 rpm
Wow & flutter 0,1% o meno
Rapporto SN 67 dB o superiore (pesato A, 20 kHz LPF)
Giradischi (piatto) Alluminio pressofuso diametro 30 cm

Braccetto

Tipo di braccetto Braccetto a forma di S bilanciato staticamente
Lunghezza effettiva del braccetto 223 mm
Campo di variazione di pressione della puntina 0–5 g
Peso della cartuccia accettato 3,0–12 g
14–23 g
(con la conchiglia inclusa)

Cartuccia

Tipo VM (equivalente MM)
Tensione di uscita 4,0 mV (1 kHz, 5 cm/s)
Pressione della puntina 1,8–2,2 g (raccomandati 2,0 g)
Peso della cartuccia 6,1 g
Peso della conchiglia inclusa 11 g (viti, dadi e fili compresi)

- La necessità di sostituire la puntina dipende dalle condizioni di utilizzo, ma è consigliabile sostituirla dopo circa 300 ore di utilizzo.
- Una cartuccia di tipo Audio-Technica AT-VM95E VM è installata in questa unità.
(Il corpo dello stilo sostitutivo della cartuccia installata è verde).
Nota: le cartucce tipo VM hanno le stesse caratteristiche delle cartucce di tipo MM.
- Modello della puntina di ricambio: Audio-Technica AT-VMN95E

Tensione di uscita

PHONO EQ THRU 4,0 mV (1 kHz, 5 cm/s)
PHONO EQ ON 224 mV (–13 dBV)
Connettori di uscita RCA

Porta USB

LA porta USB può ricevere alimentazione dal bus USB del computer (Full Speed) Connettore USB tipo B
Supporto di alimentazione bus USB 5 V, 500 mA
Frequenza di campionamento
8 kHz, 11.025 kHz, 16 kHz, 22.05 kHz, 32 kHz, 44.1 kHz, 48 kHz
Profondità di bit di quantizzazione 16 bit

Generali

Alimentazione AC
Ingresso AC 100 V – AC 240 V, 50/60 Hz
Uscita DC 12 V, 500 mA

Consumo
Standby 0,5 W o meno
On (33, 45) 2,0 W o meno

Peso 5,0 kg
Temperatura di esercizio da 5 °C a 35 °C
Dimensioni (L × A × P) (include le parti sporgenti)
Quando il coperchio antipolvere è chiuso
420 × 117 × 356 mm
Quando il coperchio antipolvere è aperto
420 × 381 × 402 mm
Quando il coperchio antipolvere è rimosso
420 × 102 × 356 mm

- Dati relativi al funzionamento a 20 °C.

Accessori in dotazione

Tappeto di feltro × 1
Adattatore 45 giri × 1
Contrappeso × 1
Conchiglia × 1
Cartuccia Audio-Technica VM Type (doppio magnete) stereo (AT-VM95E) preinstallata
Piatto × 1
Coperchio antipolvere × 1
Cerniere coperchio antipolvere × 2
Cavo audio RCA con terminale di massa × 1
Adattatore per corrente alternata (GPE053A-V120050) × 1
Manuale di istruzioni (questo documento) × 1

- Per informazioni sulla garanzia, consultare la pagina 71.

- Le specifiche e l'aspetto sono soggetti a modifiche senza preavviso.
- Peso e dimensioni sono approssimativi.
- Le illustrazioni in questo manuale potrebbero differire leggermente dai modelli di produzione.

CAUTION

**RISK OF ELECTRIC SHOCK
DO NOT OPEN**

LET OP: LET OP: VERWIJDER HET DEKSEL (OF DE ACHTERKANT) NIET OM EEN ELEKTRISCHE SCHOK TE VOORKOMEN. BEVAT GEEN ONDERDELEN WAAR GEBRUIKERS AAN KUNNEN WERKEN. LAAT ONDERHOUD OVER AAN BEVOEGD ONDERHOUDSPERSONEEL.

Het bliksemsymbool in de driehoek waarschuwt de gebruiker voor gevaarlijke ongeïsoleerde spanning in de behuizing die mogelijk hoog genoeg is om een elektrische schok te veroorzaken.

De gelijkzijdige driehoek met uitroepteken is bedoeld om de gebruiker te wijzen op belangrijke bedienings- of onderhoudsinstructies in de onderhoudshandleidingen voor dit apparaat.

WAARSCHUWING: STEL DEZE TOEPASSING NIET BLOOT AAN REGEN OF VOCHT OM HET GEVAAR OP VUUR OF ELEKTRISCHE SCHOKKEN TE VOORKOMEN.

LET OP

- Verwijder nooit de externe behuizing of kast om de elektronica bloot te leggen. Bevat geen onderdelen waar gebruikers aan kunnen werken.
 - Als u problemen ondervindt met dit product, neem dan contact op met de leverancier waar u het apparaat heeft gekocht voor een serviceverwijzing. Gebruik het product niet voordat het is gerepareerd.
 - Als de bedieningselementen, instellingen of prestaties van procedures anders worden gebruikt dan in deze handleiding beschreven, kan dit leiden tot gevaarlijke blootstelling aan straling.
- 1) Lees deze instructies.
 - 2) Bewaar deze instructies.
 - 3) Let op alle waarschuwingen.
 - 4) Volg alle instructies op.
 - 5) Gebruik dit apparaat niet in de buurt van water.
 - 6) Alleen reinigen met een droge doek.
 - 7) Blokkeer geen ventilatieopeningen. Installeren volgens de instructies van de fabrikant.
 - 8) Niet installeren naast warmtebronnen, zoals radiatoren, verwarmingsroosters, kachels of andere apparatuur (waaronder versterkers) die warmte produceren.

- 9) Omzeil de veiligheidsvoorzieningen van een gepolariseerde of geaarde stekker niet. In sommige landen worden gepolariseerde stekkers gebruikt. Een gepolariseerde stekker heeft twee verschillend gevormde polen, waardoor de stekker niet verkeerd kan worden ingestoken. Een geaarde stekker heeft naast de twee polen een randcontact of extra pin voor aarde. De twee verschillende polen of het aardcontact zijn voor uw veiligheid. Als de meegeleverde stekker niet in het stopcontact past, raadpleeg dan een elektricien om het stopcontact te vervangen.
- 10) Zorg dat er niet op het netsnoer kan worden getrapt, dat het kan worden bekneld of onder spanning kan komen te staan, vooral bij stekkers, contactdozen en het punt waar het snoer het apparaat verlaat.
- 11) Gebruik alleen verloopstukken of accessoires die door de fabrikant worden gespecificeerd.
- 12) Alleen gebruiken met de door de fabrikant gespecificeerde of bij het apparaat verkochte wagen, standaard, statief, beugel of tafel. Verplaats de wagen met het apparaat erop met beleid, om letsel door omvallen te voorkomen.
- 13) Maak de kabels van het apparaat los tijdens onweer of bij buitengebruikstelling voor langere tijd.
- 14) Laat al het onderhoud en reparaties over aan gekwalificeerd onderhoudspersoneel. Reparatie is vereist als het apparaat schade heeft opgelopen, bijvoorbeeld als het netsnoer of de stekker is beschadigd, als er vloeistof op is gemorst of als er voorwerpen op het apparaat zijn gevallen, als het apparaat is blootgesteld aan regen of vocht, niet normaal functioneert of is gevallen.
 - Ook uitgeschakeld neemt het apparaat een geringe stroom op wanneer de POWER of STANDBY/ON schakelaar niet op ON staat.
 - De stekker fungeert als hoofdschakelaar en dient altijd bereikbaar te zijn.
 - Wees altijd voorzichtig met het afspeelniveau bij oortelefoons of hoofdtelefoons in combinatie met dit product. Excessieve geluidsdruk (volume) van oortelefoons of hoofdtelefoon kan leiden tot gehoorverlies.



LET OP

- Stel dit apparaat niet bloot aan regen of spatten.
- Plaats geen met vloeistof gevulde voorwerpen zoals vazen op het apparaat.
- Plaats het apparaat niet in een afgesloten ruimte zoals een kast o.i.d.
- Plaats het apparaat dicht genoeg bij een stopcontact om snel de stekker uit te kunnen trekken in geval van nood.

Model voor Europa

CE Dit product voldoet aan de Europese richtlijnen en andere regelgeving van de Commissie.

Voor Europese Gebruikers

Verwerking van elektrische en elektronische apparatuur en batterijen en/of accu's

- a) Alle elektrische/elektronische apparatuur en lege batterijen/accu's dient te worden gescheiden van het normale huisvuil en te worden ingeleverd bij door de overheid daartoe aangewezen locaties.
- b) Door elektrische/elektronische apparatuur en lege batterijen en/of accu's op de juiste manier af te voeren, draagt u bij aan het juiste gebruik van grondstoffen en voorkomt u een negatief effect op ons milieu en de volksgezondheid.
- c) Onjuiste verwerking van gebruikte elektrische/elektronische apparatuur en batterijen/accu's kan het milieu en de volksgezondheid ernstig schaden door de aanwezigheid van gevaarlijke stoffen in de apparatuur.
- d) De symbolen voor afgedankte elektrische en elektronische apparatuur (AEEA) met doorgekruiste klikocontainers geven aan dat u elektrische/elektronische apparaten en batterijen/accu's dient te scheiden van huishoudelijk afval en apart dient in te leveren. Wanneer een batterij of accu meer dan de gespecificeerde hoeveelheid lood (Pb), kwik (Hg) en/of cadmium (Cd) als aangegeven in de Richtlijn Batterijen (2006/66/EG, 2013/56/EU) dan worden deze symbolen voor chemische elementen aangegeven onder het WEEE symbool.
- e) Inlever- en verzamelplaatsen zijn voor eindgebruikers beschikbaar gesteld. Nadere informatie over het afvoeren van gebruikte elektrische/elektronische apparatuur en lege batterijen/accu's kan uw gemeente u geven en ook de leverancier waar u de apparatuur heeft aangeschaft.

Dank u voor het gebruik van TEAC.
Lees deze handleiding aandachtig om dit apparaat zo goed mogelijk te kunnen gebruiken.
Berg deze na het lezen op een veilige plek op, zodat u deze later kunt raadplegen.

BELANGRIJKE VEILIGHEIDSINSTRUCTIES.....	53
Vóór gebruik.....	54
De platenspeler voorbereiden.....	54
Opmerking over draaitafelnaalden.....	55
Aansluitingen.....	56
Namen en functies van onderdelen.....	56
Stofkap.....	57
Het element verwisselen.....	57
Omgaan met grammofoonplaten.....	58
Basisbediening.....	58
Opnemen met een computer.....	59
Problemen oplossen.....	60
Specificaties.....	60

Vóór gebruik

Meegeleverde onderdelen

Controleer of de verpakking alle hieronder weergegeven accessoires bevat. Neem contact op met de winkel waar u dit apparaat heeft gekocht als een van deze accessoires ontbreekt of tijdens transport is beschadigd.

- Viltmat x 1
- 45 RPM adapter x 1
- Contragewicht x 1
- Elementhouder x 1
 - Geleverd met Audio-Technica VM Type (dual magnet) stereo element (AT-VM95E)
- Draaitafelplateau x 1
- Stofkap x 1
- Stofkap scharnieren x 2
- RCA audiokabel met aardaansluiting x 1
- Netadapter (GPE053A-V120050) x 1
- Gebruikershandleiding (dit document) x 1
- Zie pagina 71 voor informatie over de garantie.

Voorzorgsmaatregelen vóór gebruik

- Plaats geen objecten op de stofkap. Objecten op de kap kunnen storing veroorzaken als gevolg van trillingen of ze kunnen van de kap vallen, vooral tijdens afspelen.
- Plaats het apparaat niet in direct zonlicht of dicht bij een hittebron of in andere vergelijkbare situaties. Plaats het apparaat niet bovenop een versterker of andere apparatuur die meer warmte produceert dan het bedrijfstemperatuurbereik van dit apparaat. Hierdoor kan verkleuring, vervorming of kunnen defecten ontstaan.
- Omdat het apparaat tijdens gebruik warm kan worden moet u er voldoende ruimte omheen vrij laten voor ventilatie. Laat bij het installeren van dit apparaat enige ruimte (minstens 20 cm) tussen het apparaat en de wand en andere apparatuur om voldoende warmteafvoer mogelijk te maken. Laat bij plaatsing in een rek minstens 35 cm ruimte open aan de bovenkant en 10 cm aan de achterkant. Als er niet voldoende ruimte is kan zich hitte ontwikkelen, die zelfs kan resulteren in brand.
- VERPLAATS HET APPARAAT NIET TIJDENS AFSPLEN. Tijdens afspelen draait de plaat. Het apparaat tijdens afspelen niet optillen of verplaatsen. Hierdoor kan de grammofoonplaat, de naald, het element of het apparaat beschadigen.

- Verwijder altijd de plaat alvorens het apparaat te verplaatsen. Als het apparaat wordt verplaatst met een grammofoonplaat op de draaitafelplateau kan de grammofoonplaat, de naald of het element worden beschadigd of kan er een defect optreden.
- Het voltage waarmee het apparaat wordt gevoed moet overeenkomen met het voltage dat op het achterpaneel wordt vermeld. Neem bij twijfel contact op met een elektricien.

Onderhoud

Als het oppervlak van het apparaat vuil wordt, veeg dit dan schoon met een zachte doek, of gebruik verdunde milde zachte zeep. Laat het oppervlak van het apparaat volledig opdrogen alvorens het te gebruiken.

- Gebruik geen chemische reinigingsdoekjes, oplosmiddel of soortgelijke substanties, omdat deze het oppervlak van het apparaat kunnen beschadigen.

⚠ LET OP

Trek voor uw veiligheid vóór het schoonmaken de stekker uit het stopcontact.

Gebruik van de TEAC Global site

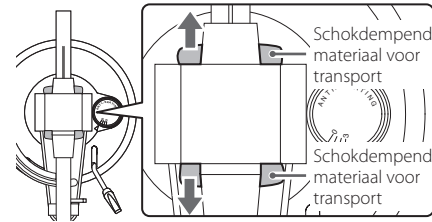
U kunt updates voor dit apparaat downloaden vanaf de TEAC Global site: <http://teac-global.com/>

In het gedeelte "TEAC Downloads" klikt u op de gewenste taal om de websitepagina "Downloads" voor de betreffende taal te openen.

De platenspeler voorbereiden

Zet het apparaat op standby tijdens de installatie (F op pagina 56).

1 Aan de draaitafelarm zijn schokdempende materialen bevestigd voor transport. Draai ze in de richting van de pijlen.



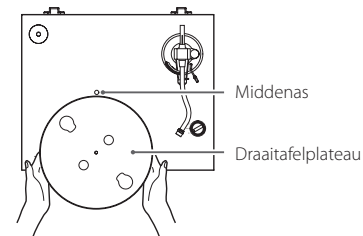
2 Plaats het apparaat op een vlakke ondergrond.

Plaats het op een vlakke ondergrond, zodat de grammofoonplaat correct kan worden afgetast.

3 Installeer het draaitafelplateau.

Hou het draaitafelplateau boven de middenas en installeer deze.

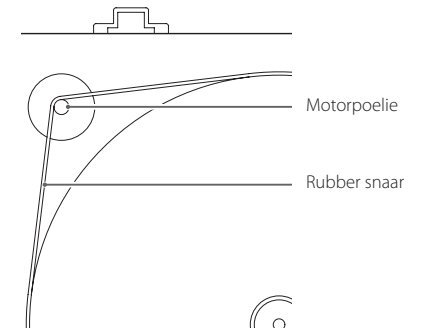
- Plaats het grote deel van het gat onderop.



4 Sla de snaar om de motorpoelie.

Span de meegeleverde rubber snaar om de buitenkant van de draaitafelplateau en sla de snaar vervolgens om de motorpoelie.

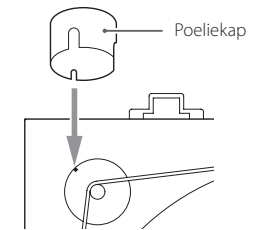
- Zorg dat het rubber niet wordt gedraaid.
- Draai het draaitafelplateau verschillende keren rond om te zorgen dat de snaar goed zit.



5 Installeer de poeliekap.

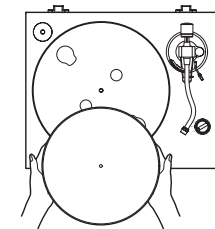
Lijn de smalle uitsparing in de poeliekap uit met het smalle uitsteeksel op de poelie, zoals weergegeven in de onderstaande afbeelding.

- Als deze niet zijn uitgelijnd staat de poeliekap scheef.



6 Plaats de vilten mat op het draaitafelplateau.

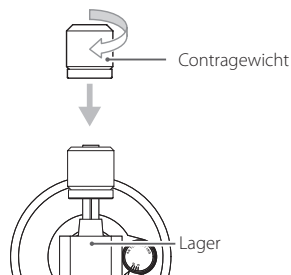
Plaats de meegeleverde vilten mat vóór gebruik op het draaitafelplateau.



7 Installeer het contragewicht.

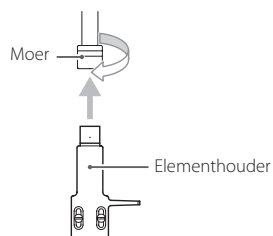
Draai het contragewicht met de klok mee op het uiteinde van de draaitafelarm en druk het voorzichtig aan om het draaiend vast te maken.

- Installatie is voltooid, wanneer het contragewicht in de richting van het lager kan worden bewogen.

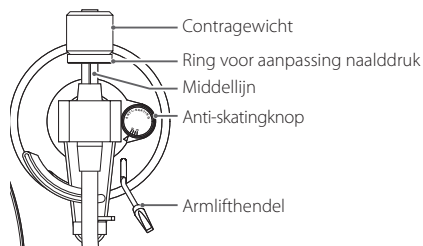


8 Installeer de elementhouder.

Installeer de elementhouder aan het uiteinde van de draaitafelarm en draai de moer aan om de elementhouder vast te maken.

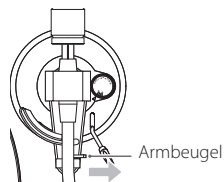


De draaitafelarm balanceren en de naalddruk aanpassen



1 Zet de anti-skatingdraaiknop op nul.

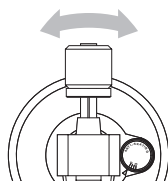
2 Beweeg de armbeugel voorzichtig naar rechts om de draaitafelarm vrij te maken.



3 Breng de armlifthendel omhoog en verplaats de draaitafelarm enigszins naar links.

4 Breng de armlifthendel omlaag.

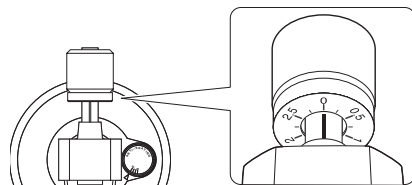
5 Draai aan het contragewicht en stel dit zo in dat de draaitafelarm horizontaal is.



- Verwijder vóór het aanpassen de beschermkap van de elementnaald.
- Laat de naald van het element geen contact maken met het apparaat.

6 Breng de draaitafelarm terug in de oorspronkelijke positie en vergrendel de arm met de armbeugel.

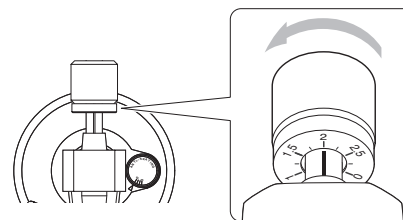
7 Draai aan de ring om de naalddruk aan te passen zodat de middellijn gelijk ligt met 0 op de schaal.



- Draai alleen aan de ring. Zorg dat het contragewicht niet draait.

8 Draai het contragewicht zo dat de ring voor aanpassing van de naalddruk overeenkomt met de naalddruk die voor het element wordt gespecificeerd.

- De naalddruk van het meegeleverde element is 2,0 g. Draai dus tot 2,0 op de schaal van het contragewicht bij gebruik van het meegeleverde element.



- Draai naar rechts van 0 in de richting van 0.5 en 1.0.

9 Pas de anti-skatingdraaiknop aan.

Start met deze knop op 2,0 en pas dit tijdens het afspelen van een grammofoonplaat (pagina 58) aan tot de positie waar de geluidsvolumes links en rechts in balans zijn.



LET OP

Afhankelijk van de conditie van een grammofoonplaat kan het volume links en rechts ongelijk worden en kan overspringen optreden.

Probeer in dergelijke gevallen de volgende aanpassingen te maken.

Als het geluid terug springt (de naald springt terug)

Draai de anti-skatingknop iets lager.

Als het geluid naar voren springt (de naald springt naar voren)

Draai de anti-skatingknop iets hoger.

Opmerking over draaitafelnaalden

- Als de naald vervormd (beschadigd) raakt, kunnen de groeven niet meer correct worden afgetast. Behandel naalden voorzichtig, omdat een vervormde naald grammofoonplaten kan beschadigen en defecten kan veroorzaken.
- Gebruik altijd een in de handel verkrijgbare naaldreiniger om de naald te reinigen. Gebruik van andere reinigingsmiddelen om een naald te reinigen kan de naald beschadigen.

De naald vervangen

Als de punt van de naald versleten raakt, wordt het geluid niet alleen slechter, maar kan dit ook schade aan de grammofoonplaten opleveren. Vervang de naald na ongeveer 300 uur speeltijd door een type dat door ons wordt geadviseerd.

Gebruik een Audio-Technica AT-VMN95E vervangingsnaald.

- In dit apparaat is een Audio-Technica AT-VM95E VM Type element geïnstalleerd. (De behuizing van de vervangende stylus voor de geïnstalleerde cartridge is groen.)

OPMERKING

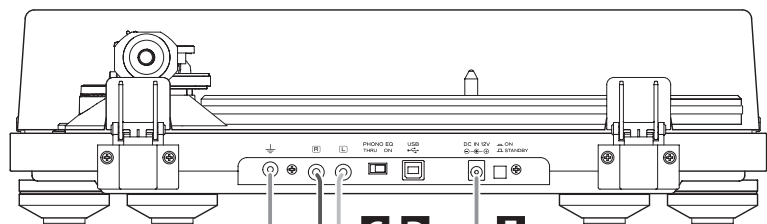
Elementen van het type VM hebben dezelfde eigenschappen als type MM elementen.

- Volg voor vervanging de instructies in de handleiding van de vervangende naald.

LET OP

- Schakel het apparaat op standby alvorens de naald te vervangen, omdat er zich hierbij luide geluiden kunnen voordoen.
- Zorg dat u uw hand niet bezeert of het apparaat beschadigt.
- Pas op dat kinderen niet per ongeluk naalden inslikken.
- Bedenk dat vervormde naalden, bijvoorbeeld veroorzaakt door onjuist gebruik of een externe oorzaak, niet onder de garantie vallen.

Aansluitingen

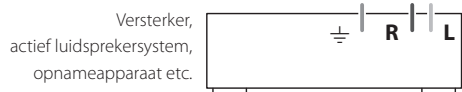


Aansluiten op lijn-ingangen van versterker, etc.

Zet de schakelaar PHONE EQ op ON.

Aansluiten op phono-ingangen van versterker, etc.

Zet de schakelaar PHONE EQ op THRU.



A Aardeaansluiting (⊕)

Gebruik de aardingskabel van de meegeleverde RCA-kabel om deze op de aardeaansluiting van bijvoorbeeld de versterker aan te sluiten.

- Dit is geen elektrische aardbeveiliging.

Als de luidsprekers duidelijk waarneembare ruis laten horen.

Als door het aansluiten van de aardingskabel van de audiokabel op de aardeaansluiting van dit apparaat het ruis niet wordt verminderd, koppel de aardingskabel los en controleer het geluid opnieuw. Gebruik de methode (aangesloten/verwijderd) met de minste ruis.

B Analoge audio-uitgangen (L/R)

Deze verzenden analoge audiosignalen.

De instelling van de schakelaar PHONO EQ wijzigt het type uitgangssignaal.

Gebruik de meegeleverde audiokabel (of een in de handel verkrijgbare audiokabel) om andere apparatuur op de uitgangen van dit apparaat aan te sluiten.

C Schakelaar PHONO EQ (instelling audio-uitgang)

ON

Signalen die zijn versterkt door de ingebouwde toonregelingsversterker worden weergegeven via de analoge audio-uitgangen (L/R).

THRU

Het signaal van het MC- of MM-element wordt direct via de analoge audio-uitgangen (L/R) weergegeven.

Sluit op een apparaat aan met phono-ingangen, zoals een voorversterker met toonregeling of een versterker met phono-ingangen.

- Bij aflevering vanaf de fabriek is dit ingesteld op ON.
- Stel dit in op ON als een apparaat is aangesloten op de USB-poort.

LET OP

Indien ingeschakeld en aangesloten op de PHONO-ingangen van bijvoorbeeld een versterker kan de weergave via luidsprekers en hoofdtelefoons zeer luid zijn, wat de apparatuur of uw gehoor kan beschadigen.

D USB-poort (USB B-type)

Het geluid van de grammofoonplaat wordt geconverteerd naar digitaal (resolutie tot 48 kHz / 16 Bit) en verzonden. Opnemen met een computer is mogelijk door deze met een USB-kabel op een USB-poort van de computer aan te sluiten (pagina 59).

E DC-ingang

Voltooi eerst alle andere aansluitingen en sluit dan de meegeleverde netadapter op deze ingang aan.

Controleer of de stekker van de netadapter in het stopcontact is gestoken.

- Gebruik geen andere netadapter dan de meegeleverde.

⚠️ Zorg dat het netsnoer wordt aangesloten op een stopcontact dat het juiste voltage levert. Aansluiten op een stopcontact dat het verkeerde voltage levert kan brand of elektrische schokken veroorzaken.

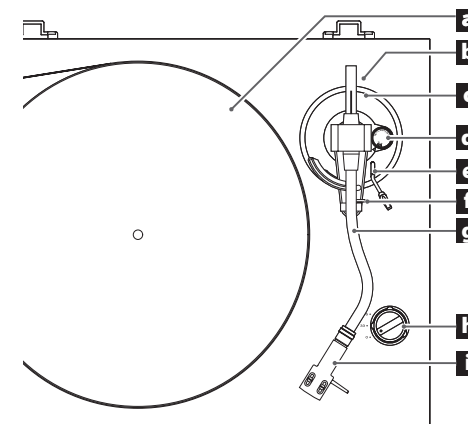
⚠️ Houd de stekker vast als het snoer in het stopcontact wordt gestoken of eruit wordt getrokken. Trek nooit met kracht aan het netsnoer.

⚠️ Trek de stekker uit het stopcontact als u het apparaat voor langere tijd niet gaat gebruiken.

F Toets STANDBY/ON

Druk op de toets STANDBY/ON om het apparaat in te schakelen of op standby te zetten.

Namen en functies van onderdelen



a Draaitafelplateau

Plaats grammofoonplaten gecentreerd op het draaitafelplateau.

b Contragewicht

c Ring voor aanpassing naalddruk

d Anti-skatingknop

e Armlifthendel

Hiermee brengt u de draaitafelarm omhoog en omlaag. We adviseren het gebruik van de armlifthendel om beschadiging van grammofoonplaten en naalden te voorkomen. Dit werkt veiliger en stabielere dan de naald met de hand plaatsen.

f Armhouder

Hier rust de draaitafelarm op. eweeg de beugel naar rechts om de draaitafelarm vrij te maken, alvorens een grammofoonplaat af te spelen.

g Draaitafelarm

h Toerental instelknop

Selecteer het toerental dat op de grammofoonplaat wordt aangegeven.

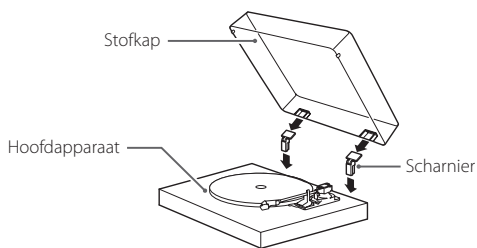
Het draaien stopt als dit op 0 wordt ingesteld.

i Elementhouder

Dit is een universeel type waarmee het element eenvoudig kan worden vervangen.

Stofkap

De stofkap bevestigen



1 Steek de scharnieren volledig in de scharnierhouders aan de linker en rechter achterkant van het hoofdapparaat.

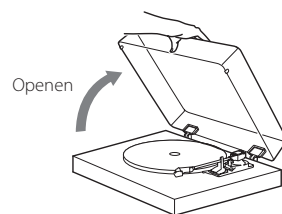
2 Breng de bovenkanten van de scharnieren op één lijn met de scharnierhouders van de stofkap en schuif deze erin.

- Sluit de stofkap tijdens afspelen. Hiermee wordt haperen door onbedoeld contact voorkomen en wordt externe geluidsdruk geblokkeerd, waardoor er minder snel bijgeluiden optreden.
- Niet openen of sluiten als er een grammofoonplaat wordt afgespeeld. Hierdoor kan de naald bijvoorbeeld gaan haperen.
- Houd de kap zoveel mogelijk gesloten om stof te weren.

De stofkap verwijderen

Houd de stofkap aan beide kanten vast en wil deze langzaam omhoog om te verwijderen uit de scharnieren van het apparaat. Verwijder vervolgens de scharnieren van de stofkap.

De stofkap openen en sluiten



Openen

Houd de voorkant van de stofkap vast en heel deze voorzichtig open totdat hij stuit.

De stofkap blijft in deze positie openstaan.

Sluiten

Laat de stofkap voorzichtig zakken tot deze is gesloten.

⚠ Voorzorg dat uw vinger klem komt te zitten, bijvoorbeeld bij het openen en sluiten van de stofkap.

Het element verwisselen

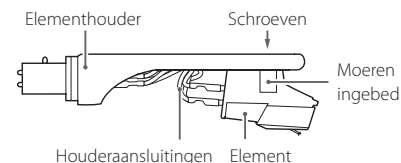
Verwijder voor het verwisselen van het element eerst de elementhouder van de draaitafelarm.

- In dit apparaat is een Audio-Technica AT-VM95E VM Type element geïnstalleerd.

OPMERKING

Elementen van het type VM hebben dezelfde eigenschappen als type MM elementen.

- We adviseren om de beschermkap op de elementnaald te plaatsen alvorens deze taak uit te voeren.

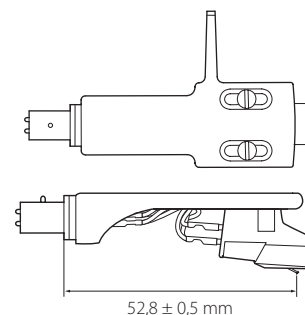


1 Maak de aansluitingen van de elementhouder los van het element.

2 Maak de schroeven los en verwijder het element.

3 Maak het nieuwe element vast en draai de schroeven aan.

Zie de onderstaande illustratie voor de positie van de schroeven als deze worden bevestigd.



4 Sluit de aansluitingen van de elementhouder aan op het element.

- De signalen en kleuren van de elementaansluitingen worden hieronder weergegeven.

Signaal	Kleur
Linker kanaal +	Wit
Linker kanaal -	Blauw
Rechter kanaal +	Rood
Rechter kanaal -	Groen

5 Balanceer de draaitafelarm en pas de naalddruk aan.

Volg de aanwijzingen in "De draaitafelarm balanceren en de naalddruk aanpassen" op pagina 55.

Voorzorgsmaatregelen voor het verwisselen van het element

Het gewicht van elementen dat met dit apparaat kan worden gebruikt, is beperkt. Zie "Draaitafelarm" op pagina 60. Controleer ook het toegestane elementgewicht (met de meegeleverde elementhouder) op dezelfde pagina bij het vervangen van de elementhouder.

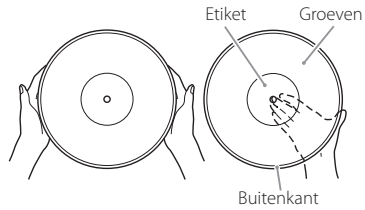
Gebruik van MC-elementen

De equalizerversterker in dit apparaat is ontworpen voor MM-elementen. MC-elementen worden niet ondersteund. Om een MC-element te gebruiken, sluit u dit apparaat aan op bijvoorbeeld een phono-equalizerversterker, die MC-elementen ondersteunt, of een versterker met een MC-phonoingang. Stel vervolgens de schakelaar PHONO EQ (audio-uitgang) van dit apparaat op THRU.

Omgaan met grammofonplaten

Grammofonplaten vasthouden

Vermijd het aanraken van de groeven als een grammofonplaat uit de hoes wordt gehaald en wordt vastgehouden. Houd de grammofonplaat vast bij het etiket en aan de zijkant of met beide handen aan de zijkanten.



Reinigen

- Vingerafdrukken en vuil op een grammofonplaat kunnen ruis en het haperen van het geluid veroorzaken, maar ook de plaat zelf en de naald beschadigen. Gebruik in de handel verkrijgbare platenreiniger om grammofonplaten te reinigen. Gebruik geen oplosmiddel of andere vloeistoffen dan platenreiniger. Dergelijke chemicaliën kunnen het oppervlak van de plaat beschadigen.
- Veeg over het oppervlak van de grammofonplaat met de platenreiniger in een ronde beweging in de richting van de groeven.



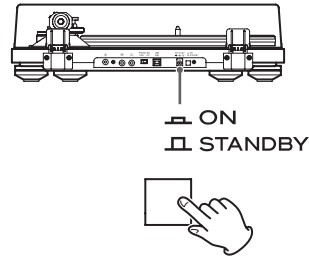
Voorzorgsmaatregelen vóór gebruik

- Bewaar grammofonplaten niet op plaatsen die blootstaan aan direct zonlicht of die uitzonderlijk heet of vochtig zijn. Als een grammofonplaat aan dergelijke condities wordt blootgesteld kan deze vervormen, beschimmelen of op een andere manier schade oplopen.
- Grammofonplaten niet op elkaar stapelen of onder zware objecten plaatsen. Grammofonplaten niet voor langere tijd schuin bewaren. Hierdoor kan vervorming of andere schade ontstaan.
- Zorg dat de groeven niet in direct contact komen met harde objecten. Hierdoor kunnen krassen ontstaan.
- Bewaar een grammofonplaat na afspelen altijd in de hoes. Een onbeschermd grammofonplaat kan vervormen of er kunnen krassen op komen.
- Gebruik geen platen met krassen.

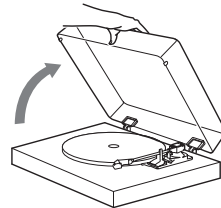
Grammofonplaten afspelen

- Verwijder de beschermkap alvorens het apparaat te gebruiken.

- 1 Druk op de toets STANDBY/ON aan de achterkant van het apparaat om het in te schakelen.**



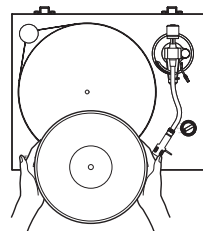
- 2 Open de stofkap langzaam.**



- ⚠ **Voortkom dat uw hand klem komt te zitten, bijvoorbeeld bij het openen en sluiten van de stofkap.**

- 3 Plaats een grammofonplaat op het draaitafelplateau.**

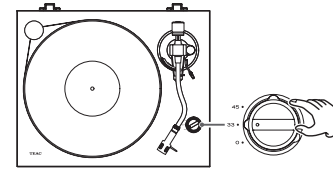
Gebruik bij het afspelen van een 45-toeren-single met een groot middengat de meegeleverde adapter.



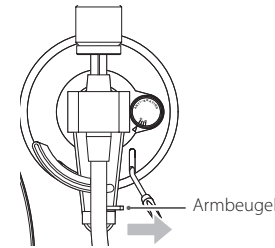
Basisbediening

- 4 Selecteer het toerental aangegeven op de plaat.**

Het toerental kan worden ingesteld op 33 1/3 of 45 RPM (omwentelingen per minuut).

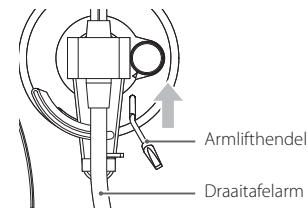


- 5 Beweeg de armbeugel voorzichtig naar rechts om de draaitafelarm vrij te maken.**



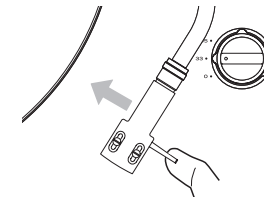
- 6 Breng de armlifthendel omhoog.**

Hierdoor wordt de armlift omhoog gebracht, waarbij de draaitafelarm omhoog blijft, zodat de naald geen contact maakt met de plaat, zelfs als de toonarm erover wordt bewogen.



- U kunt zonder de armlifthendel te gebruiken de draaitafelarm ook met de hand boven de grammofonplaat brengen en de arm langzaam omlaag brengen om het afspelen te starten.

- 7 Breng de draaitafelarm naar de track die u wilt afspelen.**



- 8 Breng de armlifthendel omlaag.**

De draaitafelarm verlaagt langzaam tot de naald op de plaat terecht komt en het afspelen begint.

- Sluit de stofkap tijdens afspelen. Hiermee worden bijgeluiden verminderd, wordt haperen door onbedoeld contact voorkomen en wordt externe geluidsdruk geblokkeerd.

- ⚠ **Plaats geen objecten op de stofkap.**

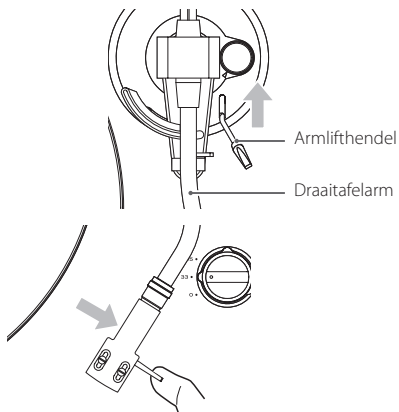
LET OP

- Raak tijdens afspelen de draaitafelarm of de grammofonplaat niet aan. Hierdoor kan de punt van de naald beschadigen en kunnen er krassen op de grammofonplaat komen.
- Stop het draaien van het draaitafelplateau niet geforceerd tijdens afspelen. Omdat dit product geen draaitafel is die ontworpen is voor DJ's (direct drive), kan hierdoor een defect ontstaan.

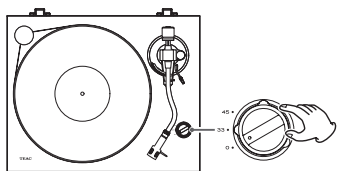
Als het geluidsvolume te hoog is, kan tijdens het afspelen van een grammofonplaat feedback optreden. Als dit gebeurt, verlaag dan het volume van de versterker.

Als het afspelen is voltooid

- 1 **Breng de armlifhendel omhoog om de naald van de plaat te tillen en breng de draaitafelarm naar de uitgangspositie.**



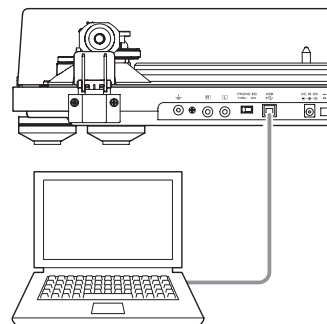
- 2 **Draai de toerental instelknop naar 0 om de draaitafel te stoppen.**



Opnemen met een computer

Aansluiten op een computer

- 1 **Schakel de computer in.**
Controleer of het besturingssysteem correct werkt.
- 2 **Sluit de computer en dit apparaat op elkaar aan met de USB-kabel.**



- Gebruik een in de handel verkrijgbare USB-kabel met een ferrietkern.

- 3 **Druk op de toets STANDBY/ON van dit apparaat om het in te schakelen.**

Als de verbinding tot stand is gebracht, detecteert de computer automatisch de USB-poort van dit apparaat en wordt het geïdentificeerd als "USB Audio CODEC".

- Om audio van deze platenspeler met een computer te kunnen opnemen moet u eerst software installeren waarmee audio op de computer kan worden opgenomen. U kunt de audio-opnamesoftware van uw eigen keus afzonderlijk kopen of gratis software zoals Audacity (<http://www.audacityteam.org/>) van internet downloaden. Audacity is gratis software die niet wordt ondersteund door TEAC.
- Vermijd het volgende als er met de computer wordt opgenomen. Hierdoor kan de computer onjuist gaan functioneren. Sluit de opnamesoftware op de computer altijd af, alvorens de volgende handelingen te verrichten.
 - De USB-kabel losmaken
 - Het apparaat op standby schakelen

Het geluid van een grammofoonplaat kan digitaal worden opgenomen met een computer door dit apparaat op een USB-poort van een computer aan te sluiten met een in de handel verkrijgbare USB-kabel.

- De USB-poort van dit apparaat is bedoeld voor aansluiting op een computer.

Ondersteunde besturingssystemen

Computers met de volgende besturingssystemen kunnen via USB op dit apparaat worden aangesloten (vanaf april 2019).

Windows

Windows 7 (32-bit, 64-bit)
Windows 8 (32-bit, 64-bit)
Windows 8.1 (32-bit, 64-bit)
Windows 10 (32-bit, 64-bit)

Mac

OS X Lion (10.7)
OS X Mountain Lion (10.8)
OS X Mavericks (10.9)
OS X Yosemite (10.10)
OS X El Capitan (10.11)
macOS Sierra (10.12)
macOS High Sierra (10.13)
macOS Mojave (10.14)

Als u niet een van de bovenstaande besturingssystemen gebruikt, is de werking niet gegarandeerd.

- Dit apparaat werkt met het standaard Windows- of Mac-stuurprogramma, dus u hoeft geen speciaal stuurprogramma te installeren.

Computerinstellingen

Het volgende voorbeeld behandelt de instellingen die moeten worden gemaakt met behulp van Windows 10.

- 1 **Selecteer "Windows-systeem", "Configuratiescherm" in het menu "Start".**

- 2 **Klik op "Geluid".**

Als "Weergeven op" in het Configuratiescherm is ingesteld op "Categorie", selecteer dan "Hardware en Geluiden". Kies vervolgens "Geluid".

- 3 **Klik op het tabblad "Opnemen" en controleer of "USB Audio CODEC" is ingesteld als "Standaardapparaat".**

- 4 **Selecteer "USB Audio CODEC" en klik op de toets Eigenschappen.**

- 5 **Klik op het tabblad "Geavanceerd".**

- 6 **Kies in het vervolgkeuzemenu "Standaardindeling" de gewenste opnamewaliteit (indeling).**

TIP

Selecteer "2-kanaals, 16-bits, 48000 Hz" om op te nemen op de hoogste geluidskwaliteit die dit apparaat kan produceren. Een lagere instelling voor samplingfrequentie produceert kleinere bestanden, maar vermindert ook de geluidskwaliteit.

- 7 **Klik op "OK".**

Nadat u de bovenstaande instellingen hebt gemaakt, kunt u audio-opnamesoftware gebruiken om op te nemen.

Problemen oplossen

Als u een probleem met dit apparaat ervaart, controleer dan eerst de volgende onderdelen alvorens service aan te vragen. Er kan ook een andere oorzaak voor het probleem zijn dan dit apparaat. Controleer ook of de aangesloten apparaten op de juiste manier worden gebruikt.

Als er nog steeds niet correct werkt, neem dan contact op met de leverancier waar u het apparaat heeft gekocht.

Geen stroom.

- ➔ Controleer of de netadapter in het stopcontact is gestoken. Druk vervolgens op de toets STANDBY/ON om het apparaat in te schakelen (pagina's 56 en 58).

De draaitafelplateau draait niet.

- ➔ Druk op de toets STANDBY/ON om het apparaat in te schakelen (pagina's 56 en 58).
- ➔ Sla de snaar om de motorpoelie. (pagina 54).
- ➔ Stel de toerental-instelknop in op de toerental die op de grammofoonplaat is aangegeven (pagina 58).

De toerental van de draaitafel is niet juist.

- ➔ Controleer of de toerental-instelknop is ingesteld op 33 en in 3 minuten ongeveer 100 keer draait.

De toonarm gaat niet naar beneden, zelfs niet wanneer de armlifhendel naar beneden wordt gelaten.

- ➔ Balanceer de draaitafelarm en pas de naalddruk aan (pagina 55).

Het geluid is niet juist of ontbreekt.

- ➔ Controleer de aansluitingen met de versterker en stel de schakelaar PHONO EQ (audio-uitgang) in de juiste positie (pagina 56).

De toonhoogte is niet correct.

- ➔ Selecteer het toerental aangegeven op de plaat (pagina 58).

Er wordt geen geluid voortgebracht.

- ➔ Zet bij aansluiten van de analoge audio-uitgangen van dit apparaat op de analoge audioingangen van een versterker of andere apparatuur de schakelaar PHONO EQ (instelling audio-uitgang) op ON (pagina 56).

Afspelen is niet mogelijk; er is ruis te horen.

- ➔ Verwijder de beschermkap alvorens het apparaat te gebruiken.
- ➔ Sluit de RCA-audiokabels opnieuw aan.

- ➔ Vingerafdrukken en vuil op een grammofoonplaat kunnen ruis en het haperen van het geluid veroorzaken. Gebruik in de handel verkrijgbare platenreiniger om grammofoonplaten te reinigen (pagina 58).

- ➔ Reinig de naald (pagina 55).

- ➔ Als de naald is versleten, vervang deze dan (pagina 55). De noodzaak voor vervanging van de naald is afhankelijk van de gebruikscondities, maar wij adviseren vervanging na ongeveer 300 uur gebruik.

- ➔ Plaats dit apparaat zover mogelijk van TV's, magnetrons en andere apparatuur die elektromagnetische golven uitzendt.

- ➔ Steek de netadapter in een ander stopcontact.

Er is ruis te horen als er een opname wordt afgespeeld.

- ➔ Er kan ruis optreden als de naalddruk hoger is dan voor het element wordt opgegeven. Pas de naalddruk opnieuw aan naar de opgegeven waarde (pagina 55).

Het geluid hapt.

- ➔ Trillingen kunnen haperingen veroorzaken. Plaats dit apparaat op een stabiele locatie.

- ➔ Reinig de plaat.

- ➔ Gebruik geen grammofoonplaten met krassen.

- ➔ Balanceer de draaitafelarm en pas de naalddruk opnieuw aan (pagina 55). Als de naalddruk lager is dan voor het element aanbevolen, kunnen de naald en het geluid gaan haperen.

- ➔ Als de naald verbogen is, vervang deze dan.

Het apparaat wordt niet herkend door de aangesloten computer.

- ➔ Controleer de ondersteunde computerbesturingssystemen op pagina 59. Werking met niet ondersteunde besturingssystemen wordt niet gegarandeerd.

- ➔ Sluit deze aan op een andere USB-poort.

Specificaties

Draaitafelplateau

Aandrijving	Snaaraandrijving
Motor	Gelijkstroommotor
Toerental	33 1/3 rpm, 45 rpm
Wow en flutter	0,1 % of lager
Signaal/ruisverhouding	67 dB of hoger (A-gewogen, 20 kHz LPF)
Draaitafelplateau	Gegoten aluminium 30 cm diameter (12 inch)

Draaitafelarm

Type	Draaitafelarm met S-vorm en vaste balans
Effectieve armlengte	223 mm
Variatiebereik naalddruk	0–5 g
Toegestaan gewicht element	3,0–12 g 14–23 g (met de meegeleverde elementhouder)

Element

Type	VM (equivalent van MM)
Uitgangsvoltage	4,0 mV (1 kHz, 5 cm/s)
Naalddruk	1,8–2,2 g (2,0 g aanbevolen)
Gewicht element	6,1 g
Inclusief gewicht elementhouder	11 g (inclusief schroeven, moeren en bedrading)

- De noodzaak voor vervanging van de naald is afhankelijk van de gebruikscondities, maar wij adviseren vervanging na ongeveer 300 uur gebruik.
- In dit apparaat is een Audio-Technica AT-VM95E VM Type element geïnstalleerd.
(De behuizing van de vervangende stylus voor de geïnstalleerde cartridge is groen.)
Opmerking: Elementen van het type VM hebben dezelfde eigenschappen als type MM elementen.
- Type vervangende naald: Audio-Technica AT-VMN95E

Uitgangsvoltage

PHONO EQ THRU	4,0 mV (1 kHz, 5 cm/s)
PHONO EQ ON	224 mV (–13 dBV)
Uitgangen	RCA

USB-poort

USB-poort die voeding kan ontvangen van computer USB-poorten (volledige snelheid)	USB-aansluiting type B
Ondersteuning USB-voeding	5 V, 500 mA
Samplingfrequentie	8 kHz, 11,025 kHz, 16 kHz, 22,05 kHz, 32 kHz, 44,1 kHz, 48 kHz
Kwantisatie bitdiepte	16-bit

Algemeen

Vermogen netadapter	
Ingang	100–240 V AC, 50/60 Hz
Vermogen	12 V DC, 500 mA
Opgenomen vermogen	
Standby	0,5 W of minder
On (33, 45)	2,0 W of minder
Gewicht	5,0 kg
Temperatuurbereik voor gebruik	5 °C tot 35 °C
Afmetingen (B × H × D, inclusief uitstekende delen)	
Stofkap gesloten	420 mm × 117 mm × 356 mm
Stofkap open	420 mm × 381 mm × 402 mm
Stofkap verwijderd	420 mm × 102 mm × 356 mm

- Prestatiegegevens zijn gespecificeerd bij 20 °C.

Meegeleverde onderdelen

Viltmat × 1
45 RPM adapter × 1
Contragewicht × 1
Elementhouder × 1
Geleverd met Audio-Technica VM Type (dual magnet) stereo element (AT-VM95E)
Draaitafelplateau × 1
Stofkap × 1
Stofkap scharnieren × 2
RCA audiokabel met aardaansluiting × 1
Netadapter (GPE053A-V120050) × 1
Gebruikershandleiding (dit document) × 1
• Zie pagina 71 voor informatie over de garantie.

- Specificaties en uiterlijk kunnen worden gewijzigd zonder voorafgaande kennisgeving.
- Gewicht en afmetingen zijn benaderingen.
- Afbeeldingen in deze gebruikershandleiding kunnen enigszins afwijken van de productiemodellen.

CAUTION

**RISK OF ELECTRIC SHOCK
DO NOT OPEN**

OBS: FÖR ATT MINSKA RISKEN FÖR ELSTÖTAR TA INTE BORT SKYDDET (ELLER BAKSIDAN). INGA DELAR INUTI SOM ANVÄNDAREN KAN REPARERA. LÅT KVALIFICERADE SERVICETEKNIKER UTFÖRA ALLT SERVICEARBETE.

Den lysande lampan med pilsymbol inom en liksidig triangel är avsedd för att varna användaren för närvaro av oisolerad "farlig spänning" inom produktens hölje som kan ha en betydande storlek för att skapa risk för elstötar för personer.

Utopropstecknet inom den liksidiga triangeln är avsedd till att varna användaren för närvaro av viktiga drift- och underhållsanvisningar (service) i handboken som medföljer enheten.

VARNING: FÖR ATT MINSKA RISKEN FÖR BRAND ELLER ELSTÖTAR, UTSÄTT INTE ENHETEN FÖR REGN ELLER FUKT.

FÖRSIKTIGHET

- Ta inte bort det externa höljets eller skåpet för att utsätta elektroniken. Det finns inga delar inuti som användaren kan reparera.
 - Om du upplever problem med denna produkt skall du kontakta butiken där du köpte enheten för service. Använd inte produkten tills den har reparerats.
 - Användning av kontroller eller justering eller prestanda av procedurer annat än som specificeras här kan leda till farlig utsättning för strålning.
- 1) Läs dessa anvisningar.
 - 2) Behåll dessa anvisningar.
 - 3) Följ alla varningar.
 - 4) Följ alla anvisningar.
 - 5) Använd inte enheten nära vattnet.
 - 6) Rengör den endast med en torr trasa.
 - 7) Blockera inga ventilationsöppningar. Installera i enlighet med tillverkarens anvisningar.
 - 8) Installera den inte i närheten av värmekällor som element, värmeblock, kaminer eller andra enheter (inklusive förstärkare) som producerar värme.

- 9) Gör inte emot säkerhetsanordningen med polariserad kontakt eller jordningskontakt. En polariserad kontakt har två blad, en bredare än den andra. En jordningskontakt har två blad och en tredje jordningspinne. Den breda bladen eller den tredje pinnen är där för din säkerhet. Om den medföljande kontakten inte passar till ditt uttag, prata med en elektriker för att byta det gamla uttaget.
- 10) Skydda strömkablar från att böjas eller spricka främst i närheten av kontakter, vanliga fästen i punkten där de kommer ut från enheten.
- 11) Använd endast tillbehör/accessoarer som specificeras av tillverkaren.
- 12) Använd endast tillsammans med vagnen, ståndet, trefoten, bricka eller bordet som specificeras av tillverkaren eller som säljs med enheten. Om det används en vagn, var försiktig när du flyttar vagnen/enheten i kombination för att undvika skador vid vältning.
- 13) Koppla från denna enhet med ånskan eller om du inte använder den över en längre tid.
- 14) Låt service utföra av kvalificerad servicepersonal. Service behövs när enheten har på något sätt skadats som till exempel att strömsladden- eller kontakten är skadad, att det har spillts ut vätska eller om det har fallit i föremål i enheten, enheten har varit utsatt för regn eller fukt, fungerar inte normalt eller har tappats.
 - Apparaten drar nominella icke-operativ ström från vägguttaget med dess POWER eller STANDBY/ON-knappen inte i ON-läge.
 - Nätkontakten används som frånkopplingsenhet och frånkopplingsenheten ska vara driftsduglig.
 - Försiktighet bör iaktas vid användning av öronsnäckor eller hörlurar med produkten eftersom överdrivet ljudtryck (volym) från öronsnäckor eller hörlurar kan orsaka hörselskador.



FÖRSIKTIGHET

- Utsätt inte denna apparat för dropp eller stänk.
- Ställ inga föremål som innehåller vätska, t.ex. vaser, på apparaten.
- Installera inte apparaten i ett slutet utrymme såsom en bokhylla eller liknande.
- Apparaten ska placeras tillräckligt nära vägguttaget så att du lätt kan nå nätsladden när som helst.

Modell för Europa

Produkten uppfyller kraven i EU-direktiv och andra regleringar från Kommissionen.

För kunder i Europa

Kassering av elektrisk och elektronisk utrustning och batterier och/eller ackumulatörer

- a) Alla elektriska/elektroniska produkter och förbrukade batterier/ackumulatörer bör kasseras separat från hushållsavfall, helst via insamlingsanläggningar som bestäms av regeringen eller lokala myndigheter.
- b) Genom att kassera elektriska/elektroniska produkter och förbrukade batterier/ackumulatörer på rätt sätt hjälper du till att spara värdefulla resurser och förhindrar eventuella negativa effekter på människors hälsa och på miljön.
- c) Felaktig kassering av avfall från elektriska/elektroniska produkter och batterier/ackumulatörer kan få allvarliga effekter på miljön och människors hälsa. Detta på grund av förekomsten av farliga ämnen i utrustningen.
- d) Symboler som visar en överstruken soptunna indikerar att elektrisk/elektronisk utrustning och batterier/ackumulatörer måste samlas och kasseras separat från hushållsavfallet. Om ett batteri eller ackumulatör innehåller mer än de specificerade värdena av bly (Pb), kvicksilver (Hg) och/eller kadmium (Cd) enligt definitionen i batteridirektivet (2006/66/EG, 2013/56/EU), kommer de kemiska symbolerna för dessa element visas under WEEE symbolen.

Pb, Hg, Cd
- e) Återlämnings- och insamlingsystem finns tillgängliga för slutanvändare. För mer detaljerad information om avfallshandling av gammal elektrisk/elektronisk utrustning och förbrukade batterier/ackumulatörer, var god kontakta din kommun, renhållningsverket eller den butik där du köpte utrustningen.

Tack för att du har valt TEAC.
Läs noggrant denna bruksanvisning, för att få ut enhetens bästa prestanda.
Efter att du har läst den, vänligen spara den på en säker plats för framtida bruk.

VIKTIGA SÄKERHETSINSTRUKTIONER.....	61
Före användning.....	62
Förbereda skivspelaren.....	62
Anmärkning om skivnålar.....	63
Anslutningar.....	64
Namn och funktion på enhetens delar.....	64
Dammskydd.....	65
Byta patron.....	65
Hantera skivor.....	66
Grundläggande användning.....	66
Spela in med datorn.....	67
Felsökning.....	68
Specifikationer.....	68

Före användning

Medföljande delar

Kontrollera lådan för att vara säker på att den innehåller all medföljande tillbehör nedan. Vänligen kontakta butiken där du köpte enheten om något av dessa tillbehör saknas eller har skadats under transporten.

- Filtmat × 1
- 45 RPM-adapter × 1
- Motvikt × 1
- Headshell × 1
 - Förinstallerad Audio-Technica VM-stereopatron AT-VM95E (dubbel magnet)
- Skivtallrik × 1
- Dammskydd × 1
- Dammskydd gångjärn × 2
- RCA-ljudkabel med jordterminal × 1
- Nätadapter (GPE053A-120050) × 1
- Bruksanvisning (detta dokument) × 1
- Se sidan 71 för information om garantin.

Försiktighetsåtgärder för användning

- Placera inget på dammskyddet. Föremål på locket skulle kunna orsaka buller på grund av vibrationer eller falla ner, framför allt vid uppspelning.
- Undvik att placera enheten i direkt solljus, nära till värmekällor eller i liknande förhållanden. Placera inte enheten på en förstärkare eller annan utrustning som kan generera värme som överskrider driftstemperaturnivån av denna enhet. Om du gör så, kan det komma till missfärgningar, deformationer och fel funktion.
- Eftersom enheten kan bli varm vid bruk, låt det alltid vara tillräckligt plats runt den, så att den kan ventilera. När du installerar den här enheten, lämna lite utrymme (minst 20 cm) mellan enheten och andra enheter och väggar för att möjliggöra god värmeavledning.
När du placerar den i en hylla, lämna till exempel minst 35 cm öppet ovanför och 10 cm öppet bakom. Underlåtenhet att tillhandahålla dessa luckor kan orsaka att värme alstras inuti och orsaka brand.
- FLYTTA INTE ENHETEN UNDER UPPSPELNINGEN. Skivan roterar medan uppspelning. Lyft eller flytta inte enheten under uppspelningen. Detta skadar väldigt mycket gramfonskivan, nålen, patronen eller enheten.

- Innan du omplaceras eller flyttar på enheten, skall du alltid ta ut skivan. Om du flyttar enheten med en gramfon-skiva på skivtallriken, skulle gramfonskivan, nålen eller patronen kunna skadas och orsaka felfunktion.
- Spänningen som försörjer enheten skall matcha spänningen som står på den bakre panelen. Om du tvivlar angående detta, kontakta en elektriker.

Underhåll

Om enhetens yta blir smutsig, torka av den med en mjuk trasa eller använd utspädd och mild, flytande tvål. Låt enhetens yta torka helt innan du använder enheten.

- Använd inte kemiska rengöringssträror, förtunnare eller liknande ämnen, eftersom de kan skada enhetens yta.

⚠ FÖRSIKTIGHET

För säkerhets skull dra ut nätsladden ur vägguttaget före rengöring.

Använda TEAC Global Site

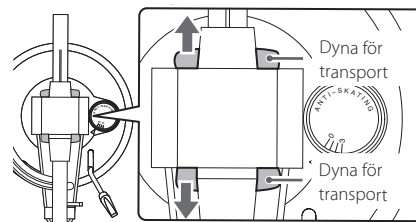
Du kan ladda uppdateringar för denna enhet från TEAC Global Site: <http://teac-global.com/>

Under TEACs "Downloads"-avsnitt, klicka på det önskade språket för att öppna nedladdningssidan för det språket.

Förbereda skivspelaren

Håll enheten i vänteläge medan du konfigurerar (E på sida 64).

1 Dynor har fästs vid tonarmen för användning under transport. Avlägsna dem i pilens riktningar.



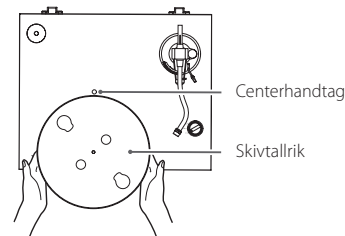
2 Placera apparaten på en plan yta.

Placera den på en platta yta, så att skivan kan spåras korrekt.

3 Installera skivtallriken.

Justera skivtallriken till mellanhandtaget och installera den.

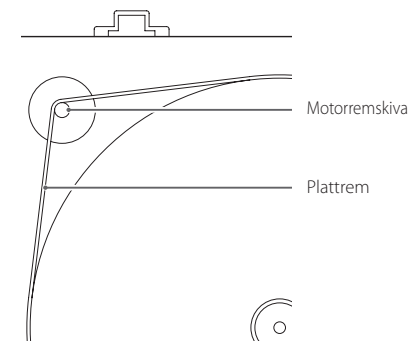
- Placera den stora sidan av hålet ned.



4 Linda bältet runt motorremskivan.

Linda den medföljande plattremmen runt utsidan av skivtallriken och linda redan remmen runt motorremskivan.

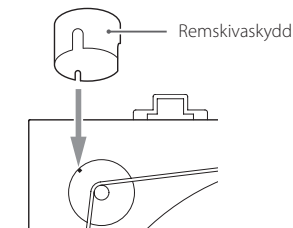
- Var försiktigt att gummit inte vrids.
- Vrid med skivtallriken flera gånger för att kontrollera att plattremmen sitter säkert.



5 Installera remskivans skydd.

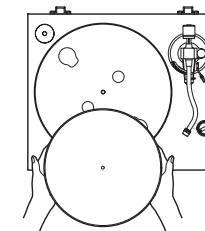
Företrä den lilla utskärningen i remskivans skydd med den lilla utsprången på remskivan som det visas på bilden nedan.

- Om dess inte är förenade, kommer remskivanskyddet att luta.



6 Placera den filtmatan på skivtallriken.

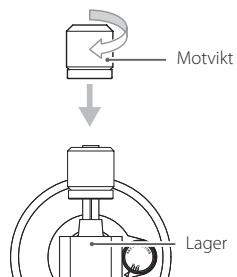
Placera den medföljande filtmatan på skivtallriken innan du använder den.



7 Installera motvikten.

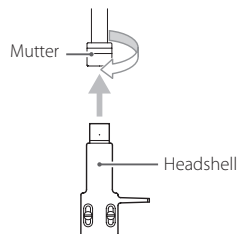
Placera motvikten över änden av tonarmen och tryck in den försiktigt när du vrider med den för att bifoga den.

- När motvikten kan flyttas mot lagret är installationen klar.

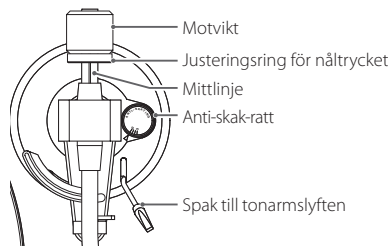


8 Installera headshellen.

Placera headshellen på änden av tonarmen och vrid med muttern för att säkra den på plats.

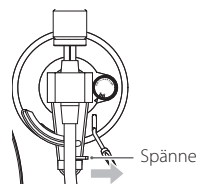


Balansera ut tonarmen och justera nåltrycket



1 Ställ in anti-skak-ratten till noll.

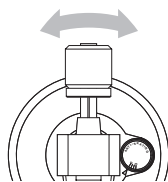
2 Flytta tonarmens spänne till höger för att lossna tonarmen.



3 Lyft spaken till tonarmslyften och flytta tonarmen lite till vänster.

4 Sänk spaken till tonarmslyften.

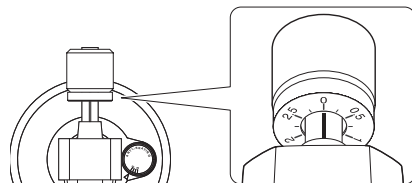
5 Vrid med motvikten och justera den att tonarmen är vågrät.



- Ta bort skyddshattan från pickupens nål innan du justerar den.
- Var försiktig att nålen inte kommer i kontakt med enheten.

6 Sätt tonarmen till dess originalposition och flytta med tonarmens spänne till vänster, för att låsa den på plats.

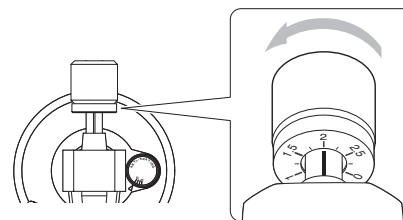
7 Vrid med justeringsringen för nåltrycket, så att mittlinjen står på 0 på skalan.



- Vrid endast med ringen. Var försiktig att motvikten inte vrids.

8 Vrid med motvikten, så att justeringsringens skala för nåltrycket matchar nåltrycket som specificeras för patronen.

- Nåltrycket av den medföljande patronen är 2,0 g. Vrid den till 2,0 på motviktskalan, när du använder den medföljande patronen.



- Vrid den från 0 i riktning av 0,5 och 1,0.

9 Justera anti-skak-ratten.

Starta med den inställd till 2,0 och justera medan du spelar upp skivan (sida 66) till positionen där den vänstra och högra volymen är balanserad.



GIV AKT!

Beroende på tillståndet på en skiva kan vänster-högra volymbalansen bli ojämn och hoppning kan uppstå. I sådana fall försök göra följande justeringar.

Om ljudet hoppar bakåt (nålen hoppar bakåt)

Sänk inställningen för anti-skak lite med anti-skak-ratten.

Om ljudet hoppar framåt (nålen hoppar framåt)

Öka inställningen för anti-skak lite med anti-skak-ratten.

Anmärkning om skivnålar

- Om nålen böjs (blir skadad), kommer den inte längre exakt kunna spåra räfflat. Eftersom en böjd nål kan också skada skivor och orsaka felfunktion, hantera med nålar försiktigt.
- Använd en kommersiellt tillgänglig nålrengörare för att rengöra en nål. Om du använder något annat än en nålrengörare, kan de skada nålen.

Byta ut nålen

Om nålens spets blir sliten, kommer inte den inte bara försämrade ljudkvaliteten, utan kan också skada skivor. Efter cirka 300 timmars uppspelningstid skal nålen ersättas med den vi specificerar.

Använd en Audio-Technica AT-VMN95E-ersättningsnål.

- En Audio-Technica AT-VM95E VM typ patron är installerad i apparaten. (Höljet på ersättningsnålen för den installerade patronen är grön.)

ANMÄRKNING

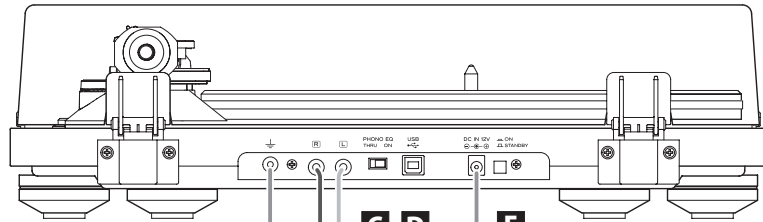
VM-patroner har samma karakteristik som MM-patroner.

- Följ anvisningarna för byte i manualen för ersättningsnål.

GIV AKT!

- Eftersom starka ljud kan förekomma, sätt enheten i vänteläge innan du byter nålen.
- Var försiktig att du inte skadar din hand eller utrustningen.
- Tillåt inte att små barn oavsiktligt sväljer nålar.
- Observera att till exempel börja nålar som orsakas av att kunder inte är tillräckligt försiktig eller av en yttre påverkan, inte täcks av garantin.

Anslutningar



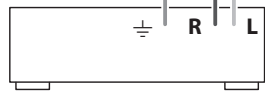
Anslut till linje-ingångskontakter av förstärkaren o.s.v.

Ställ PHONE EQ-omkopplaren till ON.

Anslut till phono-ingångskontakter av förstärkaren o.s.v.

Ställ PHONE EQ-omkopplaren till THRU.

Förstärkare, högtalare med inbyggd förstärkare, inspelningsapparat osv.



A Jordkontakt (⊥)

Använd jordkabel av den medföljande RCA-ljudkabeln för att till exempel ansluta denna kontakt till jordkontakten på förstärkaren.

- Denna är INTE elsäkert jordad.

Om bullret från högtalarna är misstänksamt

Om ansluta jordkabeln av ljudkabeln till jordkontakten på denna enhet inte minskar buller, koppla från jordkabeln och kontrollera ljudet igen. Använd metoden (ansluten/ inte ansluten) som har det minsta bullret.

B Analog ljudutgångskontakter (L/R)

Dessa matar ut analoga ljudsignaler.

Inställningen för PHONO EQ-omkopplare ändrar typen av utmatningssignalen.

Använd den medföljande ljudkabel (eller kommersiellt tillgängliga kablar) för att ansluta den andra utrustningen till utgångskontakter på denna enhet.

⚠ Försiktighetsåtgärder när du gör anslutningar

- Anslut inte enheten tills du har gjort alla anslutningar.
- Läs noga igenom bruksanvisningarna för de enheter som du ansluter och följ deras instruktioner när du gör anslutningar.

C PHONO EQ-omkopplare (inställning för ljudutmatning)

ON

Signaler som har förstärkts av den inbyggda frekvenskorrigeringen matar ut från det analoga ljudutgångskontakter (L/R).

THRU

MC- eller MM-patronsignalen matas ut direkt genom det analoga ljudutgångskontakter (L/R).

Anslut till en enhet med phono-ingångar som phono-frekvenskorrigerings förstärkare eller en förstärkare med phono-ingångskontakter.

- Vid leverans från fabriken, är detta inställt på ON.
- Ställ detta till PÅ, om en enhet är ansluten till USB-porten.

FÖRSIKTIGHET

När inställd på ON och ansluten till PHONO-ingången av till exempel en förstärkare, kommer utmatningen från högtalarna och hörlurarna vara väldigt hög. Det skulle kunna skada utrustningen eller din hörsel.

D USB-port (USB B-typ)

Ljudet från skivan konverteras till digitalt (upplösning upp till 48 kHz/16-bit) och matas ut. Inspelning på en dator är möjligt genom att ansluta denna till en USB-port på datorn med en USB-kabel (sida 67).

E DC-ingångskontakt

Efter att du har slutfört alla andra anslutningar, anslut den medföljande nätadaptern till denna kontakt. Bekräfta att strömkontakten av nätadaptern är ansluten till strömuttaget.

- Använd inte en annan nätadapter än den som medföljde.

⚠ Var noga med att ansluta nätsladden till ett eluttag som levererar rätt spänning. Anslutning till ett uttag som levererar fel spänning skulle kunna orsaka brand eller elektrisk chock.

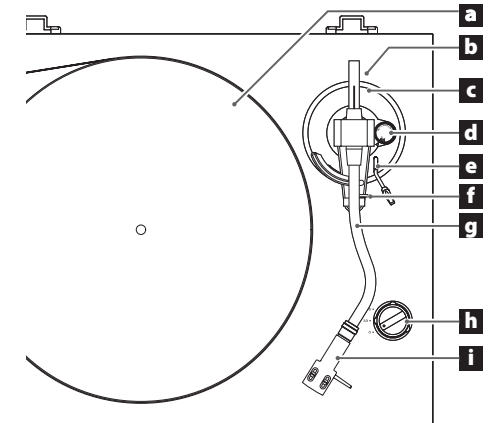
⚠ Håll stickkontakten när du ansluter den till ett eluttag eller drar ut den. Dra eller ryck aldrig i nätsladden.

⚠ Koppla från nätsladden från uttaget om du inte skall använda enheten över en längre tidsperiod.

F STANDBY/ON-knapp

Tryck på STANDBY/ON-knappen för att sätta på enheten eller sätta den i vänteläget.

Namn och funktion på enhetens delar



a Skivtallrik

Lägg skivor i mitten på skivtallriken.

b Motvikt

c Justeringsring för nåltrycket

d Anti-skak-ratt

e Spak till tonarmslyften

Använd för att höja och sänka tonarmen.

Vi rekommenderar att använda spaken för att förhindra att skivor och nålar skadas, och för att det är säkrare och mer exakt än att göra det med fingret.

f Tonarmhållare

Detta är vilopositionen för tonarmen. Flytta mjukt spännet till höger för att lossna tonarmen innan du spelar upp skivan.

g Tonarm

h Ratt för inställning av rotationshastighet

Välj rotationshastigheten som indikeras på skivan som skall spelas upp.

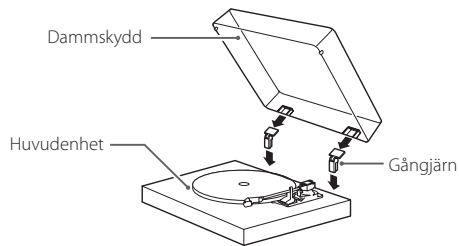
Rotationen kommer att stoppa när den är inställd till 0.

i Headshell

Detta är en universell typ som tillåter att patronen ändras enkelt.

Dammskydd

Fästa dammskyddet



1 Sätt gångjärn komplett i gångjärnhållarna på vänster och höger slut av huvudenhetens baksida.

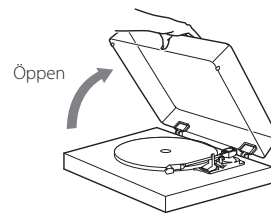
2 Rätta upp toppen av gångjärn med dammskyddens gångjärnhållare och sätt in dem.

- Stäng dammskyddet under uppspelningen. Detta förhindrar att skivan hoppar på grund av oavsiktlig kontakt och blockerar det externa ljudtrycket, vilket för att buller inte uppstår så ofta.
- Öppna inte eller stäng inte den när en skiva spelas upp. Om du gör så, kan det orsaka att nålen hoppar.
- Håll den alltid stängd då det är möjligt, för att förhindra att damm tränger in.

Ta bort dammskyddet

Håll båda kanter av dammskyddet och lyft den sakta för att ta bort den tillsammans med gångjärn från enheten. Sedan ta bort gångjärn från dammskyddet.

Öppna och stänga dammskyddet



Öppna

Håll framkanten av dammskyddet och lyft den försiktigt för att öppna den helt tills den stoppas. Dammskyddet kan vara öppet i denna position.

Stänga

Sänk mjukt dammskyddet tills den stängs.

⚠ Var försiktig att du inte klämmer dina fingrar när du t. ex. öppnar och stänger dammskyddet.

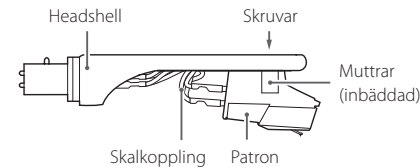
Byta patron

För att byta patron, ta först bort headshellen från tonarmen.

- En Audio-Technica AT-VM95E VM typ patron är installerad i apparaten.

ANMÄRKNING

- VM-patroner har samma karakteristik som MM-patroner.
- Vi rekommenderar att du sätter på skyddshattan på nålen innan du utför denna åtgärd.

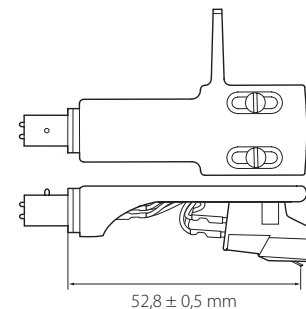


1 Koppla från skalkopplingens terminal från patronen.

2 Lossna skruvar och ta bort patronen.

3 Sätt in ny patron och dra åt skruvarna.

Se bilderna nedan, vilken position skruvarna skall ha när de är monterade.



4 Anslut skalkopplingens styrterminal till patronen.

- Signalen och färgen på skalkopplingen visas nedan.

Signal	Färg
Vänster kanal +	Vit
Vänster kanal -	Blå
Höger kanal +	Röd
Höger kanal -	Grön

5 Balansera ut tonarmen och justera nåltrycket.

Följ anvisningarna i "Balansera ut tonarmen och justera nåltrycket" på sida 63.

Försiktighetsåtgärder för byte av patronen

Vikten av patroner som kan användas med denna enhet är begränsad. Se "Tonarm" på sida 68. Kontrollera även den acceptabla patronvikten (med den medföljande headshell) på samma sida när du byter patronen.

Använda MC-patroner

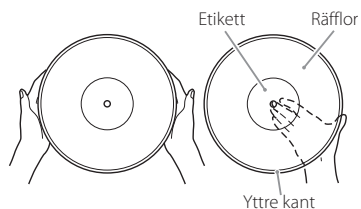
Frekvenskorrigeringsförstärkaren inbyggd i denna enhet är för MM-patroner. Den stöder inte MC-patroner.

För att använda en MC-patron, anslut den här enheten till en phono-förstärkare som stöder MC-patroner eller en förstärkare med en MC-ingångskontakt, till exempel. Ställ sedan in enhetens PHONO EQ (ljudutgång) omkopplaren till THRU.

Hantera skivor

Hålla skivor

När du håller en skiva eller tar ut den från sitt omslag, undvik att röra räfflorna genom att hålla skivan vid dess etikett och kanten med en hand eller genom att hålla den vid dess kant med båda händer.



Rengöring

- Fingeravtryck eller damm på en skiva kan orsaka buller och ljudet kan hoppa samt kan skivan skadas och även nålen. Använd en separat inköpt skivrennare för att rengöra skivor. Använd inte en förtunnare eller något annat än en skivrennare. Sådana kemikalier kan skada skivans yta.
- Om du använder en skivrennare, torka av skivans yta i kretsriktning, genom att följa räfflorna.



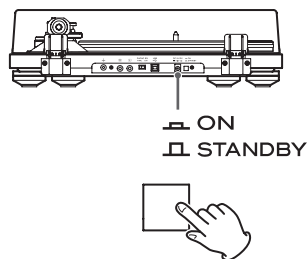
Försiktighetsåtgärder för användning

- Lämna inte skivorna på platser där de utsätts för direkt solljus eller på väldigt varma och fuktiga platser. Om du lämnar en skiva under sådana omständigheter under en längre tid, kan leda till böjning av skivan, mögeltillväxt eller andra skador.
- Lägg inte flera skivor på varandra eller placera inte tunga objekt på dem. Lämna inte heller skivor i ett hörn för en längre tidsperiod. De skulle kunna bli skeva eller skadade på ett annat sätt.
- Låt inte hårda objekt direkt röra vid ljudräfflorna. Det skulle kunna orsaka repor.
- När du har spelat klart en skiva, placera den alltid tillbaka i sitt omslag för lagring. Om du lämnar skivor oskyddade, kan de bli skeva eller repiga.
- Använd inte spruckna skivor.

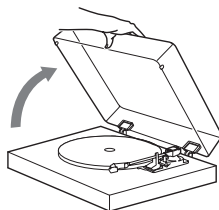
Spela upp skivor

- Ta bort skyddshattan från patronens nål innan du använder skivspelaren.

1 Tryck på **STANDBY/ON**-knappen på baksidan av enheten för att sätta på den.



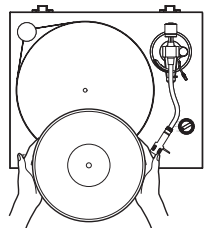
2 Öppna försiktigt dammskyddet.



⚠ Var försiktig att du inte klämmer din hand när du t. ex. öppnar och stänger dammskyddet.

3 Lägg en skiva på skivtallriken.

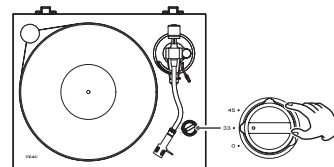
När du spelar 45 RPM enskilda skivor med stora hål, använd den medföljande adaptorn.



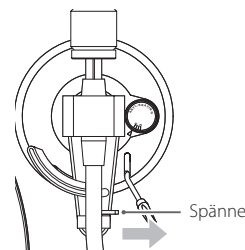
Grundläggande användning

4 Välj rotationshastighet som anges på skiva.

Rotationshastigheten kan ställas in på 33 1/3 eller 45 RPM.

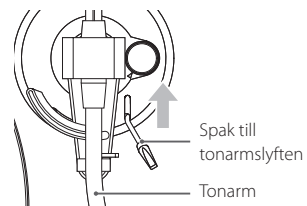


5 Flytta tonarmens spänne till höger för att lossna tonarmen.



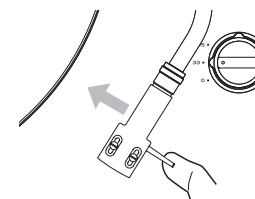
6 Lyft spaken till tonarmslyften.

Detta höjer armlyften och håller tonarmen uppåt, så nålen kommer inte att kontakta skivan även om tonarmen är flyttad över den.



- Du kan också låta spaken vara nere och flytta tonarmen över skivan manuellt och sedan sänka tonarmen mjukt för att starta uppspelningen.

7 Flytta tonarmen till spåret där du vill starta uppspelningen.



8 Sänk spaken till tonarmslyften.

Tonarmen sänker långsamt till nålen rör vid skivan och uppspelningen börjar.

- Stäng dammskyddet under uppspelningen. Att göra så minskar uppkomsten av buller genom att förhindra att skivan hoppar på grund av oavsiktlig kontakt, och blockerar det externa ljudtrycket.

⚠ Placera inget på dammskyddet.

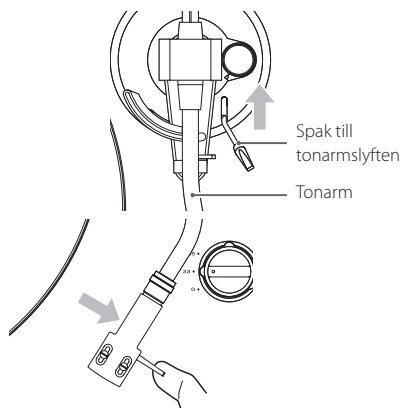
GIV AKT!

- Medan uppspelning, rör inte vid tonarmen eller den skivan. Om du gör så, kan det skada nålspetsen och orsaka repor på skivan.
- Stoppa inte skivtallriken rotation under uppspelning med våld. Eftersom denna produkt inte är en skivspelare som är designad för DJs (direkt drivning), skulle något som detta orsaka felfunktion.

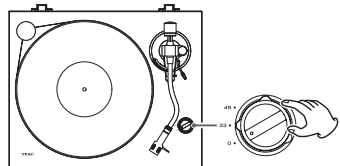
Medan skivan spelas upp, kan det komma till återkoppling, om volymen är för hög. Om detta händer, sänk förstärkarens volymen.

När uppspelningen avslutas

- 1 **Lyft spaken till tonarmslyften för att ta bort nålen från skivan och sätt tillbaka tonarmen till dess ursprungliga position.**



- 2 **Vrid med ratten för rotationshastighet till 0 för att stoppa skivspelaren.**



Skivans ljud kan spelas in digitalt på en dator genom att använda en kommersiell USB-kabel för att ansluta denna enhet till en USB-port på datorn.

- USB-porten på denna enhet är för anslutning till en dator.

Operativsystem som stöds

Datorer som kör med de följande operativsystem kan anslutas med USB till denna enhet (sedan april 2019).

Windows

- Windows 7 (32 bitars, 64 bitars)
- Windows 8 (32 bitars, 64 bitars)
- Windows 8.1 (32 bitars, 64 bitars)
- Windows 10 (32 bitars, 64 bitars)

Mac

- OS X Lion (10.7)
- OS X Mountain Lion (10.8)
- OS X Mavericks (10.9)
- OS X Yosemite (10.10)
- OS X El Capitan (10.11)
- macOS Sierra (10.12)
- macOS High Sierra (10.13)
- macOS Mojave (10.14)

Användning med andra operativsystem än de ovan garanteras inte.

- Denna enhet kommer att fungera med standard Windows- eller Mac-drivrutin, så det finns inga behov att installera en speciell drivrutin.

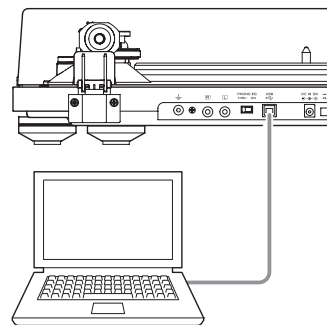
Spela in med datorn

Ansluta till datorn

- 1 **Sätt på datorn.**

Kontrollera att operativsystemet fungerar korrekt.

- 2 **Använd USB-kabeln för att ansluta datorn till denna enhet.**



- Använd en separat inköpt USB-kabel med ferritkärna.

- 3 **Tryck på enhetens STANDBY/ON-knapp för att slå på den.**

Datorn kommer automatiskt att identifiera enhetens USB-port och identifiera enheten som "USB Audio CODEC".

- För att spela in ljud från skivspelaren med en dator, måste du först installera programvaran som kan användas för ljudinspelning på datorn. Du kan köpa programvaran för ljudinspelning som du föredrar separat eller ladda ned en gratis programvara som Audacity (<http://www.audacityteam.org/>) från Internet. Som gratis programvara, stöds Audacity inte av TEAC.
- När du spelar in med datorn, gör inte något av det följande. Det kan få datorn att sluta fungera. Stäng alltid datorn programvara för inspelning innan du gör följande.
 - Koppla bort USB-kabeln.
 - Sätt enheten i vänteläge.

Datorinställningar

Följande exempel förklarar inställningar som skall göras med Windows 10.

- 1 **Från Startmenyn, välj "Windows-system" och sedan "Kontrollpanel".**

- 2 **Klicka på "Ljud".**

Om "Visa efter" i kontrollpanelen är inställd på "Kategori", välj "Maskinvara och ljud". Välj sedan "Ljud".

- 3 **Klicka på fliken "Inspelning" och kontrollera att "USB Audio CODEC" är inställd som "Standardenhet".**

- 4 **Välj "USB Audio CODEC" och klicka på knappen "Egenskaper".**

- 5 **Klicka på fliken "Avancerad".**

- 6 **Från listmenyn "Standardformat", välj önskad inspelningskvaliteten (format).**

TIPS

För att spela in med högsta ljudkvalitet som denna enhet kan mata ut, välj "Kanal 2, 16 bitar, 48000 Hz". Om du sänker inställningsvärdet för samplingsfrekvensen, kommer det relativt minska filernas storlek, med också försämrade ljudkvaliteten.

- 7 **Klicka "OK".**

Efter att du har gjort ovanstående inställningar, använd ett ljudinspelningsprogram för inspelning.

Felsökning

Om du får problem med enheten, kontrollera följande innan du begär service. Något annat än denna enhet kan också orsaka problemet. Vänligen kontrollera att anslutna enheter också används korrekt.

Om denna enhet fortfarande inte fungerar korrekt, kontakta återförsäljaren, där du köpte enheten.

Ingen ström.

- ➔ Bekräfta att nätadaptern är ansluten till uttaget. Tryck sedan på STANDBY/ON-knappen för att slå på enheten (sidorna 64 och 66).

Skivspelaren roterar inte.

- ➔ Tryck på STANDBY/ON-knappen för att slå på enheten (sidorna 64 och 66).
- ➔ Linda bältet runt motorremskivan (sida 62).
- ➔ Ställ ratten för rotationshastighet till den rotationshastighet som anges på skivan (sida 66).

Skivtallriken rotationshastigheten är inte rätt.

- ➔ Bekräfta att ratten för rotationshastighet är inställd på 33 och att skivtallriken roterar med cirka 100 gånger på 3 minuter.

Tonarmen går inte ner även när spaken till tonarmslyften sänks.

- ➔ Balansera ut tonarmen och justera om nåltrycket (sida 63).

Ljudet är inte i ordning eller avbryts.

- ➔ Kontrollera anslutningarna till förstärkaren och ställ PHONO EQ-omkopplaren (ljudutmatning) i rätt läge (sida 64).

Tonhöjden är fel.

- ➔ Välj rotationshastighet som anges på skiva (sida 66).

Inget ljud.

- ➔ När du ansluter denna enhetens analoga ljudutgångskontakter till ljudingångskontakter på en förstärkare eller annan utrustning, ställ PHONO EQ-brytaren (inställning för ljudutmatning) till ON (sida 64).

Uppspelning är inte möjlig; det finns buller.

- ➔ Ta bort skyddshattan från patronens nål innan du använder skivspelaren.
- ➔ Anslut RCA-ljudkablarna igen.
- ➔ Fingeravtryck och damm på en skiva kan orsaka buller och att ljudet hoppar. Använd en separat inköpt skivrennörare för att rengöra skivor (sida 66).
- ➔ Rengör nålen (sida 63).

- ➔ Om nålen är sliten, byt ut den (sida 63). Behovet av byte av nål beror på rådande användningsförhållanden, men vi rekommenderar att du byter ut den efter cirka 300 timmars användning.

- ➔ Placera enheten så lång borta från teven, mikron och andra apparat som utstrålar elektromagnetiska vågor som det går.

- ➔ Anslut nätadaptern till ett annat strömuttag.

Det uppstår buller när en skiva spelas.

- ➔ Det kan uppstå buller om nåltrycket är högre än patronens specificerade värde. Justera nåltrycket igen till det specificerade värdet (sida 63).

Ljudet hoppar.

- ➔ Vibrationer kan orsaka hoppande. Placera denna enhet på en stabil plats.
- ➔ Ren skivan.
- ➔ Använd inte repiga skivor.
- ➔ Balansera ut tonarmen och justera om nåltrycket (sida 63). Nålen och ljudet kan hoppa om nåltrycket är lägre än pick-ups specificerade värde.
- ➔ Om nålen är böjd, byt ut den.

Den anslutna datorn känner inte igen enheten.

- ➔ Kontrollera de operativsystem som stöds av datorn på sida 67. Drift med operativsystem som inte stöds garanteras inte.
- ➔ Anslut den till en annan USB-port.

Specifikationer

Skivtallrik

Drivrutinsystem	Banddrivrutin
Motor	DC-motor
Rotationshastighet	33 1/3 rpm, 45 rpm
Svaj	0,1 % eller mindre
Signal-till-brus-förhållande	67 dB(A) eller högre (A-vikt, 20 kHz LPF)
Skivtallrik	Aluminiumgjutjärn 30 cm diameter (12 tum)

Tonarm

Typ	Statiskt balanserad S-formad tonarm
Effektiv armlängd	223 mm
Variationsintervall av nåltrycket	0–5 g
Acceptabel patronvikt	3,0–12 g 14–23 g (med den medföljande headshell)

Patron

Typ	VM (ekvivalent med MM)
Utmatningsspänning	4,0 mV (1 kHz, 5 cm/s)
Nåltryck	1,8–2,2 g (2,0 g rekommenderad)
Patronvikt	6,1 g
Vikt av inkluderad headshell	11 g (inklusive skruvar, muttrar och kablar)

- Behovet av byte av nål beror på rådande användningsförhållanden, men vi rekommenderar att du byter ut den efter cirka 300 timmars användning.
- En Audio-Technica AT-VM95E VM typ patron är installerad i apparaten.
(Höljet på ersättningsnålen för den installerade patronen är grön.)
Anmärkning: VM-patroner har samma karakteristik som MM-patroner.
- Ersättningsnål: Audio-Technica AT-VMN95E

Utmatningsspänning

PHONO EQ THRU	4,0 mV (1 kHz, 5 cm/s)
PHONO EQ ON	224 mV (–13 dBV)
Utgångskontakter	RCA

USB-port

USB-porten kan ta emot ström från datorns USB-bussar (full hastighet)	USB-kontakt typ B
Stöds strömförsörjning via USB-bussen	5 V, 500 mA
Samplingsfrekvens	8 kHz, 11,025 kHz, 16 kHz, 22,05 kHz, 32 kHz, 44,1 kHz, 48 kHz
Kvantisering bitdjup	16 bitars

Allmänt

Ström från nätadaptern	
Ingång	100–240 V AC, 50/60 Hz
Utgång	12 V DC, 500 mA
Strömförbrukning	
Viloläge	0,5 W eller mindre
På (33, 45)	2,0 W eller mindre
Vikt	5,0 kg
Intervall för drifttemperatur	5–35 °C
Mått (B × H × D, inklusive utskjutande delar)	
Med dammskyddet stängt	420 mm × 117 mm × 356 mm
Med dammskyddet öppet	420 mm × 381 mm × 402 mm
Med dammskyddet bort	420 mm × 102 mm × 356 mm

- Prestandadata är specificerade vid 20 °C.

Medföljande delar

Filtmat × 1
45 RPM-adapter × 1
Motvikt × 1
Headshell × 1
Förinstallerad Audio-Technica VM-stereopatron AT-VM95E (dubbel magnet)
Skivtallrik × 1
Dammskydd × 1
Dammskydd gångjärn × 2
RCA-ljudkabel med jordterminal × 1
Nätadapter (GPE053A-120050) × 1
Bruksanvisning (detta dokument) × 1
● Se sidan 71 för information om garantin.

- Specifikationer och utseende kan ändras utan föregående meddelande.
- Vikt och mått är ungefärliga.
- Illustrationer i denna bruksanvisning kan skilja sig något från produktionsmodellerna.

Warranty provisions (United States and Canada only)

Length of Warranty

The parts and labor warranty will be effective for one (1) year from the date of the original purchase for products not used for commercial purposes. For products used commercially, the warranty is ninety (90) days for magnetic heads and optical pickups, one (1) year for all other parts and ninety (90) days for labor.

Who Is Covered Under This Warranty

This warranty is valid only in the United States or Canada, dependent upon the country in which original purchase was made, and enforceable only by the original purchaser within the country in which the purchase was made. This warranty is not valid if the product was purchased through an unauthorized dealer.

What Is Not Covered Under This Warranty

- Damage to or deterioration of the external cabinet.
- Damage resulting from accident, misuse, abuse, or neglect.
- Damage resulting from failure to follow instructions contained in the products owners' manual or otherwise provided with the product.
- Damage occurring during shipment of the product (Claims must be presented to the carrier).
- Damage resulting from the repair or attempted repair by anyone other than TEAC or an authorized TEAC service station.
- Damage resulting from modification or attempted modification of product not authorized by TEAC.
- Damage resulting from causes other than product defects, including lack of technical skills, competence, or experience of the user.
- Damage to any unit that has been altered or which the serial number has been defaced, modified or removed.

What TEAC Will Pay For

TEAC will pay all labor and material expenses for items covered by the warranty. Payment of shipping charges is covered in the next section.

How To Obtain Warranty Service

Your unit must be serviced by an authorized TEAC service station within the country in which the product was purchased. If you are unable to locate an authorized service station in your area, please contact TEAC at the applicable address shown at the end of this warranty statement. PLEASE DO NOT RETURN YOUR UNIT TO TEAC WITHOUT OUR PRIOR AUTHORIZATION. You must pay shipping charges if it is necessary to ship the product for service. However, if the necessary repairs are covered by warranty, we will pay the return shipping charges to any destination within the country in which the product was purchased. Whenever warranty service is required, you must present the original dated sales receipt, or other proof indicating the purchase place and date, as proof of warranty coverage.

LIMITATION OF IMPLIED WARRANTIES

ALL IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, ARE LIMITED IN DURATION TO THE LENGTH OF THIS WARRANTY.

EXCLUSION OF DAMAGES

TEAC'S LIABILITY FOR ANY DEFECTIVE PRODUCT IS LIMITED TO REPAIR OR REPLACEMENT OF THE PRODUCT, AT TEAC'S OPTION. TEAC SHALL NOT BE LIABLE FOR DAMAGE BASED UPON INCONVENIENCE, LOSS OF USE OF THE PRODUCT, INTERRUPTED OPERATION, COMMERCIAL LOSS OR LOST PROFITS, OR ANY OTHER DAMAGES, WHETHER INCIDENTAL, CONSEQUENTIAL, PUNITIVE OR OTHERWISE.

SOME STATES OR PROVINCES DO NOT ALLOW LIMITATIONS ON HOW LONG AN IMPLIED WARRANTY LASTS AND/OR DO NOT ALLOW THE EXCLUSION OR LIMITATION OF INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, SO THE ABOVE LIMITATIONS AND EXCLUSIONS MAY NOT APPLY TO YOU.

THIS WARRANTY GIVES YOU SPECIFIC RIGHTS, AND MAY VARY FROM SOME OF THE RIGHTS PROVIDED BY LAW. THESE RIGHTS MAY VARY FROM STATE TO STATE OR PROVINCE TO PROVINCE.

Conditions de garantie (États-Unis et Canada uniquement)

Durée de la garantie

La garantie pièces et main d'œuvre sera valable un (1) an à compter de la date d'achat initial des produits non utilisés dans un but commercial. Pour les produits à utilisation commerciale, la garantie des têtes magnétiques et capteurs optiques est de quatre-vingt dix (90) jours, elle est d'un (1) an pour les autres pièces et quatre-vingt dix (90) jours pour la main d'œuvre.

Bénéficiaire de la garantie

Cette garantie n'est valable qu'aux États-Unis et au Canada, selon le pays d'achat initial, et ne s'applique qu'à l'acquéreur initial dans le pays d'achat.

Cette garantie n'est pas valable si le produit a été acheté auprès d'un revendeur non autorisé.

Ce qui n'est pas couvert par cette garantie

- Les dommages ou détériorations du boîtier externe.
- Les dommages résultant d'un accident, d'une mauvaise utilisation, d'un abus ou d'une négligence.
- Les dommages résultant du non-respect des instructions contenues dans le mode d'emploi du produit ou fournies avec le produit.
- Les dommages survenus durant le transport du produit (les réclamations doivent être adressées au transporteur).
- Les dommages résultant d'une réparation ou tentative de réparation effectuée par toute personne extérieure au service après-vente TEAC ou agréé par TEAC.
- Les dommages résultant d'une modification ou tentative de modification de produit non autorisée par TEAC.
- Les dommages résultant de causes autres que des défauts de produit, y compris le manque d'aptitude technique, de compétence ou d'expérience de l'utilisateur.
- Les dommages de toute unité ayant été modifiée ou dont le numéro de série a été effacé, modifié ou retiré.

Frais pris en charge par TEAC

TEAC prendra en charge tous les frais de pièces et main d'œuvre pour les articles couverts par la garantie. Les frais d'expédition sont évoqués dans la section suivante.

Comment obtenir une intervention sous garantie

Votre unité doit être réparée par un service après-vente agréé par TEAC dans le pays d'achat du produit. Si vous ne trouvez pas de service après-vente agréé dans votre région, veuillez contacter TEAC à l'adresse appropriée donnée à la fin de cette garantie. VEUILLEZ NE PAS RENVoyer VOTRE UNITÉ CHEZ TEAC SANS NOTRE AUTORISATION PRÉALABLE. Si le produit doit être renvoyé pour réparation, les frais d'expédition sont à votre charge. Toutefois, si les réparations nécessaires sont couvertes par la garantie, nous prendrons à notre charge les frais de retour vers toute destination dans le pays d'achat du produit. Lorsqu'une réparation sous garantie est requise, vous devez présenter comme preuve de couverture par la garantie la facture d'achat originale datée ou une autre preuve d'achat mentionnant le lieu et la date d'achat.

LIMITATION DES GARANTIES IMPLICITES

TOUTES LES GARANTIES IMPLICITES, Y COMPRIS LES GARANTIES DE QUALITÉ MARCHANDE ET D'ADÉQUATION À UN USAGE PARTICULIER, SONT LIMITÉES À LA DURÉE DE CETTE GARANTIE.

EXCLUSION DE DOMMAGES

LA RESPONSABILITÉ DE TEAC VIS-À-VIS DE TOUT PRODUIT DÉFECTUEUX EST LIMITÉE À LA RÉPARATION OU AU REMPLACEMENT DU PRODUIT, AU GRÉ DE TEAC. TEAC NE POURRA ÊTRE TENU POUR RESPONSABLE DE QUELCONQUES DOMMAGES SE RAPPORTANT AU DÉRANGEMENT, À LA PERTE D'USAGE DU PRODUIT, À L'INTERRUPTION DE L'UTILISATION, AUX PERTES COMMERCIALES OU DE PROFITS, NI D'AUCUN AUTRE DOMMAGE, QU'IL SOIT ACCESSOIRE, INDIRECT, PUNITIF OU AUTRE.

CERTAINS ÉTATS OU PROVINCES N'AUTORISENT PAS DE LIMITATIONS DE DURÉE D'UNE GARANTIE IMPLICITE ET/OU N'AUTORISENT PAS L'EXCLUSION OU LA LIMITATION DES DOMMAGES ACCESSOIRES OU INDIRECTS, AUQUEL CAS LES LIMITATIONS ET EXCLUSIONS CI-DESSUS PEUVENT NE PAS VOUS ÊTRE APPLICABLES.

CETTE GARANTIE VOUS DONNE DES DROITS SPÉCIFIQUES QUI PEUVENT ÊTRE DIFFÉRENTS DE CERTAINS DROITS OCTROYÉS PAR LA LOI. CES DROITS PEUVENT VARIER D'UN ÉTAT À L'AUTRE OU D'UNE PROVINCE À L'AUTRE.

Europe/Europa

This product is subject to the legal warranty regulations of the country of purchase. In case of a defect or a problem, please contact the dealer where you bought the product.

Ce produit est sujet aux réglementations concernant la garantie légale dans le pays d'achat. En cas de défaut ou de problème, veuillez contacter le revendeur chez qui vous avez acheté le produit.

Las condiciones de garantía de este aparato están sujetas a las disposiciones legales sobre garantía del país en el que ha sido adquirido. En caso de garantía, debe dirigirse al establecimiento donde adquirió el aparato.

Dieses Gerät unterliegt den gesetzlichen Gewährleistungsbestimmungen des Landes, in dem es erworben wurde. Bitte wenden Sie sich im Gewährleistungsfall an den Händler, bei dem sie das Gerät erworben haben.

Questo apparecchio è conforme alle norme sulla garanzia vigenti nel rispettivo Paese in cui esso è stato acquistato. Si prega di rivolgersi al proprio commerciante, presso il quale è stato acquistato l'apparecchio, nel caso in cui si voglia richiedere una prestazione in garanzia.

Dit product valt onder de wettelijke garantievoorschriften van het land waar het is aangeschaft. Neem bij een defect of probleem contact op met de leverancier waar u het product heeft gekocht.

För denna produkt gäller det lagliga garantireglerna av landet där köpet gjordes. Vid fel eller problem kontakta vänligen återförsäljaren, där du köpte produkten.

In countries/regions other than the USA, Canada, Europe and Japan

This warranty gives you specific legal rights, and you may also have other rights that vary by country, state or province. If you have a warranty claim or request, please contact the dealer where you bought the product.

该保证书赋予了顾客特定的合法权利，并且因国家，州或省等地域的不同，顾客可能拥有其他权利。如需申请或要求保修，请与购买本产品的销售店进行联系。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

■保証書

取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。保証書は、お買い上げの際に販売店が所定事項を記入してお渡ししておりますので、大切に保管してください。万が一販売店印の捺印やご購入日の記載が無い場合は、無償修理保証の対象外になりますので、ご購入時のレシートなどご購入店・ご購入日が確認できるものを一緒に保管してください。保証期間はご購入日より1年です。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門（裏表紙に記載）にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

9 ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご連絡ください。なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害（録音内容などの補償）の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。
測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。

部品代：修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

その他：製品を送るために必要な送料/梱包料などがあります。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：アナログターンテーブル

TN-3B

シリアルナンバー：

お買い上げ日：

販売店名：

お客様のご連絡先

故障の状況（できるだけ詳しく）

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じてても、当社は一切の責任を負いません。

保証書

品名	アナログターンテーブル	
および	TN-3B	
形名		
機番		
保証期間	本 体	1 年

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理センターまたはお買上げの販売店に修理をご依頼ください。

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

お買上げ日 年 月 日

お客様	お名前	様
	ご住所	
	〒	
	電話	()

所在地・名称 (印)	
販売店	
電話	()

見 本

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意事項に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合は、ティアック修理センターが無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、ティアック修理センターまたはお買上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前にティアック修理センターにお問い合わせください。
- 無償修理の対象は、お客さまが日本国内において購入された日本国内向け当社製品に限定されます。
- ご購入、ご転居、ご贈答品等でお買上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、ティアック修理センターにご連絡ください。
- 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
 - ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
 - 接続している他の機器に起因する故障および損傷
 - 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
- メンテナンス
- 本書の提示がない場合
- 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名(印)の記入の無い場合、あるいは字句を書き替えられた場合

修理メモ

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

6. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ティアック修理センターにお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間についての詳細は、取扱説明書をご覧ください。

WARRANTY/GARANTIE (United States and Canada only/États-Unis et Canada uniquement)

Model/Modèle: **TN-3B**

Serial No./N° de série

Owner's address/Adresse du propriétaire

Date of purchase/Date de l'achat

Dealer's name/Nom du détaillant

Sample

Owner's name/Nom du propriétaire

Dealer's address/Adresse du détaillant

TEAC

Japan: 1-47 Ochiai, Tama-shi, Tokyo 206-8530, Japan
TEAC CORPORATION Phone: +81-42-356-9156

USA/Latin America: 18 Park Way, Upper Saddle River, NJ 07458, U.S.A.
Onkyo U.S.A. Corporation Phone: +1-201-785-2600

Canada: 10410 Pioneer Blvd. Suite #1 and #4, Santa Fe Springs, California 90670, U.S.A.
TEAC AMERICA, INC. Phone: +1-323-726-0303

Europe: Möslbichl 78, 6250 Kundl, Austria
Aqipa GmbH Phone: +49 89 2170 497 99

This product has a serial number located on the rear panel. Please write it here and retain this for your records.

Model name: TN-3B

Serial number

0619 MA-2691B

ティアック株式会社 〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47 <https://teac.jp/>

この製品のお取り扱い等についてのお問い合わせ

AV お客様相談室

〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47

0570-000-701

ナビダイヤル。一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、9:30 ~ 12:00/13:00 ~ 17:00 です。
(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

● ナビダイヤルがご利用頂けない場合

電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

● 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

故障・修理や保守についてのお問い合わせ

ティアック修理センター

〒358-0026 埼玉県入間市小谷田 858

0570-000-501

ナビダイヤル。一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、9:30 ~ 17:00 です。
(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

● ナビダイヤルがご利用頂けない場合

電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036